

埼玉県熊谷市埋蔵文化財調査報告書 第19集

# 石原古墳群Ⅴ 不二ノ腰遺跡Ⅳ

2015

埼玉県熊谷市教育委員会

石原古墳群Ⅴ  
不二ノ腰遺跡Ⅳ

二〇一五  
埼玉県熊谷市教育委員会

埼玉県熊谷市埋蔵文化財調査報告書 第19集

いしわら こふんぐん  
石原古墳群 V

ふじのこしいせき  
不二ノ腰遺跡 IV

2015

埼玉県熊谷市教育委員会

# 序

私たちの郷土熊谷は、原始・古代の集落跡等の埋蔵文化財が数多く分布することで知られています。こうした埋蔵文化財は、郷土の発展やその過程を物語る証であるとともに、私たちの子孫の繁栄の指標ともなる先人の貴重な足跡であります。

しかしながら、近年においては、多くの開発行為に伴い、我々の郷土の景観は変化しております。このような現状の中で、失われつつある文化財を保護し、それらを次世代に伝えていくことは我々の大きな課題であり、責務であるはずです。

さて、石原古墳群・不二ノ腰遺跡は、熊谷市広瀬地内に所在する古代の遺跡であります。また、過去における発掘調査等により、付近一帯には古代の集落が分布していることが確認されております。

この度、この遺跡の一部に地権者より分譲住宅建設の開発計画がもちあがりました。熊谷市教育委員会では、遺跡の保護と保存について、開発業者と協議を重ねてまいりましたが、事業計画の変更が難しかったことから、熊谷教育委員会で記録保存のための措置を講ずることとなりました。

本書は、平成26年1月から3月にかけて実施された記録保存のための発掘調査の成果をまとめたものでございます。今回の調査によって、本遺跡における集落の状況が徐々に明らかになってきました。

本書が埋蔵文化財の保護、学術研究の基礎資料として、また埋蔵文化財の普及・啓発として広く活用されることとなれば幸いです。

最後になりましたが、発掘調査及び報告書刊行に至るまで、文化財保護法の趣旨を御理解、御協力を賜りました地権者株式会社ファイブイズホーム、並びに地元関係者各位に厚く御礼申し上げます。

平成27年3月

熊谷市教育委員会  
教育長 野原 晃

# 例 言

- 1 本書は、埼玉県熊谷市広瀬字後田84番に所在する石原古墳群・不二ノ腰遺跡（埼玉県遺跡番号59-25、59-102）の発掘調査報告書である。
- 2 発掘調査届出に対する埼玉県教育委員会からの指示通知は、平成25年8月19日付教生文第5-448号である。
- 3 本調査は、分譲住宅建設に伴う事前の記録保存のための発掘調査であり、地権者株式会社ファイブイズホームの委託を受け、熊谷教育委員会が実施した。
- 4 本事業の組織は、I章のとおりである。
- 5 発掘調査期間は、平成26年1月27日から平成26年3月14日までである。  
また整理・報告書作成期間は、平成26年5月1日から平成27年3月27日までである。
- 6 発掘調査及び、本書の執筆・編集は腰塚 博隆が行い、吉野 健がその補佐をした。
- 7 写真撮影は、発掘調査・遺物ともに腰塚が行った。
- 8 出土遺物は、熊谷市教育委員会で保管している。
- 9 本書の作成にあたり多くの方々から御教示、御協力を賜った。記して感謝いたします。

# 凡 例

- 1 本文中、遺構の表記記号は、次のとおりである。  
SI……住居跡、SD……溝跡、SK……土坑、P……ピット SX……性格不明遺構
- 2 土層断面及び遺構図面中の表記記号は、次のとおりである。  
S……川原石  
▲……小礫  
●……遺物片
- 3 遺構挿図の縮尺は、次のとおりである。  
遺構全測図… 1/200、 調査区遺構図… 1/60、 住居跡・溝跡・土坑・性格不明遺構… 1/60、  
ピット… 1/40
- 4 遺構土層断面図及びエレベーション図のポイントの標高は、原則としてその都度表記して示した。
- 5 土層断面中に示されている表記記号の色調は、以下のとおりである  
I 耕作土  
II 黄灰色土2.5Y-4/1 (FeO<sub>2</sub>多量、暗灰黄色土2.5Y-4/2少量含)  
III 灰黄褐色土10YR-4/2 (FeO<sub>2</sub>多量、黄灰色土2.5Y-4/1少量含、炭化物一部に有)  
IV 暗灰黄色土2.5Y-4/2 (FeO<sub>2</sub>多量、少々粘質、褐灰色土10YR-4/1多量)  
V 暗灰黄色土2.5Y-4/2 (FeO<sub>2</sub>多量、一部粘質)
- 6 遺物実測図の縮尺は、1/4である。ただし、一部に限り1/2である。
- 7 遺物実測図の中で、中心線はすべて実線で示し、遺物観察表にできる限り残存率で示した。また、土師器の断面は白抜き、須恵器の断面は黒塗りで示した。
- 8 挿図中の遺物番号は、遺物実測図及び遺物観察表の番号と一致している。
- 9 遺物観察表の凡例は、次のとおりである。  
法量の単位は、cmである。また、推定値は括弧付けで示した。  
胎土は、土器に含まれる含有鉱物を以下の記号で示した。  
A…白色粒子、B…黒色粒子、C…赤色粒子、D…褐色粒子、E…赤褐色粒子、F…白色針状物質、  
G…長石、H…石英、I…白雲母、J…黒雲母、K…角閃石、L…片岩、M…砂状、N…礫  
色調は、『新版標準土色帖』（農林水産省農林水産技術会議事務局監修2010年版）に照らし最も近似した色相を示した。

# 目 次

序	.....	I
例 言	.....	II
凡 例	.....	III
目 次	.....	IV
I 発掘調査の概要	.....	1
1 調査に至る経過	.....	1
2 発掘調査・報告書作成の経過	.....	1
3 発掘調査、整理・報告書刊行の組織	.....	2
II 遺跡の立地と環境	.....	2
III 遺跡の概要	.....	11
1 調査の方法	.....	11
2 検出された遺構と遺物	.....	11
IV 遺構と遺物		
1 住居跡	.....	11
2 溝跡	.....	24
3 土坑	.....	26
4 ピット	.....	28
5 遺構外出土遺物	.....	36
V 調査のまとめ	.....	37

## 挿 図 目 次

第1図	埼玉県の地形図	第16図	第4号住居跡出土遺物
第2図	周辺遺跡分布図	第17図	第5号住居跡
第3図	石原古墳群・不二ノ腰遺跡位置図	第18図	第5号住居跡出土遺物(1)
第4図	石原古墳群・不二ノ腰遺跡全測図	第19図	第5号住居跡出土遺物(2)
第5図	A区全測図	第20図	第3号・第4号溝跡出土遺物
第6図	B区全測図	第21図	第1号～5号溝跡
第7図	C区全測図	第22図	第1号～5号土坑
第8図	第1号住居跡	第23図	第6・7号土坑・性格不明遺構
第9図	第1号住居跡出土遺物	第24図	第2・6・7号土坑出土遺物
第10図	第2号住居跡	第25図	第1号～第11号ピット
第11図	第2号住居跡出土遺物(1)	第26図	第12号～第22号・第25ピット
第12図	第2号住居跡出土遺物(2)	第27図	第23号・24号、第26～34号ピット
第13図	第3号住居跡	第28図	第12号・14号・31号ピット出土遺物
第14図	第3号住居跡出土遺物	第29図	遺構外出土遺物
第15図	第4号住居跡		

## 表 目 次

第1表	第1号住居跡出土遺物観察表(第9図)	第6表	第3号・4号溝跡出土遺物観察表(第21図)
第2表	第2号住居跡出土遺物観察表(第11・12図)	第7表	第2号・6号・7号土坑出土遺物観察表(第24図)
第3表	第3号住居跡出土遺物観察表(第14図)	第8表	第12号・14号・31号ピット出土遺物観察表(第28図)
第4表	第4号住居跡出土遺物観察表(第16図)	第9表	遺構外出土遺物観察表
第5表	第5号住居跡出土遺物観察表(第18・19図)		

## 図 版 目 次

図版1	A区全景	第11図—29、第12図—19
	B区全景	第12図—14、第12図—25
図版2	C区全景	第12図—26
	第1号住居跡 遺物出土(A区)	図版6
	第1号住居跡 遺物(A区)	第9図—3、第12図—21
	第1号住居跡 遺物(A区)	第12図—22、第12図—23
	第1号住居跡が全景(A区)	第14図—5、第14図—7
図版3	第2号住居跡 全景(A区)	第14図—8、第12図—13
	第3号住居跡(B区)(遺物・床礫堆積)	第15図—27、第14図—6
	第3号住居跡 全景(B区)	第14図—1、SI03—鉄滓
	第4号住居跡 カマド遺物(B区)	第14図—2、第16図—01
	第4号住居跡 カマド 断面(B区)	第16図—02、第16図—03
	第4号住居跡 全景(B区)	図版7
	第5号住居跡 カマド 断面(C区)	第16図—4、第16図—10
	第5号住居跡 カマド遺物(C区)	第16図—12、第16図—11
図版4	第5号住居跡鉄製品(C区)	第14図—5、第18図—2
	第5号住居跡 全景(C区)	第18図—13、第18図—15
	第5号土坑(B区)	第16図—14、第18図—16
	第6号土坑及びSX01(C区)	第19図—21、第19図—23
	第7号土坑(C区)	第19図—24、第19図—22
	第4、3号溝跡(B区)	第19図—26、第19図—27
	第3号土坑、第9～18号ピット(A区)	図版8
	第19～24号ピット(B区)	第18図—17、第18図—18
図版5	第1号～4号ピット(A区)	第18図—19、第18図—20
	第9図—4、第9図—7	第19図—30、第16図—15
	第9図—8、SI01—鉄滓	第19図—25
	第11図—1、第11図—12	図版9
	第11図—11、第11図—17	第19図—31、第20図—4
	第11図—18、第11図—20	第28図—4、第29図—10
		第29図—12、第29図—14
		第29図—13、第29図—18
		第29図—15、第29図—19
		第29図—20、作業員作業風景

# I 発掘調査の概要

## 1 調査に至る経過

平成25年2月26日付けで、株式会社ファイブイズホームから埼玉県教育委員会あてに、文化財保護法第93条第1項の規定に基づく埋蔵文化財発掘の届出があった。開発の内容は面積811.13㎡の宅地造成及び分譲住宅4棟の建設であった。

熊谷市教育委員会は届出を受けて、平成25年7月4日に試掘調査を実施した。その結果、4棟のうち3棟分について、奈良時代から平安時代の土師器・須恵器片及び住居跡が検出され、埋蔵文化財の所在が確認された。

その後、埋蔵文化財の所在が確認された旨を株式会社ファイブイズホームに回答するとともに、その保存に関する協議を重ねたが、工事は保護層が設けられない工法で行うものであり、計画の変更は不可能であると判断されたため、記録保存のための発掘調査を実施することとなった。

発掘調査に当たって、熊谷市教育委員会は、当該地における埋蔵文化財の取扱いについて、平成26年1月10日と埋蔵文化財包蔵地発掘調査委託契約書を締結し、発掘調査を実施することとなった。

発掘調査は、熊谷市教育委員会から、平成26年1月24日付熊教社第1771号で、文化財保護法第92条第1項の規定に基づく埋蔵文化財発掘調査の届出が提出され、平成26年1月27日から開始された。

なお、埼玉県教育委員会から、株式会社ファイブイズホームあてに平成25年8月19日付教生文第4-448号で発掘調査実施の指示通知があった。

発掘調査終了後、平成26年4月11日には遺物整理および報告書刊行のための埋蔵文化財包蔵地発掘調査委託契約書（整理）を株式会社ファイブイズホームと締結し、整理作業および報告書の刊行までの委託を受けた。

## 2 発掘調査・報告書作成の経過

### (1) 発掘調査

発掘調査は、平成26年1月27日から平成26年3月14日にかけて行われた。調査面積は、分譲住宅建設工事（計4棟）面積328㎡のうち、遺構・遺物が確認され破壊を受ける164㎡（3棟分）であった。

平成26年1月27日に遺構確認面まで重機による表土剥ぎを行い、1月28日から遺構精査作業を行った。その際、住居跡、溝跡、多数の土坑、ピットなどが確認され、順次遺構の調査に着手した。調査は3棟分の分譲住宅建設予定地であったため、各々の調査区をA・B・C区と呼称し行った。大部分の遺構は検出が比較的容易であったが、調査区うちC区では、地山との差が不明瞭であったこと、2月には関東一円で記録的な大雪に見舞われたことから、遺構の検出および作業自体に困難を要した。

平成26年3月14日、調査のすべてを終了した。

### (2) 整理・報告書作成作業

整理作業は、平成26年5月1日から始めた。遺物の洗浄・注記・復元を行った。9月までに順次、遺物の実測、拓本取りを行った。10月からは遺構の図面整理作業を行い、遺構・遺物図面のトレース、遺構・遺物の図版組を行い、2月下旬には、原稿執筆、割付等の作業をして、報告書の印刷に入り、校正を行った後、3月27日に本報告書を刊行した。



### 3 発掘調査、整理・報告書刊行の組織

主体者 熊谷市教育委員会

#### (1) 発掘調査

平成25年度

教育長	野原 晃
教育次長	鯨井 勝
社会教育課長	岩上 精純
社会教育課副参事	根岸 敏彦
社会教育課副課長兼文化財保護係長	森田 安彦
主幹	吉野 健
主査	松田 哲
主査	杉浦 朗子
主任	蔵持 俊輔
主任	山下 祐樹
主任	腰塚 博隆

#### (2) 整理・報告書作成

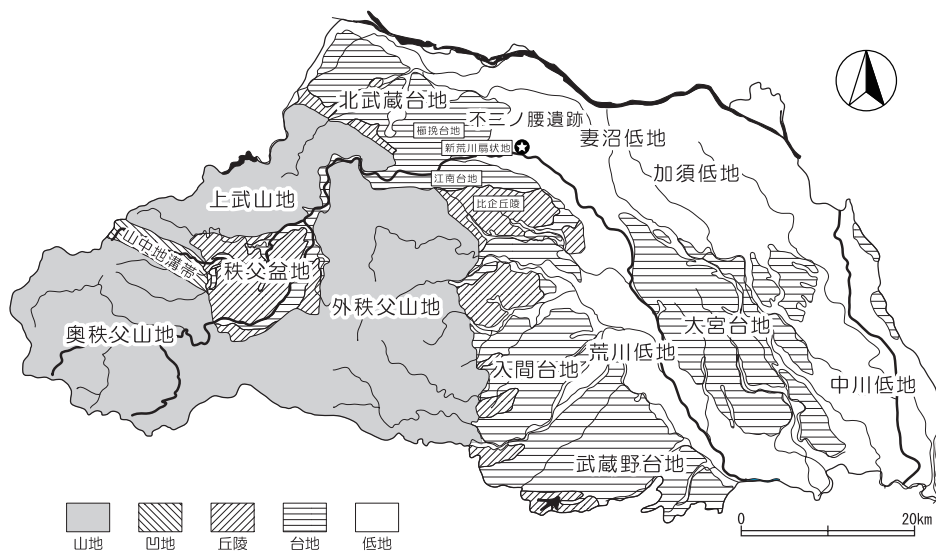
平成26年度

教育長	野原 晃
教育次長	米澤ひろみ
社会教育課長	岩上 精純
社会教育課副参事	森田 安彦
社会教育課副課長兼文化財保護係長	吉野 健
主査	松田 哲
主査	杉浦 朗子
主査	小島 洋一
主任	蔵持 俊輔
主任	山下 祐樹
主任	腰塚 博隆

## II 遺跡の立地と環境

石原古墳群・不二ノ腰遺跡は、熊谷市広瀬字後田84番に所在し、JR高崎線熊谷駅の北西約3.5km、荒川から北へ約1.5km、利根川から南へ約10.0kmに位置する。

石原古墳群・不二ノ腰遺跡の所在する広瀬地区は、熊谷市の中央西部にあたり、櫛挽台地の北端及びその北と北東に展開する妻沼低地にある。櫛挽台地は寄居町末野付近を扇頂に、荒川の両岸に広がる洪積扇状地である荒川扇状地の荒川左岸側に一帯が浸食されてできたものである。そして、本遺跡が立地する妻沼低地は、利根川及びその支流により形成された沖積地であり、熊谷市の大半を覆っている洪積扇状地の新荒川扇状地（熊谷扇状地）と自然堤防が広がる地区に分けられる。本遺跡は、その荒川左岸の新荒川扇状地上、標高約36.5m前後に立地し、水田地となっていた。遺跡を覆っていた土は、関東造盆地運動による地盤の沈下及び荒川の度重なる河川氾濫の影響で、およそ45～50cmの厚さをもっていた。



第1図 埼玉県の地形

次に、本遺跡を中心に櫛挽台地及び妻沼低地における歴史環境の一端を簡単に見ていきたいと思う。

まず、縄文時代であるが、この時期の遺跡の発見は極めて少ない状況である。市の南部に位置する江南台地を除き、櫛挽台地さらには妻沼低地にも発見例が少々ある。寺東遺跡では前期関山式土器が、三ヶ尻遺跡内の林遺跡でも前期黒浜式期の集落が発見されており、妻沼低地には石田遺跡も存在する。後期に至っては、前述の寺東遺跡で称名寺式期の埋嚢を伴う土坑等が発見されており、豊富な土器群が検出された入川遺跡や深町遺跡も知られる。一方、縄文時代晩期から弥生時代前半にかけての市内の発見例はほとんどなく、熊谷市内において本格的展開の知られる遺跡は、現段階では弥生時代中期まで待つことになる。須和田式期の再葬墓が16基発見された横間栗遺跡、同じく須和田式期の壺が発見されている三ヶ尻遺跡内の上古遺跡が知られている。地図には示していないが、北島遺跡・平戸遺跡・前中西遺跡も同時期の遺跡として挙げられ、北島遺跡でも再葬墓や土壙墓群が前中西遺跡では再葬墓と方形周溝墓の2タイプの葬送形態が発見されている。一方、同時期の集落・住居跡が検出されている遺跡としては関下遺跡・飯塚南遺跡が存在する。後期には妻沼低地の各地に遺跡が見られ始め、弥藤吾新田遺跡などが存在する。弥藤吾新田遺跡では南関東系の弥生町式土器が出土している。

古墳時代に入ると、古墳は台地・自然堤防等の微高地に形成され、集落は台地ばかりでなく低地帯の自然堤防上にも営まれるようになり、次第に遺跡数も増加傾向にある。前期では、妻沼低地に大きく遺跡が展開している。横間栗遺跡・別府条里遺跡・一本木遺跡・中耕地遺跡・北島遺跡・弥藤吾新田遺跡等がある。横間栗遺跡では住居跡が3軒、北島遺跡では21軒検出されており、北島遺跡さらに弥藤吾新田遺跡等は比較的大規模な集落と推定されている。

中期の様相は、他の時期と比べて不明な点が多いが、集落が大規模に展開していくのは中期後半以降となるようである。北島遺跡・中条遺跡内の権現山遺跡・常光院東遺跡（後者2遺跡は地図未掲載）等で遺構・遺物が検出されている。北島遺跡では住居跡から須恵器の甕を模倣した土師器小型壺が、権現山遺跡では出現期の竈をもつ住居跡が検出されている。また、集落内の祭祀は東川端遺跡に確認されていて、遺物が集中分布している谷にむかう斜面で剣形の滑石製模造品が検出されている。また、古墳に目を向けると、数こそ少ないが、妻沼低地の福川の自然堤防に横塚山古墳が存在する。そして、後期になると遺跡は爆発的な増加をみる。台地ばかりではなく自然堤防上にもさらに積極的に進出を図っていったようである。集落は、古墳時代後期から奈良・平安時代へと継続して展開する大規模なものが市内では目立つようになる。櫛挽台地及び新荒川扇状地上では、樋の上遺跡で古墳時代後期から平安時代の住居跡が150軒以上検出され、このうち古墳時代後期のもものは14軒以上に上る。また現在では同遺跡の一部となっている上辻・下辻遺跡でも後期から平安時代の住居が50軒以上検出された。三ヶ尻遺跡内の天王遺跡等でも後期の集落が検出されている。一方、妻沼低地の自然堤防上では、一本木前遺跡・飯塚南遺跡・北島遺跡・小敷田遺跡等が存在する。一本木前遺跡では後期を中心に奈良・平安時代の住居跡が450軒以上検出されており、当該期の祭祀跡も発見され、折り重なるように土師器杯等が出土し、それとともに白玉も出土している。

一方、古墳を見てみると、群を形成して築造されているのがわかる。櫛挽台地上の別府古墳群・在家古墳群・籠原裏古墳群・三ヶ尻古墳群、新荒川扇状地の玉井古墳群・広瀬古墳群・石原古墳群等が分布する。これらは概ね6世紀から7世紀ないし8世紀初頭にかけて形成された古墳群である。別府古墳群は、農夫の埴輪を出土している。籠原裏古墳群は川原石乱石積の胴張型横穴式石室を有する古墳群であるが、7世紀後半～8世紀初頭の築造と考えられる八角形の埴形をもつ古墳の存在が知られており、終末期の古墳の様相において見流すことのできない発見である。三ヶ尻古墳群は、前方後円墳の二子山古墳を盟主墳とする100基以上の古墳で形成されている大古墳群であるが、現在でも61基の所在が確認されている（消滅・半壊を含める）。また、広瀬古墳群中の宮塚古墳は、上円下方墳という特異な埴形を今に残し、熊谷市唯一の国指定史跡として知られている。

古墳時代後半に自然堤防上の微高地に形成された集落の多くは、増減はするもの奈良・平安時代へと継続されていく。奈良時代には、この地域も律令体制に組み込まれていき、別府条里遺跡等が見られる。このこ

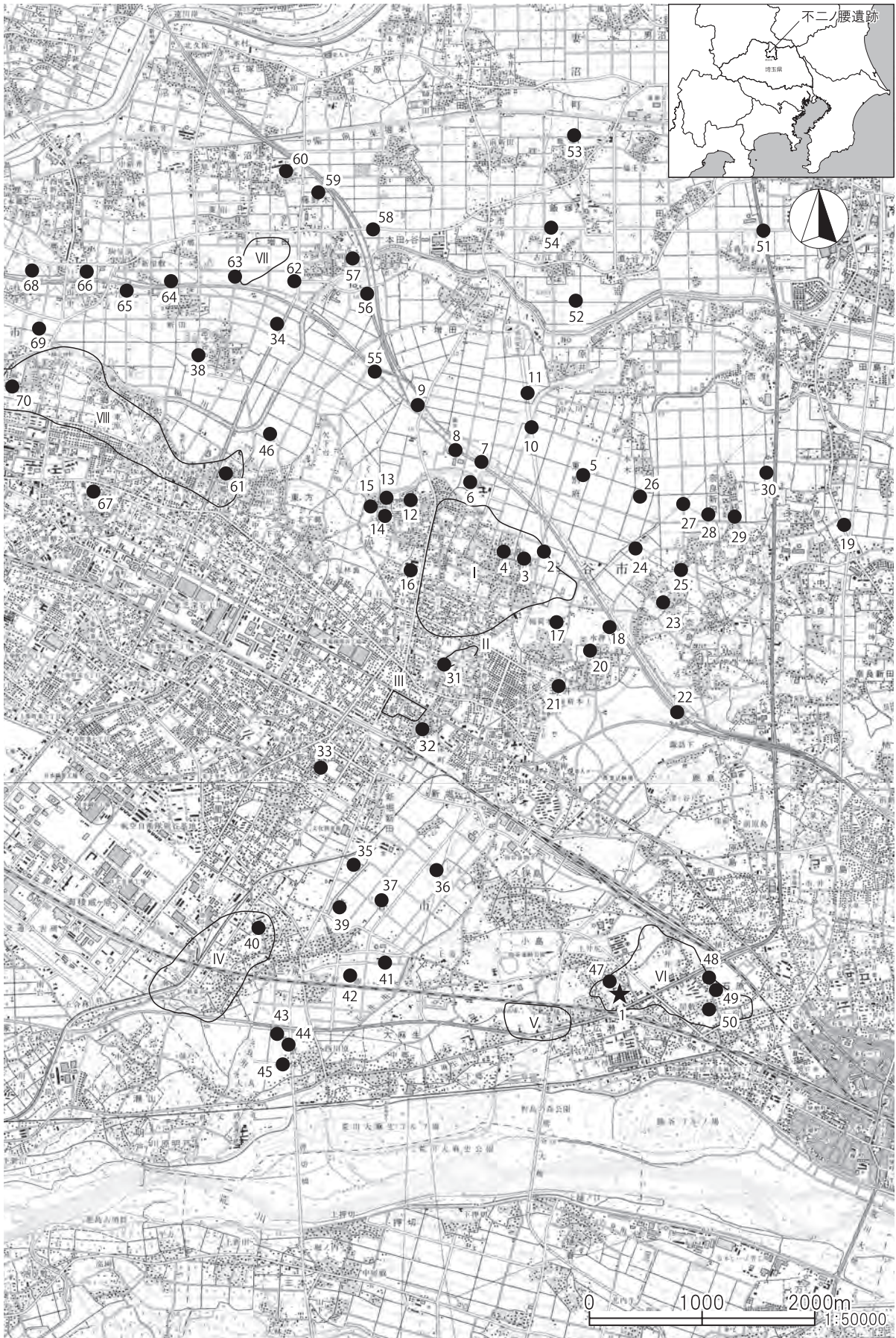
ろの中心的遺跡は櫛挽台地上に見られ、この地域には幡羅郡が設置され、台地上に「原郷」の地名が残り、正倉館、厨家、曹司等が発見された幡羅郡家跡の幡羅遺跡、8世紀初頭創建の西別府廃寺、湧泉祭祀跡・西別府祭祀遺跡が存在する。西別府廃寺は二度の発掘調査によって寺域を区画する大溝、伽藍配置は不明であるが基壇建物跡、瓦溜まり状遺構等とともに軒丸瓦・軒平瓦・丸瓦・平瓦が大量に出土し、瓦は8世紀初頭から9世紀後半のものまで確認されており、県内でも滑川町寺谷廃寺に次いで最も古い建立の寺院の一つとして認識されている。また、その北西約200mの湯殿神社裏のかつて湧水があった箇所には西別府祭祀遺跡が所在し、古墳時代後期から平安時代までの土師器・須恵器と共に古墳時代後期の馬形・櫛型・勾玉形・有孔円板形・有線円板形・剣形等の滑石製模造品が約297点発見されており、県内でも類例がほとんどない湧泉に対する祭祀の実態を考える上で貴重な遺跡である。西別府廃寺は、幡羅郡家との関係を考慮に入れば、幡羅郡の郡司が関わった郡寺的な機能を有することが考えられるし、郡家成立以前の周辺の古墳群を形成した有力氏族との関係も想定できる。

奈良・平安時代の集落遺跡としては、広瀬地区には本遺跡のほか在家遺跡・籠原裏遺跡・拾六間後遺跡・飯塚南遺跡・新ヶ谷戸遺跡・横塚遺跡・北島遺跡等がある。特に北島遺跡は7世紀から12世紀の大規模な集落で、多数の住居跡とともに大規模な掘立柱建物跡・道路状遺構・河川跡等など、興味深い発見がされている。一本木前遺跡の11世紀初頭の住居跡からは、瑞花鴛鴦八稜鏡が出土し、県内初の住居跡出土例として注目されている。

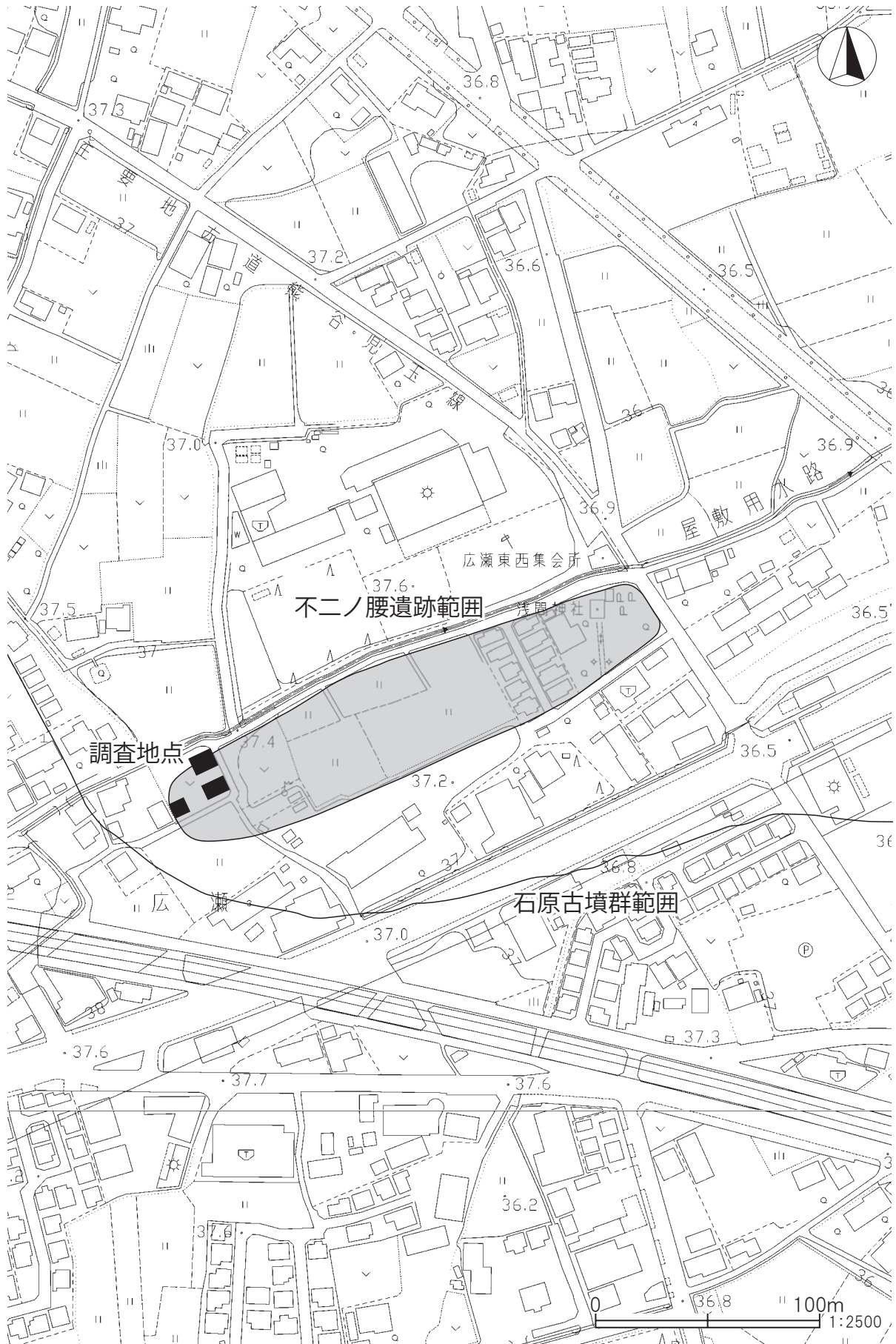
平安時代末から中世になると、武蔵七党やその他の在地武士団の館跡が散在するようになる。別府城跡・別府氏館跡・西別府館跡・玉井陣屋跡・奈良氏館跡・黒沢館跡・兵部裏屋敷等であるが、いずれの館跡も実態は不明である。その中で残りの良いものの中に、本遺跡の北西に位置する別府城跡がある。別府氏の居館で方形の敷地に土塁の一部と空堀をよく残している。また、三ヶ尻地区に所在する黒沢館跡は、発掘調査によって、渡辺崋山が記した『訪録』に残る「黒沢屋敷」の記載と調査成果が合致した貴重な例である。その北側に所在する樋の上遺跡でも、15～16世紀の土壌・集石遺構とともに比較的深くコーナーをもつ溝跡が検出されており、館跡の一部である可能性が考えられている。なお、中世以降の歴史の実態はまだまだ情報不足で、今後の調査成果によるところが多く、情報の蓄積に期待するところであろう。

## 掲載遺跡一覧表

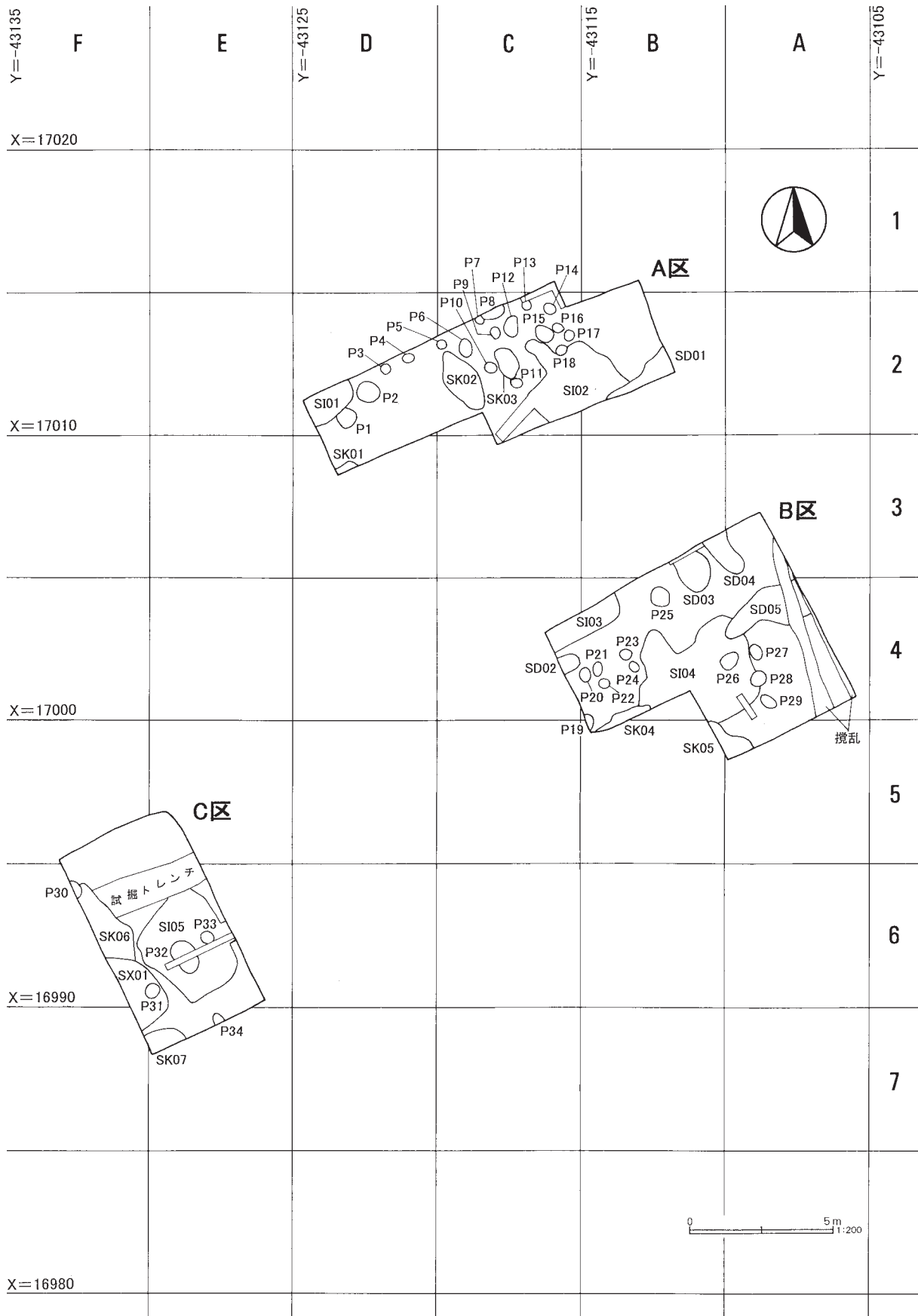
1 不二ノ腰遺跡	21 稲荷木上遺跡	41 庚申塚遺跡	61 東方城跡
2 寺東遺跡	22 下川原遺跡	42 松原遺跡	62 原遺跡
3 別府氏館跡	23 奈良氏館跡	43 社裏北遺跡	63 明戸東遺跡
4 別府城跡	24 天神下遺跡	44 社裏遺跡	64 新田裏遺跡
5 別府条里遺跡	25 土用ヶ谷戸遺跡	45 社裏南遺跡	65 新屋敷東遺跡
6 石田遺跡	26 一本木前遺跡	46 城下遺跡	66 本郷前東遺跡
7 関下遺跡	27 中耕地遺跡	47 高根遺跡	67 疋鼻和城跡
8 横間栗遺跡	28 西通遺跡	48 天神前遺跡	68 上敷免遺跡
9 根絡遺跡	29 東通遺跡	49 兵部裏屋敷跡	69 八日市遺跡
10 深町遺跡	30 横塚山古墳	50 御蔵場跡	70 八幡太郎館跡
11 入川遺跡	31 在家遺跡	51 弥藤吾新田遺跡	I 別府古墳群
12 西別府館跡	32 籠原裏遺跡	52 道ヶ谷戸遺跡	II 在家古墳群
13 西方遺跡	33 拾六間後遺跡	53 飯塚遺跡	III 籠原裏古墳群
14 西別府廃寺	34 東川端遺跡	54 飯塚南遺跡	IV 三ヶ尻古墳群
15 西別府祭祀遺跡	35 樋の上遺跡	55 清水上遺跡	V 広瀬古墳群
16 原遺跡	36 東遺跡	56 前遺跡	VI 石原古墳群
17 玉井陣屋跡	37 黒沢館跡	57 居立遺跡	VII 上増田古墳群
18 新ヶ谷戸遺跡	38 宮ヶ谷戸堀ノ内遺跡	58 城北遺跡	VIII 木の本古墳群
19 奈良東耕地遺跡	39 若松遺跡	59 柳町遺跡	
20 水押下遺跡	40 三ヶ尻遺跡	60 砂田遺跡	



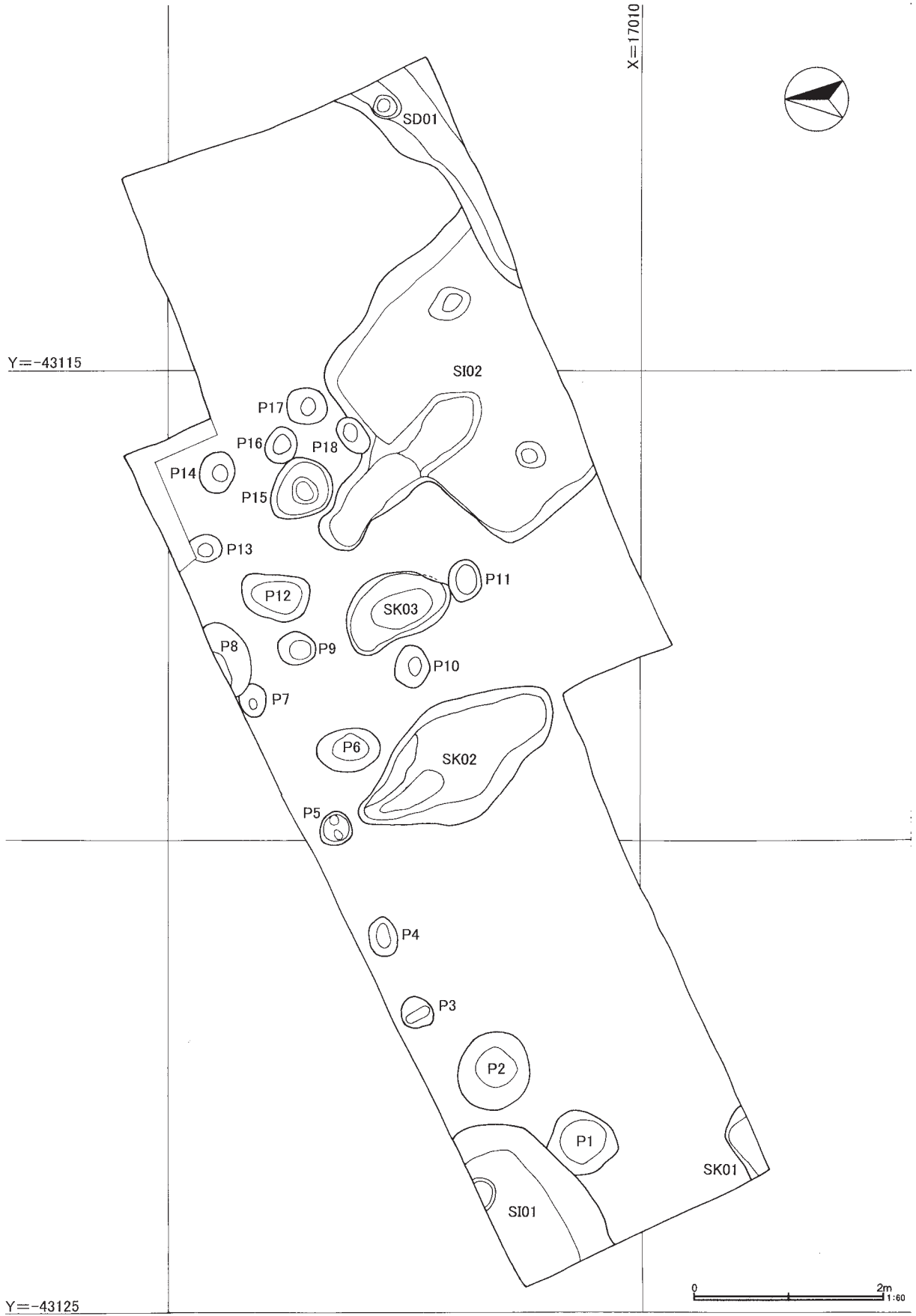
第2図 周辺遺跡分布図



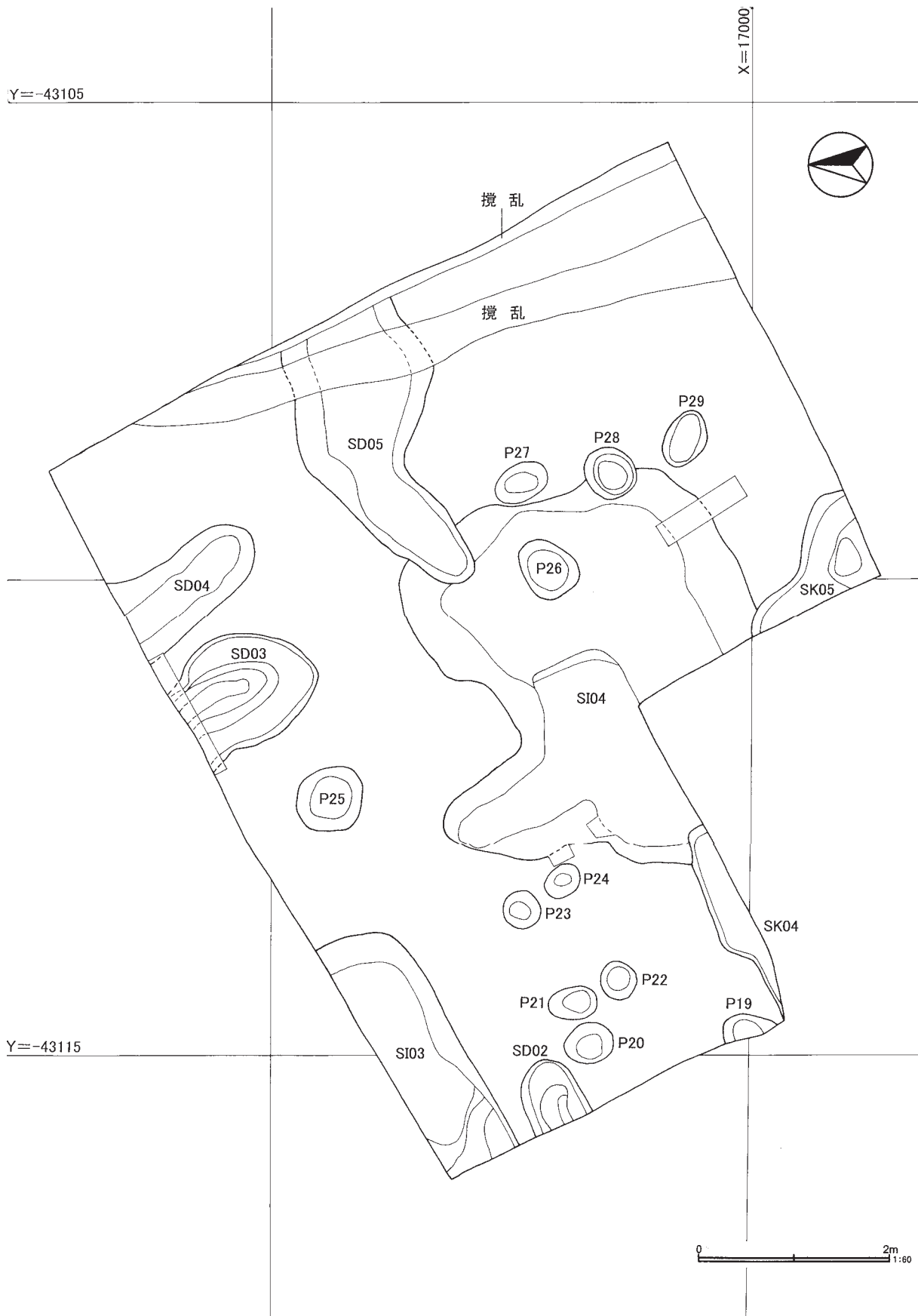
第3図 石原古墳群・不二ノ腰遺跡位置図



第4図 石原古墳群・不二ノ腰遺跡全測図

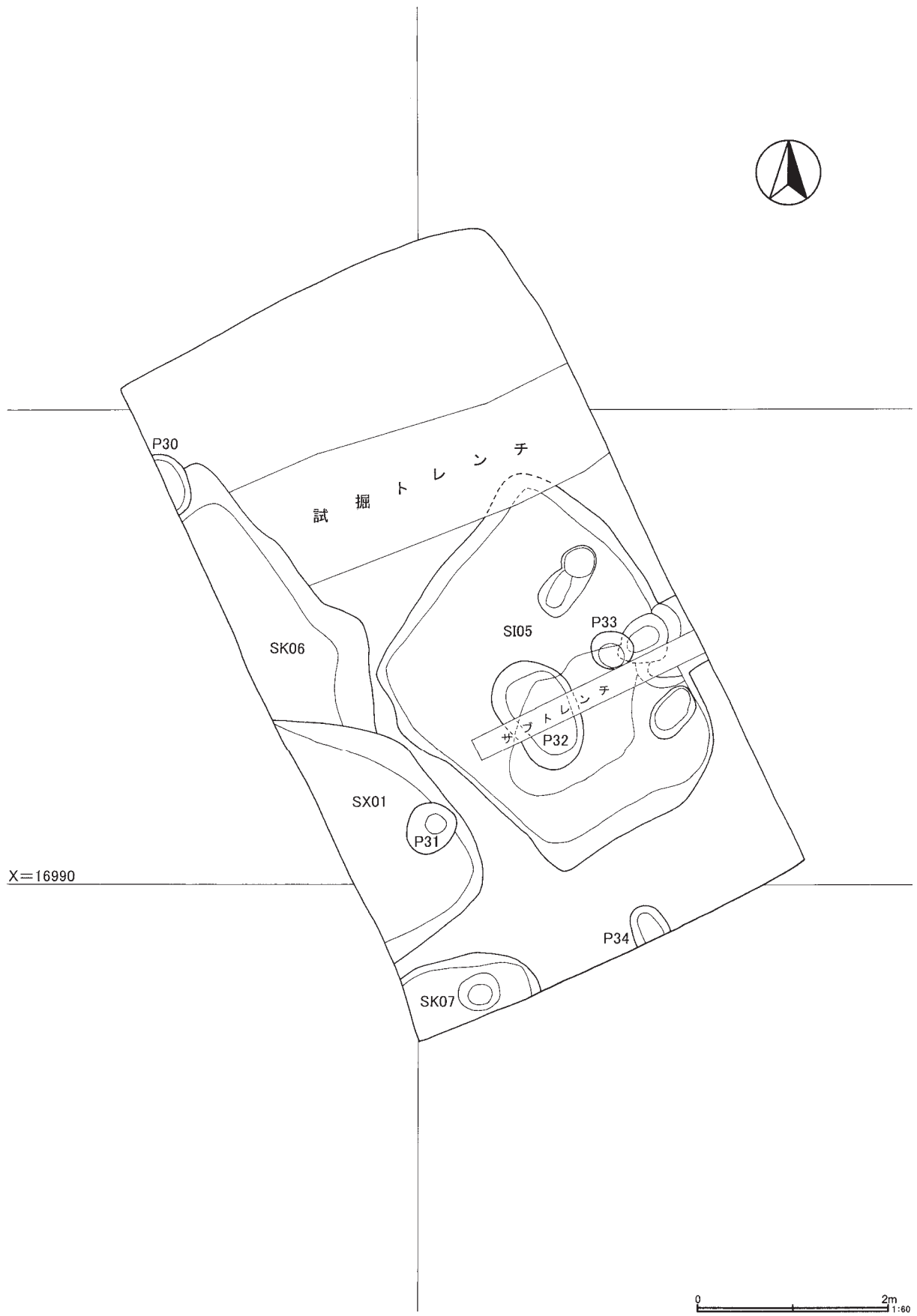


第5図 A区全体図



第6図 B区全体図





第7図 C区全体図

### Ⅲ 遺跡の概要

#### 1 調査の方法

発掘調査の方法は、1辺5mのグリッド方式を用いて行い、調査区全体を網羅できる様に、北東隅をA-1として西へA・B・C・・・、南へ1・2・3・・・とし、Aラインは北から南へA-1・A-2・A-3・・・と呼称した。Bライン以西もAラインと同様に呼称し、グリッド設定を行った。

発掘調査は、重機による遺構確認面までの表土剥ぎを行った後、先述のグリッド設定を行った。なお、座標は世界測地系による国家方眼座標に基づく基準点測量による。調査区は分譲住宅建設予定地3か所をそれぞれ、南東の調査区をA区、北東の調査区をB区、南西の調査区をC区と設定した。表土剥ぎ後は、人力による遺構確認のための精査を実施し、確認された遺構は各々手掘りを行った。原則として遺物は必要に応じて写真撮影後、遺構ごとに一括して慎重に取り上げた。遺構は写真撮影した後、実測を行った。そして、最後に遺構全体の写真撮影を行い、全測図の実測を行った。

#### 2 検出された遺構と遺物

本調査によって検出された遺構は、A区では南東隅に溝跡、中央および北西に住居跡が2軒あり、その他土坑3基、小規模なピット多数であった。B区では住居跡が2軒、北側には溝跡2条と、土坑2基、その他ピット群が検出された。C区では中央に住居跡、西側では規模が大きい土坑が検出されている。遺物の多くは各調査区それぞれ住居跡に集中しており、主に奈良～平安時代の土師器、須恵器等が多く、住居跡のうち1軒からは、鉄を精錬する際に利用する羽口、その際に飛び散る鉄滓が検出され、コンテナ3箱分の出土量であった。

### Ⅳ 遺構と遺物

#### 1 住居跡

住居跡は、各調査区で総じて5軒検出した。

まずA区からは2軒検出し、カマドがそのうち1軒から確認できた。次にB区でも2軒検出し、カマドはそのうち1軒から確認でき、さらにもう1軒からは羽口や鉄滓が検出された。C区ではカマドがある住居跡を1軒確認することができた。各調査区の多くの住居跡で確認されたカマドからは完形に近い甕などの遺物が検出できた。

以下住居跡ごとに詳細を記載する。

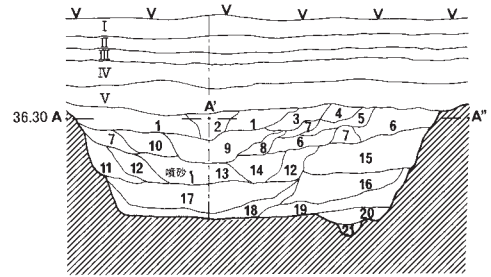
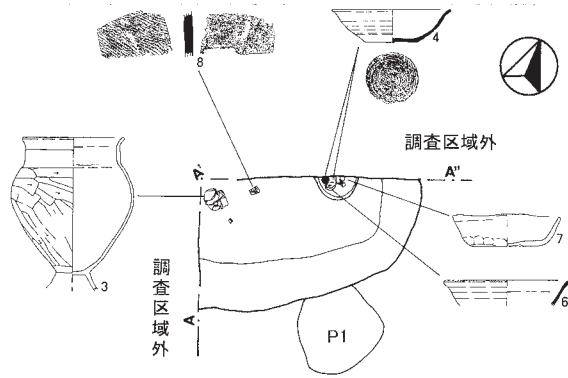
##### 第1号住居跡（第8図）

D-2グリッド（A区）から検出した。

他の遺構との重複関係はみられなかったが、大半が調査区域外であった。

正確な規模は不明であるが、検出長軸がおよそ1.75m、短軸は1.05mを測り、主軸方向はほぼ真北を指すと思われる。確認面からの深さは調査区壁の土層断面から、0.92mであることが確認された。床面はほぼ平坦であるが他の住居跡と比べると、床面まで深く残りがよい。覆土は基本層で4～5層からなる。初めに東部から埋まり、そこからはレンズ堆積状に自然堆積で埋まったと推定される。

完形のものはいくらか出土しており、出土遺物で図示可能なものは土師器杯や須恵器杯、甕の計8点である。うち1点は台付甕で、さらに燈明皿として利用されただろう土師器杯の1点を確認できた。これらの遺物からこの住居跡の時期は、9世紀初頭と思われる。

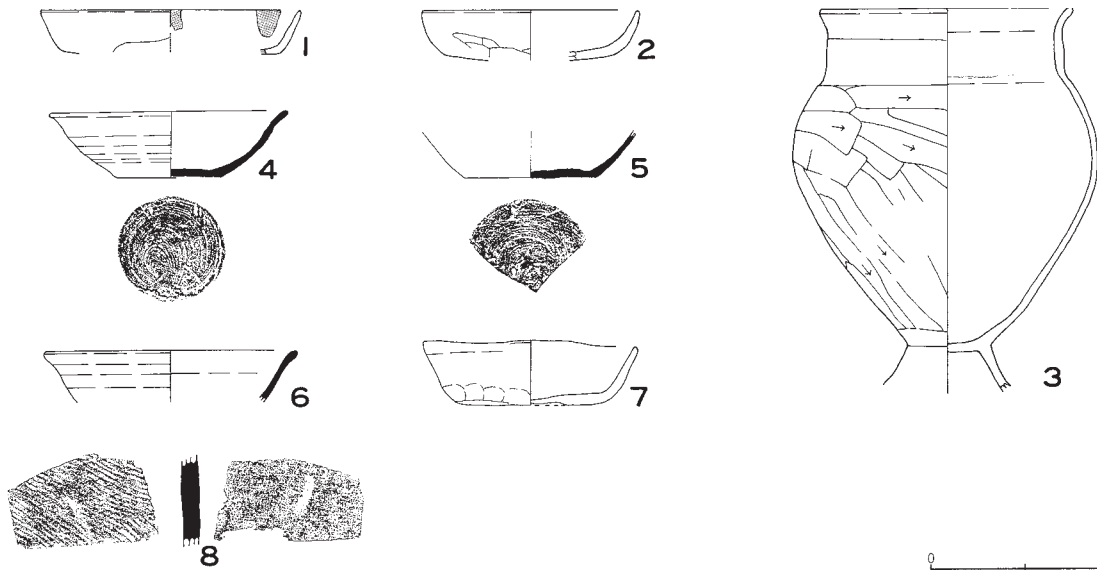


第1号住居跡(A-A'-A'') (A区)

1. 黒褐色土 10YR-3/1(微量に黄灰色土 2.5Y-4/1 有、一部暗灰黄色土 2.5Y-4/2 含、灰色土 5Y-5/1 ブロック有)
2. 黒褐色土 2.5Y-3/2(土器片、暗灰黄色土 2.5Y-4/2 有)
3. 黒褐色土 2.5Y-3/1(黄灰色土 2.5Y-4/1 微量に有)
4. 黒褐色土 2.5Y-3/1(暗灰黄色土 2.5Y-4/2 を一部含)
5. オリーブ黒色土 5Y-3/1(小礫有、土器片有)
6. 暗灰黄色土 2.5Y-4/2(黒褐色土 2.5Y-3/2 を少量含)
7. 灰オリーブ色土 5Y-4/2(シルト質、黄灰色土 2.5Y-4/1 ブロック有)
8. 暗灰黄色土 2.5Y-4/2(灰色土 5Y-4/1、黄灰色土 2.5Y-4/1 ブロック有、土器片有)
9. 灰黄褐色土 10YR-4/2(土器片有、炭化物少量、黄灰色土 2.5Y-4/1 ブロック有)
10. 灰オリーブ色土 5Y-4/2(灰黄褐色土 10YR-4/2 含、炭化物有、黄灰色土 2.5Y-4/1 ブロック有、しまり弱)
11. オリーブ黒色土 5Y-3/2(黄灰色土 2.5Y-4/1 ブロック有、一部砂質土化)

12. オリーブ黒色土 7.5Y-3/2(黄灰色土 2.5Y-4/1、黒褐色土 10YR-3/1 ブロック有、小礫有、炭化物含)
13. オリーブ黒色土 7.5Y-3/2(灰黄褐色土 10YR-4/2 少量、黄灰色土 2.5Y-4/1 ブロック多数、炭化物有)
14. 暗灰黄色土 2.5Y-4/2(土器片、炭化物含、黄灰色土 2.5Y-4/1 ブロック有)
15. オリーブ黒色土 7.5Y-3/2(黄灰色土 2.5Y-4/1 ブロック、土器片有、炭化物有)
16. 灰オリーブ色土 5Y-4/2(若干シルト質、黄灰色土 2.5Y-4/1 ブロック、土器片有)
17. 灰オリーブ色土 5Y-4/2(土器片、炭化物含、砂質土)
18. 灰オリーブ色土 5Y-4/2(炭化物有、砂質土)
19. 灰オリーブ色土 5Y-4/2(砂質土)
20. 灰オリーブ色土 5Y-4/2(砂質土、土器片有)
21. 灰オリーブ色土 5Y-4/2(若干粘質土、20 より微妙に明るい)

第8図 第1号住居跡



第9図 第1号住居跡出土遺物

第1表 第1号住居跡出土遺物観察表 (第9図)

番号	器種	法量 (cm)	手法・形態の特徴等	胎土	色調	焼成	残存率	備考
1	土師器杯	口径 (13.8) 残存高2.3	口縁部・内外面ヨコナデ	A、B、 I	橙5YR-6/8	普通	10%	灯明皿
2	土師器杯	口径 (11.6) 残存高2.7		A、B、 D、I	橙5YR-6/8	不良	20%	
3	土師器 台付甕	口径 (13.2) 残存高20.2	口縁部・内外面ヨコナデ	I、M	橙5YR-6/8	普通	70%	
4	須恵器杯	口径12.6 器高3.4	底部回転系切、調整なし	A、B、 I、N	灰10YR-4/1	普通	90%	
5	須恵器杯	口径 — 残存高3.0	底部回転系切、調整なし	A、B、 N	灰N-5/	普通	20%	
6	須恵器杯	口径 (13.4) 残存高2.7		A、B、D、 I、N	灰7.5Y-5/	普通	口縁の20%	
7	須恵器杯	口径11.4 器高3.4	指頭圧痕有	A、B、 I、J	明褐7.5YR-5/6	普通	80%	
8	須恵器甕	—	外面平行叩目 内面ナデ	A、B、 N	青灰5PB-6/1	良好	胴部破片	

第2号住居跡(第10図)

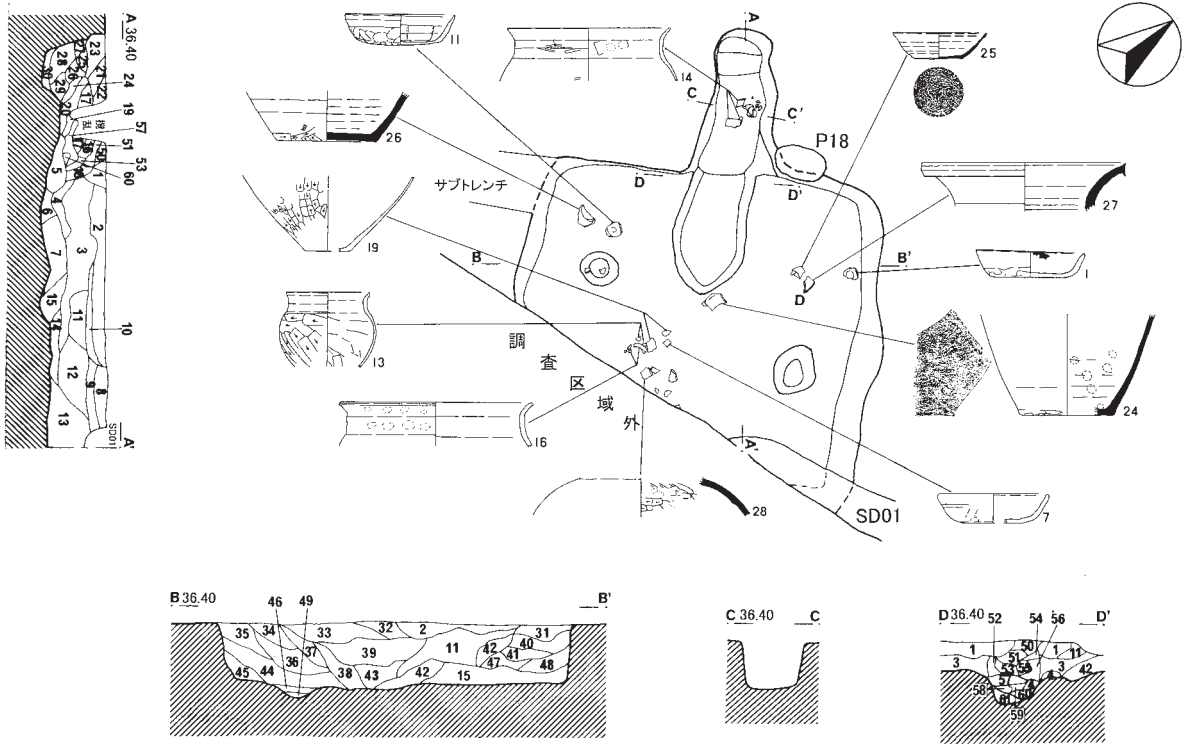
B-2、C-2グリッド(A区)から検出した。

他の遺構との重複関係があり第1号溝跡が住居跡の一部を掘り込んでいた。なお一部が調査区域外であった。

正確な規模は不明であるが、推定長軸がおよそ2.49m、短軸は2.85mを測り、主軸方向はカマドを通るものとしてN-50°-Wを指す。確認面からの深さは最大で0.54mであった。床面はほぼ平坦であり、カマド手前では窪みが確認された。覆土はカマド手前部分では底部付近で礫や砂質土が多く検出され、一部については過去の河川による氾濫土と思われる覆土を確認できた。カマド部分は煙道部と燃焼部が検出でき、粘土で構築された側面の一部が残存して、確認された。燃焼部からは、甕片が数点検出できた。また、ピットが2つ確認された。それらの間隔と覆土から柱穴跡と想定できる。

出土遺物で図示可能なものはカマドの住居跡全体からの計29点である。9世紀後半と思われる土師器杯が12点、同甕が8点分、そして須恵器杯や壺が8点であった。

これらの遺物からこの住居跡の時期は、9世紀後半と思われる。

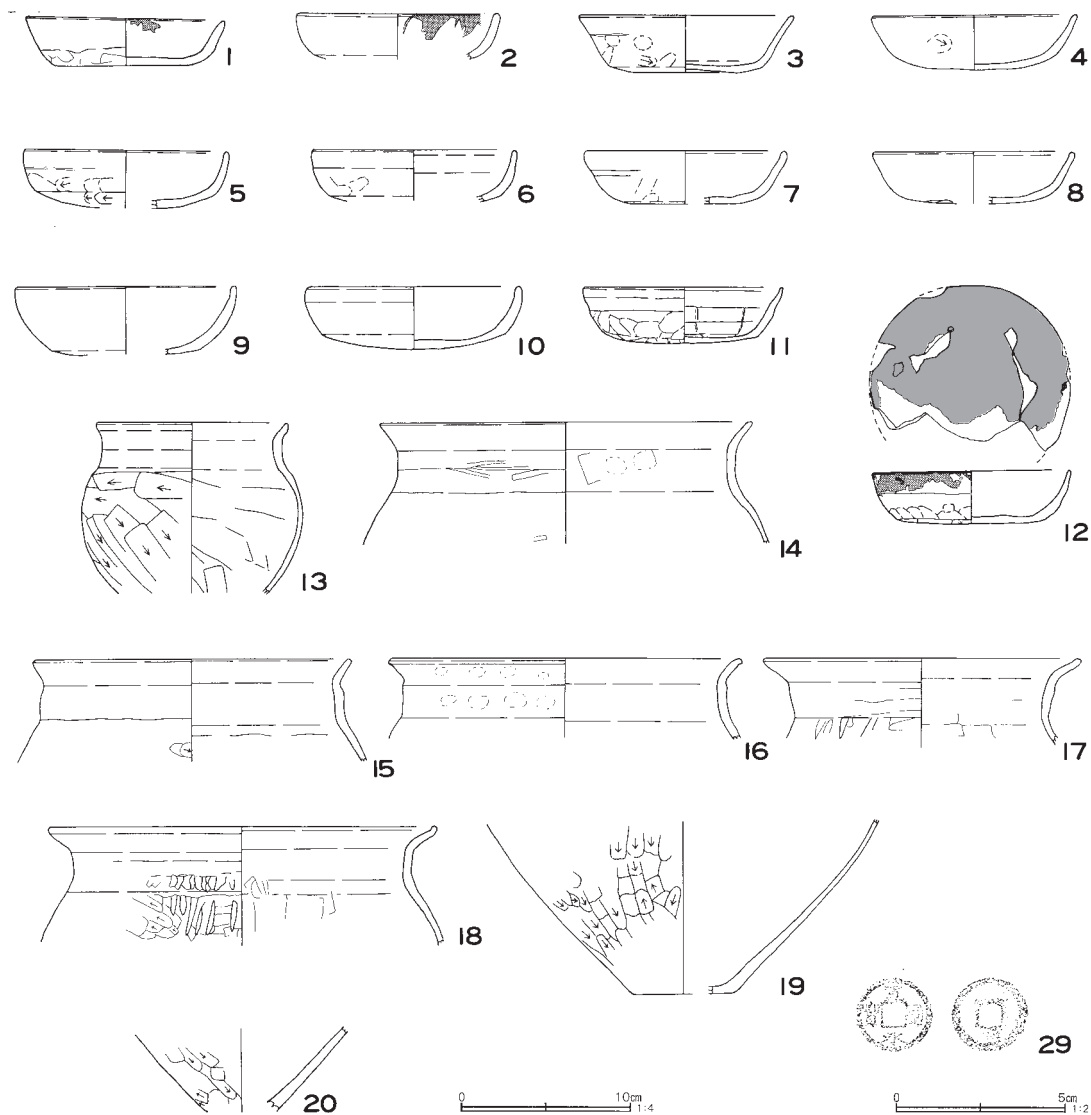


第2号住居跡(A-A') (B-B') (D-D') (A区)

- |   |   |
|---|---|
| <p>1. 灰黄褐色土 10YR-4/2(黄灰色土 2.5Y-4/1ブロック有)<br/>                 2. にふい黄褐色土 10YR-4/3(黄灰色土 2.5Y-4/1ブロック有)<br/>                 3. オリーブ褐色土 2.5Y-4/3(黄灰色土 2.5Y-4/1ブロック有、FeO<sub>2</sub>少量含)<br/>                 4. 暗オリーブ褐色土 2.5Y-3/3(シルト質、一部黒褐色土 2.5Y-3/2含む)<br/>                 5. オリーブ黒色土 5Y-3/1(小礫多い、砂質土)<br/>                 6. オリーブ黒色土 5Y-3/2(砂質土、小礫多い)<br/>                 7. 黒褐色土 2.5Y-3/1(小礫多数、砂質土)<br/>                 8. 黒褐色土 2.5Y-3/2(FeO<sub>2</sub>多量、炭化物有)<br/>                 9. オリーブ褐色土 2.5Y-4/4(FeO<sub>2</sub>多量、炭化物有、黄灰色土 2.5Y-4/1ブロック有)<br/>                 10. にふい黄褐色土 10YR-4/3(暗灰黄色土 2.5Y-4/2 一部含、黄灰色土 2.5Y-4/1 粒子及びFeO<sub>2</sub>多量)<br/>                 11. オリーブ褐色土 2.5Y-4/3(黄灰色土 2.5Y-4/1ブロック有、FeO<sub>2</sub>多量、一部明黄褐色土 2.5Y-7/6ブロック有)<br/>                 12. 暗灰黄色土 2.5Y-4/2(土器片有、炭化物含、黄灰色土 2.5Y-4/1ブロック、FeO<sub>2</sub>多量、一部明黄褐色土 2.5Y-7/6ブロック有)<br/>                 13. 灰オリーブ色土 5Y-4/2(砂質土、黄灰色土 2.5Y-4/1、FeO<sub>2</sub>ブロック有)<br/>                 14. 灰オリーブ色土 5Y-4/2<br/>                 15. 暗灰黄色土 2.5Y-4/2(一部黒褐色土 2.5Y-3/1入る、黄灰色土 2.5Y-4/1ブロック、FeO<sub>2</sub>少量有、少々しまり弱)<br/>                 16. 灰黄褐色土 10YR-4/2(焼土及び黄灰色土 2.5Y-4/1ブロック有、少々砂質土)<br/>                 17. 灰黄褐色土 10YR-4/2(焼土ブロックうっすらと入る)<br/>                 18. 灰オリーブ色土 5Y-4/2(かなり微量に焼土有)<br/>                 19. オリーブ黒色土 5Y-3/1(砂質土)<br/>                 20. オリーブ黒色土 7.5Y-3/1(炭化物有、砂質土)<br/>                 21. 灰オリーブ色土 5Y-4/2(一部黄灰色土 2.5Y-4/1ブロック有)<br/>                 22. 成オリーブ色土 5Y-4/2(かなり微量に炭化物有)<br/>                 23. 暗灰黄色土 2.5Y-4/2(黄灰色土 2.5Y-4/1ブロック多量、FeO<sub>2</sub>微量に含)<br/>                 24. 灰オリーブ色土 5Y-4/2(少々砂質土、20より少々明るい)<br/>                 25. 暗灰黄色土 2.5Y-4/2(一部黄灰色土 2.5Y-4/1ブロック有)<br/>                 26. 暗灰黄色土 2.5Y-4/2(25より明るい)<br/>                 27. 暗灰黄色土 2.5Y-4/2(砂質土)<br/>                 28. オリーブ黒色土 5Y-3/1(砂質土)<br/>                 29. オリーブ黒色土 5Y-3/1(砂質土、礫多く含む)<br/>                 30. 黒褐色土 2.5Y-3/1(砂質土)<br/>                 31. 黒褐色土 2.5Y-3/2</p> | <p>32. 黄褐色土 2.5Y-5/4(炭化物、黄灰色土 2.5Y-4/1ブロック及びFeO<sub>2</sub>少量)<br/>                 33. オリーブ黒色土 7.5Y-3/2(土器片、炭化物、黄灰色土 2.5Y-4/1ブロック、しまり弱)<br/>                 34. オリーブ黒色土 5Y-3/2(一部黄灰色土 2.5Y-4/1有、しまり若干弱、一部シルト質)<br/>                 35. オリーブ黒色土 5Y-3/1(黄灰色土 2.5Y-4/1、FeO<sub>2</sub>多量)<br/>                 36. 灰オリーブ色土 5Y-4/2(黄灰色土 2.5Y-4/1、FeO<sub>2</sub>多量)<br/>                 37. 灰オリーブ色土 5Y-5/3(黄灰色土 2.5Y-4/1)<br/>                 38. 灰オリーブ色土 5Y-4/2(シルト質、黄灰色土 2.5Y-4/1、FeO<sub>2</sub>少量)<br/>                 39. オリーブ褐色土 2.5Y-4/3(一部炭化物有)<br/>                 40. オリーブ褐色土 2.5Y-4/4<br/>                 41. 暗オリーブ色土 2.5Y-4/4(黄灰色土 2.5Y-4/1ブロック有)<br/>                 42. 暗オリーブ色土 5Y-4/3(炭化物多量に含、土器片有、黄灰色土 2.5Y-4/1ブロック少量含)<br/>                 43. オリーブ黒色土 5Y-3/2(少々砂質土、小礫含)<br/>                 44. 暗灰黄色土 2.5Y-4/2(黄灰色土 2.5Y-4/1及びFeO<sub>2</sub>含)<br/>                 45. 黒褐色土 2.5Y-3/1(黄灰色土 2.5Y-4/1ブロック有)<br/>                 46. 黒褐色土 2.5Y-3/1<br/>                 47. 暗灰黄色土 2.5Y-4/2<br/>                 48. 暗灰黄色土 2.5Y-4/2(一部黒褐色土 2.5Y-3/1有)<br/>                 49. 暗オリーブ色土 5Y-4/4(粘質土、部分的に黄褐色土 2.5Y-5/4含)<br/>                 50. 黄褐色土 2.5Y-5/3(灰黄色土 2.5Y-7/2ブロック有)<br/>                 51. 暗灰黄色土 2.5Y-4/2(黄灰色土 2.5Y-4/1ブロック有、焼土かなり微量に含)<br/>                 52. 暗灰黄色土 2.5Y-4/2(焼土有、にふい赤褐色土 5YR-4/3及び黒褐色土 5YR-3/1、ごく微量に黄灰色土 2.5Y-4/1ブロック有)<br/>                 53. 灰黄褐色土 10YR-4/2(黄灰色土 2.5Y-4/1ブロック有、土器片含、焼土有)<br/>                 54. 暗灰黄色土 2.5Y-5/2(黄灰色土 2.5Y-4/1ブロック有)<br/>                 55. 暗灰黄色土 2.5Y-4/2(土器片、炭化物有、焼土微量に含)<br/>                 56. 暗灰黄色土 2.5Y-4/2(焼土有、黄灰色土 2.5Y-4/1)<br/>                 57. 暗灰黄色土 2.5Y-4/2(焼土及び黒褐色土 5YR-3/1、土器片有、ごく微量に黄灰色土 2.5Y-4/1ブロック有、一部黒褐色土 7.5YR-2/2ブロック有)<br/>                 58. 暗灰黄色土 2.5Y-4/2(少々砂質土、土器片、うっすらと灰褐色土 5YR-4/2有)<br/>                 59. 暗灰黄色土 2.5Y-5/2<br/>                 60. 黒褐色土 2.5Y-3/2(砂質土)<br/>                 61. 黄褐色土 2.5Y-5/3(一部黒褐色土 2.5Y-3/2が混ざる)少々粘質土</p> |
|---|---|

第10図 第2号住居跡

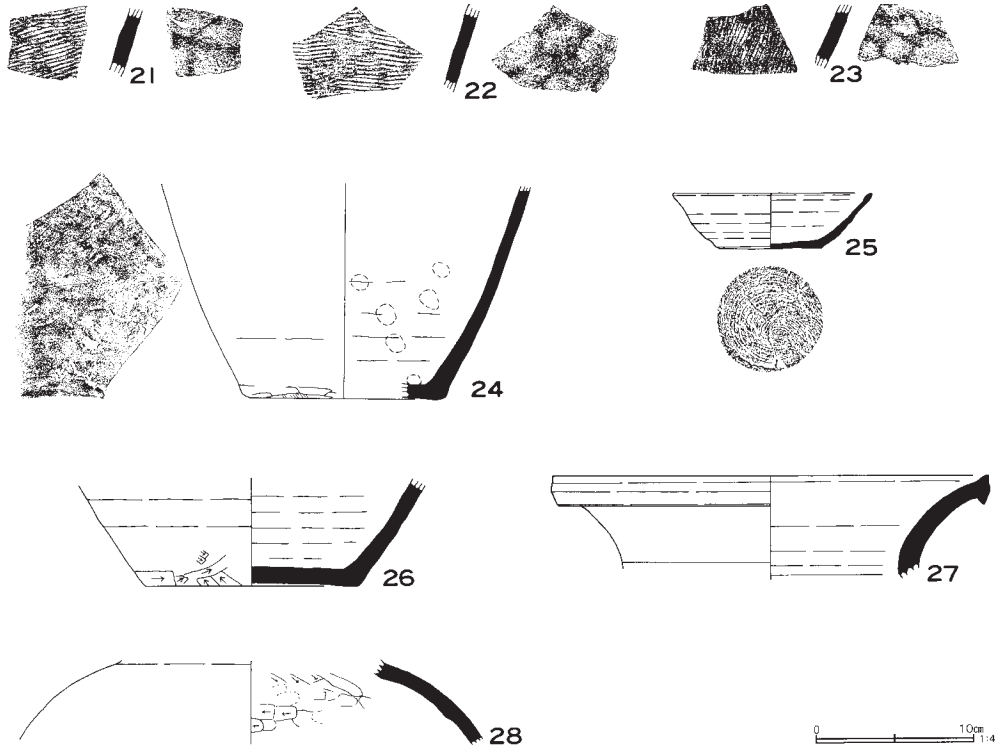




第11図 第2号住居跡出土遺物(1) ※29のみ1/2スケールである

第2表 第2号住居跡出土遺物観察表(第11・12図)

番号	器種	法量 (cm)	手法・形態の特徴等	胎土	色調	焼成	残存率	備考
1	土師器杯	口径11.7 器高3.0	口縁部内側スス附着	A、B、D G、I、K	橙7.5YR-6/6	普通	90%	灯明皿
2	土師器杯	口径(12.0) 残存高2.7	口縁部内側スス附着	A、D、 I、K	にぶい赤褐5YR-5/4	普通	口縁の35%	
3	土師器杯	口径(12.6) 器高3.4	指頭圧痕有 内外面ヨコナデ	A、B、 I、K	橙5YR-6/8	普通	40%	
4	土師器杯	口径(12.2) 器高3.2	指頭圧痕有	A、B、 I、K	橙5YR-6/6	普通	35%	
5	土師器杯	口径(12.2) 器高3.4	内外面ヨコナデ	A、B、 E、I	明赤褐5YR-5/8	普通	30%	
6	土師器杯	口径(12.2) 残存高3.1	内外面ヨコナデ	A、B、 I	橙7.5YR-6/8	普通	20%	
7	土師器杯	口径(12.0) 器高2.9		A、B、 I	橙5YR-6/8	普通	30%	
8	土師器杯	口径(12.0) 器高3.1		A、B、D I、K	にぶい赤褐5YR5/4	普通	20%	
9	土師器杯	口径(13.0) 器高4.0	内外面ヨコナデ	B、D、G、I、 K	にぶい赤褐2.5YR5/4	普通	20%	
10	土師器杯	口径(12.8) 器高3.7		B、D G、I、K	橙5YR-6/6	普通	30%	
11	土師器杯	口径11.9 器高8.8 底径3.3	内外面ヨコナデ 底部ヘラケズリ	I、K、M	明赤褐5YR-5/6	普通	完形	



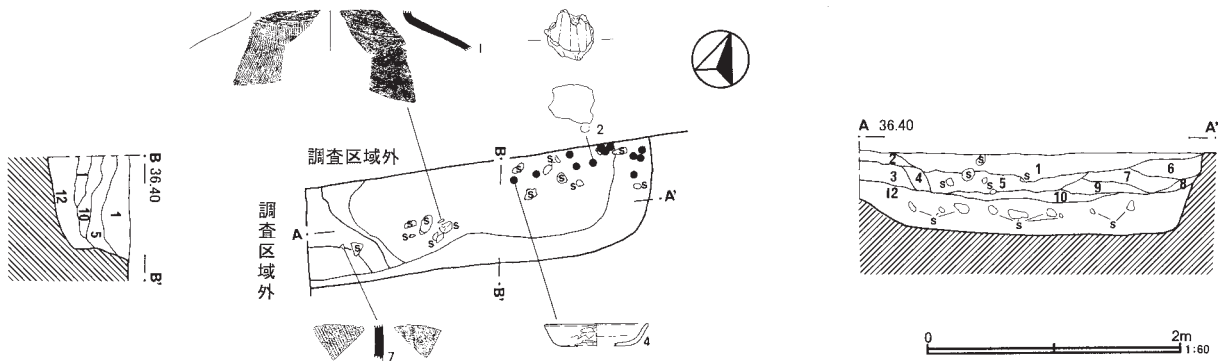
第12図 第2号住居跡出土遺物(2)

12	土師器 杯	口径11.6 器高3.1	外面口縁部、内面に油煙 スス付着	I、M	橙5YR6/6	普通	60%	灯明皿
13	土師器 小型甕	口径(11.4) 残存高10.1	口縁部内外面ヨコナデ。 胴部内外面ヘラケズリ。	I、M	にぶい赤褐5YR-5/4	普通	口縁の40%	
14	土師器 甕	口径(22.0) 残存高7.0	胴部内面指頭圧痕有	A、B、D、 E、G、I、k	外面：黒褐10YR-3/1 橙7.5YR6/6 内面：灰褐7.5YR-4/2	普通	口縁の40%	
15	土師器 甕	口径(18.8) 残存高7.0	住居内土坑 外面口縁部ヘラケズリ	A、B、D、 E、G、I、k	にぶい橙2.5YR-6/4	普通	口縁の30%	
16	土師器 甕	口径(21.0) 残存高4.7	外面口縁部指頭圧痕有	A、B、D、E G、H、I、k	にぶい橙2.5YR-5/4	普通	口縁の30%	
17	土師器 甕	口径(18.8) 残存高5.1	外面タタキ痕有 内面口縁部ヨコナデ 内面ヘラケズリ	A、B、D、 E、I、K	橙5YR-6/6	普通	口縁の10%	
18	土師器 甕	口径(23.0) 残存高7.0	外面一部にヘラケズリ痕有 外面口縁部にタタキ痕有 内面ヨコナデ有	A、B、D、E G、H、I、k、 N	橙5YR-6/6	普通	口縁の15%	
19	土師器 甕	残存高10.3 残存底径6.0	外面ヘラケズリ痕有	A、B、E、I、 K	外面：黒褐7.5YR-3/1 内面：明赤褐5YR-5/6	普通	胴部下半部 の50%	
20	土師器 甕	残存高2.7	底部のみ 外面ヨコナデ痕有	B、D、E、G、 I	外面：明赤褐5YR-3/2 内面：にぶい橙5YR-6/4	普通	胴部下半部 の20%	
21	須恵器 甕	-	平行叩目痕有	A、B、C、 I	黄灰10YR-6/1	普通	破片	末野産?
22	須恵器 甕	-	平行叩目痕有	A、B、J、 N	黄灰10YR-6/1	普通	破片	末野産
23	須恵器 甕	-	平行叩目痕有	A、B、C	青灰5PB-6/1	普通	破片	末野産?
24	須恵器 壺	残存高13.7 残存底径 13.0	底部ヘラケズリのみ 内外面ヨコナデ痕 底部脇ハケ目痕有	A、B、F、 N	灰白N7/	良好	胴部下半部 の30%	末野産
25	須恵器 杯	口径12.6 器高3.5	底部回転糸切、調整なし	G、M	黄灰2.5Y-6/1	普通	90%	末野産
26	須恵器 甕	残存高6.9 底径13.6	底部ヘラケズリのみ 内外面ヨコナデ痕	A、B、H	青灰5PB-5/1	良好	底部の60%	末野産
27	須恵器 甕	口径28.0 残存高6.6	内外面ヨコナデ痕有	A、B、D、F、 H、N	灰白7.5YR-8/1	普通	口縁の15%	末野産
28	土師器 甕	残存高5.3 頸部径17.2	外面ヨコナデ痕有 内面ヘラケズリ痕有	A、B、D、E F、H、N	外面：褐灰5YR-5/1 内面：にぶい赤褐5YR-5/3	普通	胴部下半部 の20%	末野産
29	古銭	径 2.5	寛永通宝	-	-	-	-	流込か?

第3号住居跡（第13図）

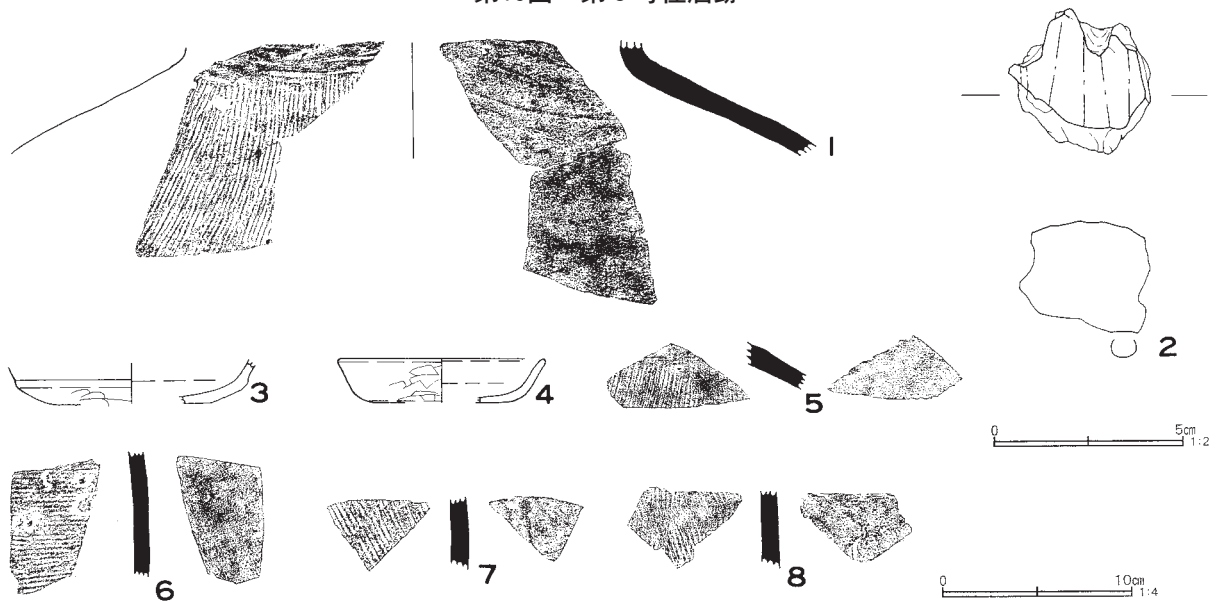
B-4、C-4グリッド（B区）から検出した。  
他の遺構との重複関係はなく、大半が調査区域外であった。

正確な規模は不明であるが、検出長軸がおよそ2.77m、短軸は0.87mを測り、主軸方向はほぼ真北を指すものと推定される。確認面からの深さは最大で0.65mであった。床面の確認は苦勞を強いられ、ほぼ平坦であるが多くの角礫や小ぶりの礫が床面に確認できた。覆土は東側から埋まっており、ほぼレンズ状に堆積していたことから自然堆積と想定されるが、一部については過去の河川による氾濫土と思われる覆土を確認できた。この住居跡の北東部からは羽口片および鉄滓（図版参照）が一点出土した。これが流れ込み等でないならば、精錬所的な要素をもった建物跡として検討することもできる。出土遺物で図示可能なものは羽口、鉄滓以外には土師器片と須恵器甕片の7点のみである。これらの遺物からこの住居跡の時期は9世紀後半と思われる。



- 第3号住居跡(A-A')(B-B')(B区)
- 1.黒褐色土 2.5Y-3/2(小礫多数、一部黒褐色土 2.5Y-2/1 含)
  - 2.オリブ黒色土 5Y-3/2(若干シルト質化、小礫微量、黄灰色土 2.5Y-4/1 少量、FeO:少量)
  - 3.オリブ黒色土 7.5Y-3/2(シルト質、小礫微量、黄灰色土 2.5Y-4/1 少量、FeO:少量)
  - 4.オリブ黒色土 5Y-3/1(小礫微量)
  - 5.オリブ黒色土 5Y-3/2(小大礫多量、しまり弱、黄灰色土 2.5Y-4/1 ブロック及び FeO:少量含、土器片含)
  - 6.灰オリブ色土 5Y-4/2(シルト質、炭化物有、土器片含)
  - 7.暗灰黄色土 2.5Y-4/2(シルト質)
  - 8.オリブ黒色土 5Y-3/1(小大礫多量に含、少々粘質土)
  - 9.オリブ黒色土 7.5Y-3/2(砂質土、土器片有)
  - 10.オリブ黒色土 5Y-3/2(砂質土、小礫一部有、黄灰色土 2.5Y-4/1 粒子、ブロック微量、FeO:少量含)
  - 11.黒褐色土 2.5Y-3/2(大礫多数含、少々粘質)
  - 12.オリブ黒色土 7.5Y-3/1(砂質土、大小礫多数)

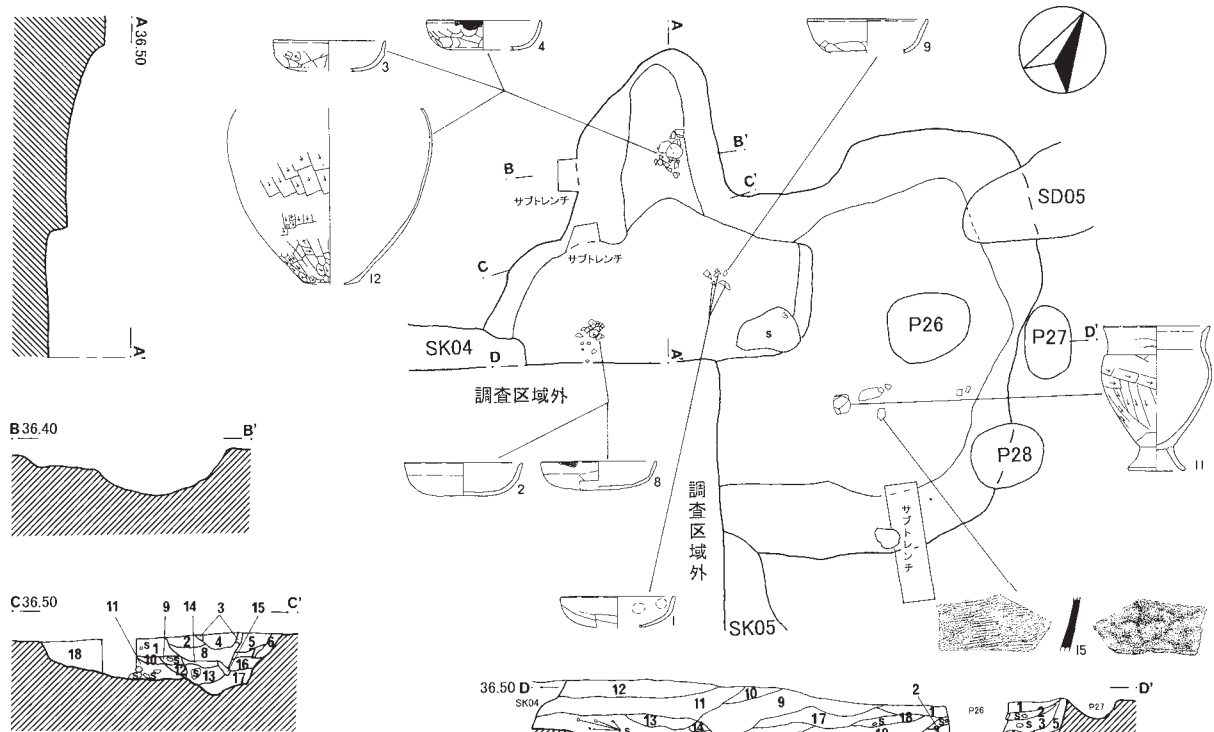
第13図 第3号住居跡



第14図 第3号住居跡出土遺物 ※2のみ1/2スケールである

第3表 第3号住居跡出土遺物観察表 (第14図)

番号	器種	法量 (cm)	手法・形態の特徴等	胎土	色調	焼成	残存率	備考
1	須恵器 甕	-	外面平行叩目。内面ナデ。	A、B、N	灰N-6/1	良好		未野産
2	羽口	最大長3.9 最大幅3.8 最大厚2.9			外面：橙7.5YR-7/6 内面：明赤褐5YR-5/8	-	破片のみ	
3	土師器 杯	口径 (13.0) 残存高2.0		B、D、E、I、 K	にぶい赤褐2.5YR-4/4	普通	胴部の15%	
4	土師器 杯	口径 (11.0) 残存高2.3	内面ナデ	A、B、D、 E、G、I、K	橙5YR-7/6	普通	口縁の15%	
5	須恵器 甕	-	外面平行叩目有 内面ヨコナデ	A、B、D、 H	外面：灰白7.5YR-8/1 内面：灰白N-7/1	普通	破片	未野産
6	須恵器 甕	-	外面一部自然釉薬有 外面平行叩目	A、B、D、 H	外面：灰白7.5YR-7/1 内面：灰白N-7/1	普通	破片	未野産
7	須恵器 甕	-	外面平行叩目有 使用による外面摩耗あり	A、B、N	外面：灰白7.5YR-6/1 内面：灰白N-6/	普通	破片	未野産
8	須恵器 甕	-	外面平行叩目有	A、B、N	灰白N-6/	良好	破片	



第4号住居跡(D-D') (B区)

1. 灰オリーブ色土 5Y-5/2 (黄灰色土 2.5Y-4/1 微量に含)
2. 1に少量の土器片有
3. 暗灰黄色土 2.5Y-4/2 (黄灰色土 2.5Y-4/1 微量に入る、明黄褐色土 10YR-6/6 ブロック有、少々シルト質)
4. 暗オリーブ色土 5Y-4/4 (少々シルト質、一部小礫有)
5. 暗オリーブ色土 5Y-4/2 (砂質土)
6. 暗オリーブ色土 5Y-4/2 (砂質土) (5より暗い)
7. 暗灰黄色土 2.5Y-4/2 (砂質土、黄灰色土 2.5Y-4/1 ブロック、及び FeO<sub>2</sub>少量含)
8. 灰オリーブ色土 5Y-5/3 (炭化物、少々暗い)
9. 灰オリーブ色土 5Y-5/2 (黄灰色土 2.5Y-4/1 ブロック、及び FeO<sub>2</sub>少量含)
10. 灰オリーブ色土 5Y-5/2 (黄灰色土 2.5Y-4/1 ブロック、及び FeO<sub>2</sub>少量含、土器片有、1より暗い)
11. 暗灰黄色土 2.5Y-4/2 (土器片、炭化物、黄灰色土 2.5Y-4/1 ブロック、及び FeO<sub>2</sub>多量)
12. 暗灰黄色土 2.5Y-5/2 (黄灰色土 2.5Y-4/1 ブロック、及び FeO<sub>2</sub>少量)
13. 暗灰黄色土 2.5Y-4/2
14. 灰オリーブ色土 5Y-4/2 (土器片有)
15. 灰黄褐色土 10YR-4/2 (土器片、炭化物多量、小礫少量有、うっすらと黄灰色土 2.5Y-4/1 FeO<sub>2</sub>有)
16. 暗灰黄色土 2.5Y-4/2 (FeO<sub>2</sub>ブロック有、ごく微量に黄灰色土 2.5Y-4/1 有、一部しまり感)
17. 暗灰黄色土 2.5Y-4/2 (18より少々明るい、土器片有、一部黄褐色土 2.5Y-5/3 粒子多く含)
18. 灰オリーブ色土 5Y-4/2 (土器片、黄灰色土 2.5Y-4/1 ブロック、小礫少量有)
19. 灰オリーブ褐色土 2.5Y-4/3 (炭化物、土器片、一部シルト化、黄灰色土 2.5Y-4/1 ブロック有)
20. オリーブ褐色土 2.5Y-4/3 (21より暗い、一部砂質土、炭化物、土器片多数、FeO<sub>2</sub>微量、黄灰色土 2.5Y-4/1 ブロック有)
21. 暗灰黄色土 2.5Y-4/2 (一部シルト化、土器片、小礫有、微量に炭化物、黄灰色土 2.5Y-4/1 FeO<sub>2</sub>少量有)
22. 灰オリーブ色土 5Y-4/2 (砂質土、6より少々明るい)
23. 暗オリーブ褐色土 5Y-4/3 (黄灰色土 2.5Y-4/1 ブロック、及び FeO<sub>2</sub>少量有)
24. 黄褐色土 2.5Y-5/3 (砂質土、炭化物、黄灰色土 2.5Y-4/1 及び FeO<sub>2</sub>少量、一部粘質土部分有)
25. 灰オリーブ褐色土 5Y-4/2 (砂質土、一部暗オリーブ褐色土 5Y-4/3 含)
26. 暗灰黄色土 2.5Y-4/2 (オリーブ褐色土 2.5Y-4/3 多く混ざる、微量に黄灰色土 2.5Y-4/1 ブロック有、砂質土)
27. 黒褐色土 2.5Y-3/2 (シルト質、少々混含む)
28. 暗オリーブ褐色土 5Y-4/3 (砂質土、小礫少量有)
29. 黒褐色土 2.5Y-3/2 (砂質土、微量にオリーブ褐色土 2.5Y-4/3 粒子含む)

第4号住居跡(C-C') (B区)

1. 暗灰黄色土 2.5Y-5/2 (暗灰黄色土 2.5Y-4/2 混ざる)
2. 暗灰黄色土 2.5Y-4/2 (一部焼土含 灰褐色土 5YR-4/2、微量に炭化物有、しまる)
3. 灰黄褐色土 10YR-5/2 (焼土多量、にぶい赤褐色土 5YR-4/3、しまる)
4. 暗灰黄色土 2.5Y-4/2 (一部焼土含、灰褐色土 5YR-4/2、黄灰色土 2.5Y-6/2 含、炭化物有)
5. 暗灰黄色土 2.5Y-5/2 (焼土ブロック有、灰褐色土 5YR-4/2、黄灰色土 2.5Y-4/1 ブロック有、FeO<sub>2</sub>微量)
6. 暗灰黄色土 2.5Y-5/2 (黄褐色土 2.5Y-2/2 多量含)
7. 暗灰黄色土 2.5Y-4/2 (炭化物多量、焼土有、かすかに灰褐色土 5YR-4/2 含、黄灰色土 2.5Y-4/1 ブロック有)
8. 暗灰黄色土 2.5Y-4/2 (焼土有、灰褐色土 5YR-4/2 にぶい赤褐色土 5YR-4/4 含、炭化物少量有、一部明赤褐色土 5YR-5/6、黄灰色土 2.5Y-6/2 ブロック有)
9. 黄褐色土 2.5Y-5/3 (炭化物多量、明赤褐色土 5YR-5/6、にぶい黄色土 2.5Y-6/3、黄灰色土 2.5Y-5/1 ブロック有)
10. オリーブ褐色土 2.5Y-4/4 (炭化物多量、明赤褐色土 5YR-5/6、にぶい黄色土 2.5Y-6/3、黄灰色土 2.5Y-5/1 ブロック有)
11. 暗オリーブ褐色土 5Y-4/4 (しまりかなり弱)
12. 暗灰黄色土 2.5Y-5/2 (22より暗い、混ざる)
13. 暗灰黄色土 2.5Y-4/2 (微量に炭化物有、黄灰色土 2.5Y ブロック、FeO<sub>2</sub>少々有)
14. 黄灰色土 2.5Y-5/3 (炭化物多量、明赤褐色土 5YR-5/6、にぶい黄色土 2.5Y-6/3、黄灰色土 2.5Y-5/1 ブロック有、焼土少量含 灰褐色土 5YR-4/2 有)
15. 黄褐色土 2.5Y-5/3 (炭化物多量、明赤褐色土 5YR-5/6、にぶい黄色土 2.5Y-6/3、黄灰色土 2.5Y-5/1 ブロック有、焼土少量含 灰褐色土 5YR-4/4 有)
16. 暗灰黄色土 2.5Y-5/2 (22より暗い、混ざる、(黄灰色土 2.5Y ブロック有、炭化物含む)
17. 暗灰黄色土 2.5Y-4/2 (しまり若干弱)
18. 地山 (暗灰黄色土 2.5Y-5/2、暗灰黄色土 2.5Y-4/1 ブロック及び FeO<sub>2</sub>多量に含)

第15図 第4号住居跡

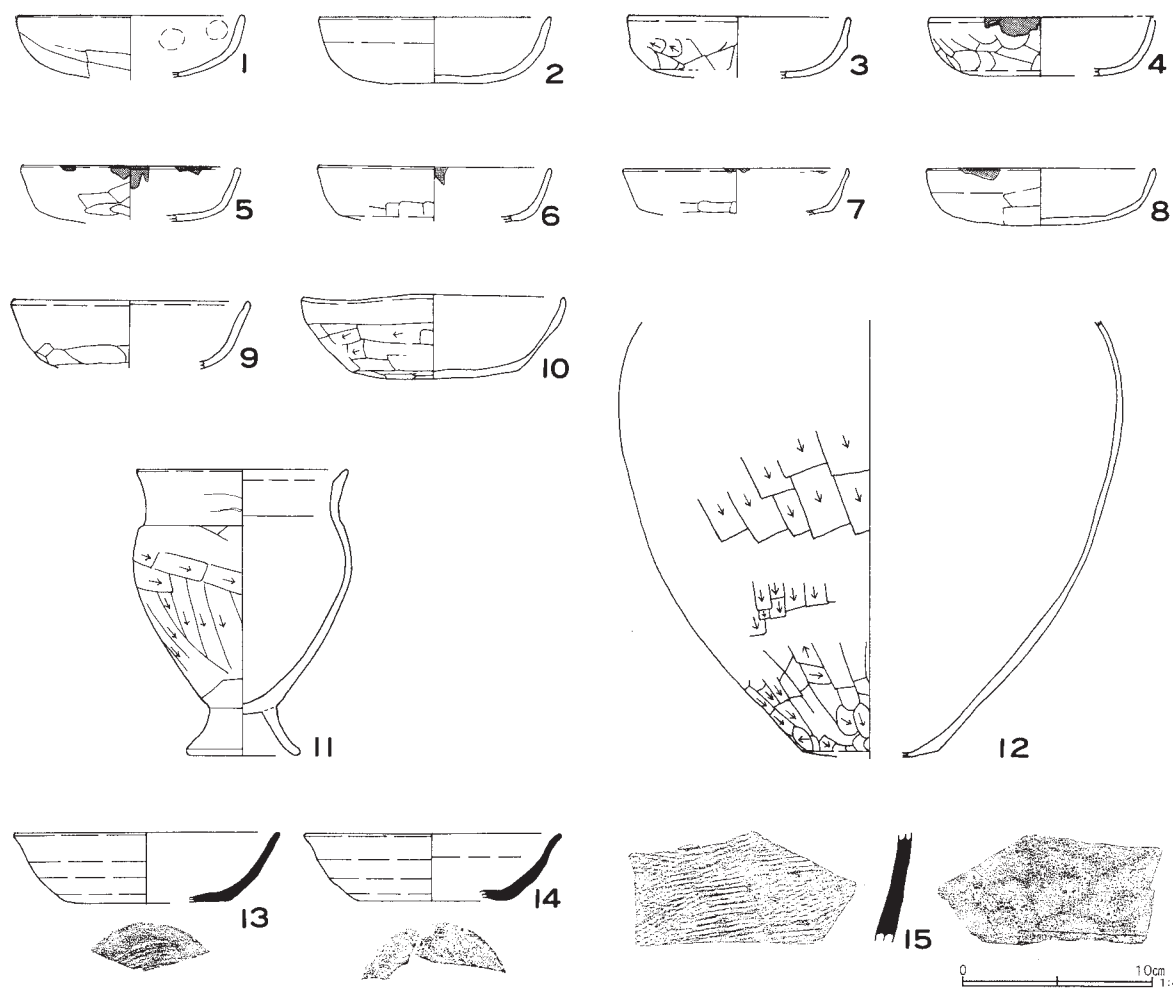


#### 第4号住居跡（第15図）

A-4、B-4グリッド（B区）から検出した。他の遺構との重複関係があり、第26～28号ピット及び第5号溝跡が第4号住居跡を掘り込んでいた。なお一部が調査区域外であった。

正確な規模は不明であるが、長軸がおよそ4.30m、短軸は2.80mを測り、主軸方向はカマドを通るものとしてN-24.7°-Wを指す。確認面からの深さは最大で0.74mであり、床面はほぼ平坦であるが若干、西に向かって傾斜が確認でき、カマド手前ではゆるやかな落ち込みがみられた。底部付近の覆土については粘質ではなく、砂質であり、一部については第3号住居跡と同様に過去の河川による氾濫土と思われる覆土を確認できた。カマド部分は煙道部と燃焼部が検出でき、粘土で構築された側面の多くが残存していた。燃焼部からは、甕片が数点検出できた。またカマドの南では岩といえるほどの礫（50cm）を検出したが、平坦ではなく、用途不明である。

出土遺物で図示可能なものは土師器甕片や杯片、須恵器杯片、甕片の計15点である。これらの遺物からこの住居跡の時期は、9世紀前半と思われる。



第16図 4号住居跡出土遺物

第4表 第4号住居跡出土遺物観察表（第16図）

番号	器種	法量 (cm)	手法・形態の特徴等	胎土	色調	焼成	残存率	備考
1	土師器杯	口径 (12.0) 残存高3.3	内面指頭圧痕有	A、B、 C、I	橙5YR-6/8	普通	50%	
2	土師器杯	口径 (12.3) 器高3.5		A、B、C、G、 I、J	橙7.5YR-6/6	普通	30%	
3	土師器杯	口径 (11.8) 器高3.3	内外面に指頭圧痕有	A、B、D、I、 K	橙5YR-6/6	普通	40%	
4	土師器杯	口径 (11.8) 器高3.1	外面スス付着	A、B、D、I、 K	橙5YR-6/8	普通	45%	燈明皿か？
5	土師器杯	口径 (12.8) 器高2.9	内外面すす付着 特に内面に油煙付着	A、B、D、I、 J	橙5YR-6/8	普通	20%	燈明皿
6	土師器杯	口径 (12.5) 残存高2.9	内面すす付着	A、C、D、 I、K	橙5YR-6/8	普通	20%	
7	土師器杯	口径 (12.0) 器高2.4	内面すす付着	A、C、I、J、 K	浅黄橙7.5YR-6/8	普通	10%	
8	土師器杯	口径 (12.2) 器高3.0		A、C、I、J	橙5YR-6/8	普通	60%	
9	土師器杯	口径 (12.3) 残存高3.6	内面に指頭圧痕有	A、B、D、I、 K	明赤褐5YR-5/6	普通	40%	
10	土師器杯	口径 (13.7) 器高4.4	外面内面ヨコナデ 外面ヘラケズリ有	A、B、I、J、 M	にぶい橙7.5YR-6/4	普通	50%	
11	土師器台付甕	口径 (11.3) 器高15.0 底径 (5.8)	内外面ヨコナデ 胴部ヘラケズリ 台部ヨコナデ	A、B、I、J、 M	にぶい橙7.5YR-7/4	普通	40%	
12	土師器甕	口径 (—) 残存高22.8 底径 (7.2)	底部ケズリ有	A、B、D、E、 I、J、K	橙5YR-6/6	普通	35%	
13	須恵器杯	口径 (13.8) 器高3.7		A、B、I、M	灰5Y-6/1	普通	30%	末野産
14	須恵器杯	口径 (13.4) 器高3.5		A、B、I、M	灰白7.5Y-7/1	普通	40%	末野産
15	須恵器甕	—	外面平行叩目有	A、B、M、N	灰白N-7/	普通	破片	末野産

第5号住居跡（第17図）

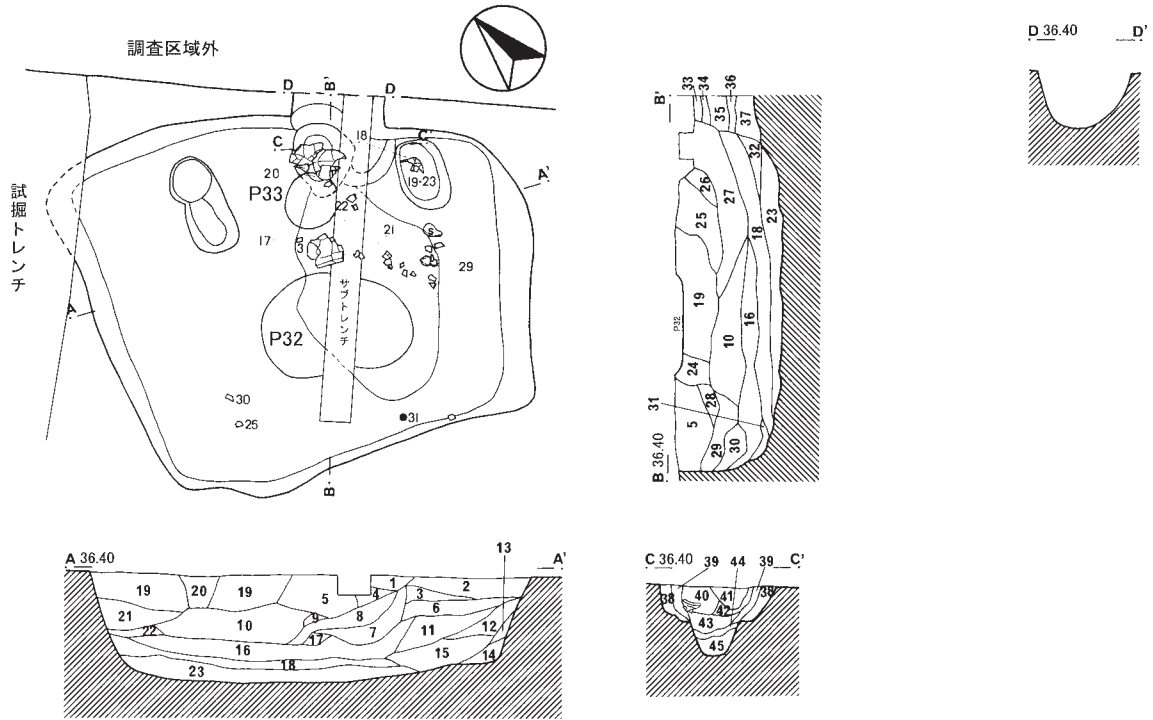
E-6、F-6グリッド（C区）から検出した。

他の遺構との重複関係があり、第32、33号ピットが住居跡を掘り込んでいた。なおカマドの煙道部が調査区域外であった。

長軸がおよそ3.54m、短軸は2.91mを測り、すでに検出された他の住居跡と比較すると、規模が小さい。主軸方向はカマドを通るものとしてN-43° -Eを指す。確認面からの深さは最大で0.86mであった。床面はほぼ平坦であり、想定される住居跡中央に大きな落ち込み、カマド手前の左右にピット状の落ち込みを確認し、カマド手前ではいくらか凹凸がみられた。カマド部分は燃焼部が検出でき、粘土で構築されたカマドのそでの一部が残存して、確認された。燃焼部からは、甕片が数点検出でき、ほぼすべて一個体で復元できた。

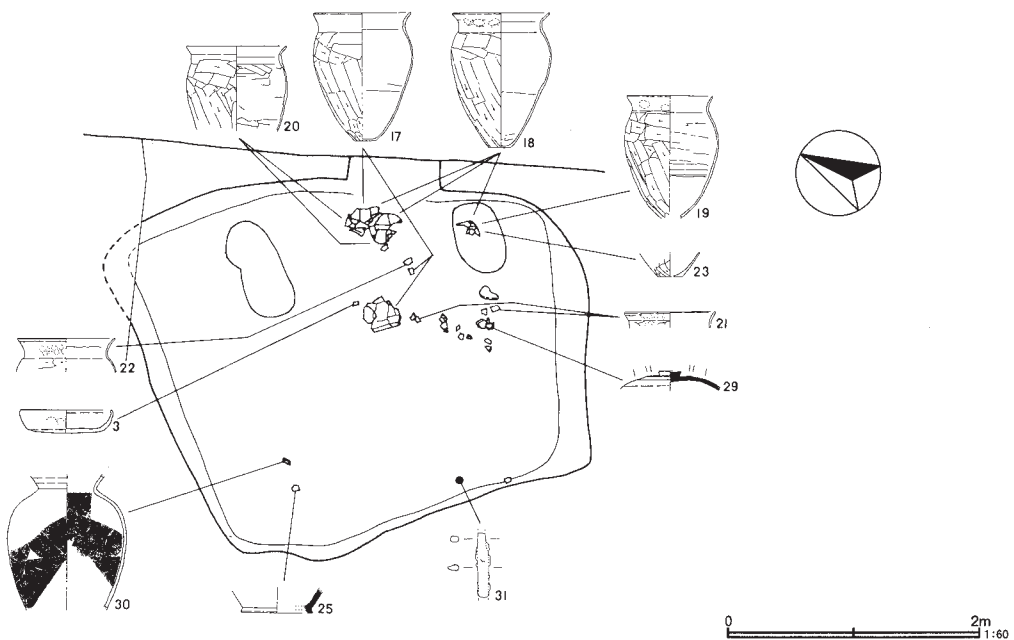
また、カマドに対して右手のピット状のものは甕片が多数検出されたことから、貯蔵穴と想定される。

出土遺物で図示可能なものは31点にも及び土師器甕が多数と刀子と思われる鉄製品が検出されたことが特徴である。これらの遺物から本住居跡の時期は、9世紀後半と思われる。



第5号住居跡(A-A' B-B' C-C' ) (C区)

- 1.黒褐色土 2.5Y-3/1(土器片有、微量に炭化物)
- 2.暗灰黄色土 2.5Y-4/2(少々黄灰色土 2.5Y-4/1 ブロック有、しまり弱)
- 3.1より少々明るい
- 4.暗灰黄色土 2.5Y-5/2(黄灰色土 2.5Y-4/1 ブロック、Fe<sub>2</sub>O<sub>3</sub>多量)
- 5.暗灰黄色土 2.5Y-5/2(少々明るい、土器片、炭化物有、しまり弱)
- 6.灰オリーブ色土 5Y-4/2(黄灰色土 2.5Y-4/1 ブロック有、かなり微量に土器片、炭化物有)
- 7.暗灰黄色土 2.5Y-4/2(土器片有、部分的に黄褐色土 2.5Y-5/3 粒子有、一部砂質)
- 8.4より若干暗い
- 9.黒褐色土 2.5Y-3/2(粘質、炭化物、土器片含)
- 10.灰黄褐色土 10YR-4/2(土器片、黄灰色土 2.5Y-4/1 ブロック有)
- 11.灰オリーブ色土 5Y-4/2(しまりかなり強、炭化物有)
- 12.暗オリーブ色土 5Y-4/3(黄灰色土 2.5Y-4/1 ブロック有)
- 13.灰オリーブ色土 5Y-4/2(砂質土)
- 14.オリーブ黒色土 5Y-3/2(砂質土)
- 15.オリーブ黒色土 5Y-3/2(砂質土、14より若干明るい)
- 16.オリーブ褐色土 2.5Y-4/3(暗灰黄色土 2.5Y-5/2 が多く入る、土器片、一部しまり弱)
- 17.暗灰黄色土 2.5Y-4/2(少々砂質土、一部に暗灰黄色土 2.5Y-5/2 有、黄灰色土 2.5Y-4/1 ブロック有)
- 18.オリーブ黒色土 5Y-3/1(砂質土、一部黄褐色土 2.5Y-5/3 粘質土含)
- 19.黒褐色土 10YR-3/2
- 20.黄灰色土 2.5Y-4/1(しまりかなり弱)
- 21.オリーブ黒色土 5Y-3/2(砂質土、黄灰色土 2.5Y-4/1 ブロック有)
- 22.暗灰黄色土 2.5Y-4/2(少々黄褐色土 2.5Y-5/4 粘質土混ざる)
- 23.暗灰黄色土 2.5Y-4/2(砂質土、黄褐色土 2.5Y-5/4 粘質土混ざる)
- 24.暗灰黄色土 2.5Y-5/2 (5より暗い、黄灰色土 2.5Y-4/1 ブロック有、一部砂質土)
- 25.暗灰黄色土 2.5Y-4/2(土器片、炭化物、少々粘質土)
- 26.暗灰黄色土 2.5Y-4/2(黄灰色土 2.5Y-4/1 ブロック、少々粘質)
- 27.暗灰黄色土 2.5Y-4/2(26より若干暗い、粘質土、土器片、炭化物有)
- 28.黄灰色土 2.5Y-5/3(若干炭化物有、土器片)
- 29.オリーブ褐色土 2.5Y-4/3(炭化物有、土器片、一部砂質化、しまり若干弱)
- 30.灰黄褐色土 10YR-4/2(明黄褐色土 10YR-6/6 ブロック数点、黄灰色土 2.5Y-4/1 ブロック有)
- 31.灰オリーブ色土 5Y-4/2(砂質土、土器片数点有)
- 32.黒褐色土 2.5Y-3/2(砂質土)
- 33.暗灰黄色土 2.5Y-5/2
- 34.暗灰黄色土 2.5Y-4/2
- 35.灰オリーブ色土 5Y-4/2
- 36.黒褐色土 2.5Y-3/2
- 37.オリーブ黒色土 7.5Y-3/2
- 38.暗灰黄色土 2.5Y-4/2(砂質土、黄灰色土 2.5Y-4/1 ブロック有)
- 39.暗灰黄色土 2.5Y-4/2(焼土、明赤褐色土 5Y-5/6 ブロック多量、炭化物有、灰黄色土 2.5Y-6/2 ブロック有、しまり若干弱)
- 40.灰オリーブ色土 5Y-4/2(少々粘質土、微量に炭化物有、土器片含、しまり強)
- 41.暗灰黄色土 2.5Y-5/2(粘質土、しまり弱)
- 42.暗灰黄色土 2.5Y-4/2(土器片少々、粘質土)
- 43.灰オリーブ色土 5Y-4/2(焼土ブロック多量、しまりかなり弱)
- 44.黒褐色土 2.5Y-3/2(炭化物有、焼土ブロック少量、しまり若干弱)
- 45.オリーブ黒色土 7.5Y-3/2(砂質土、若干炭化物、焼土ブロック少量有)

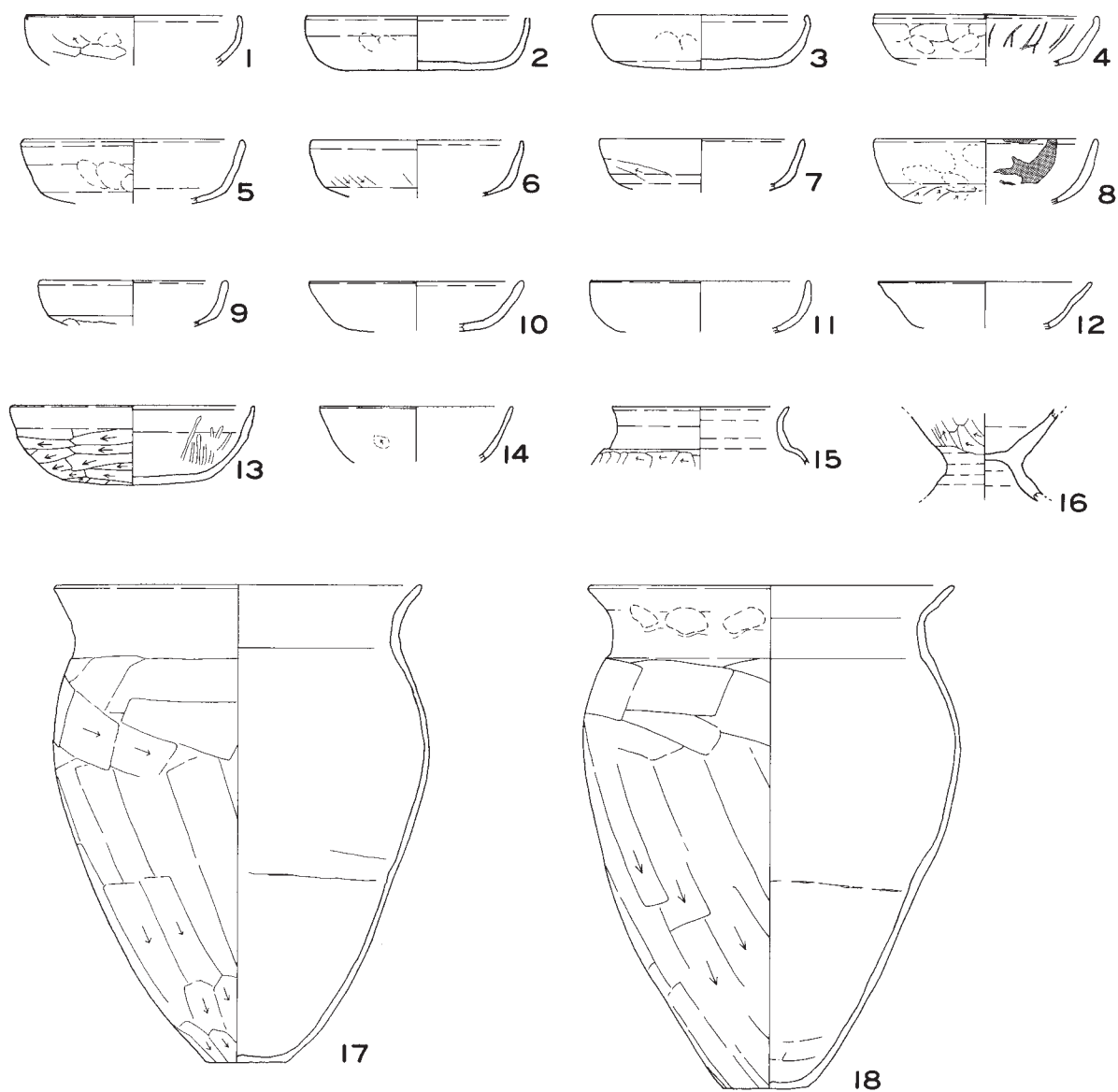


第17図 第5号住居跡

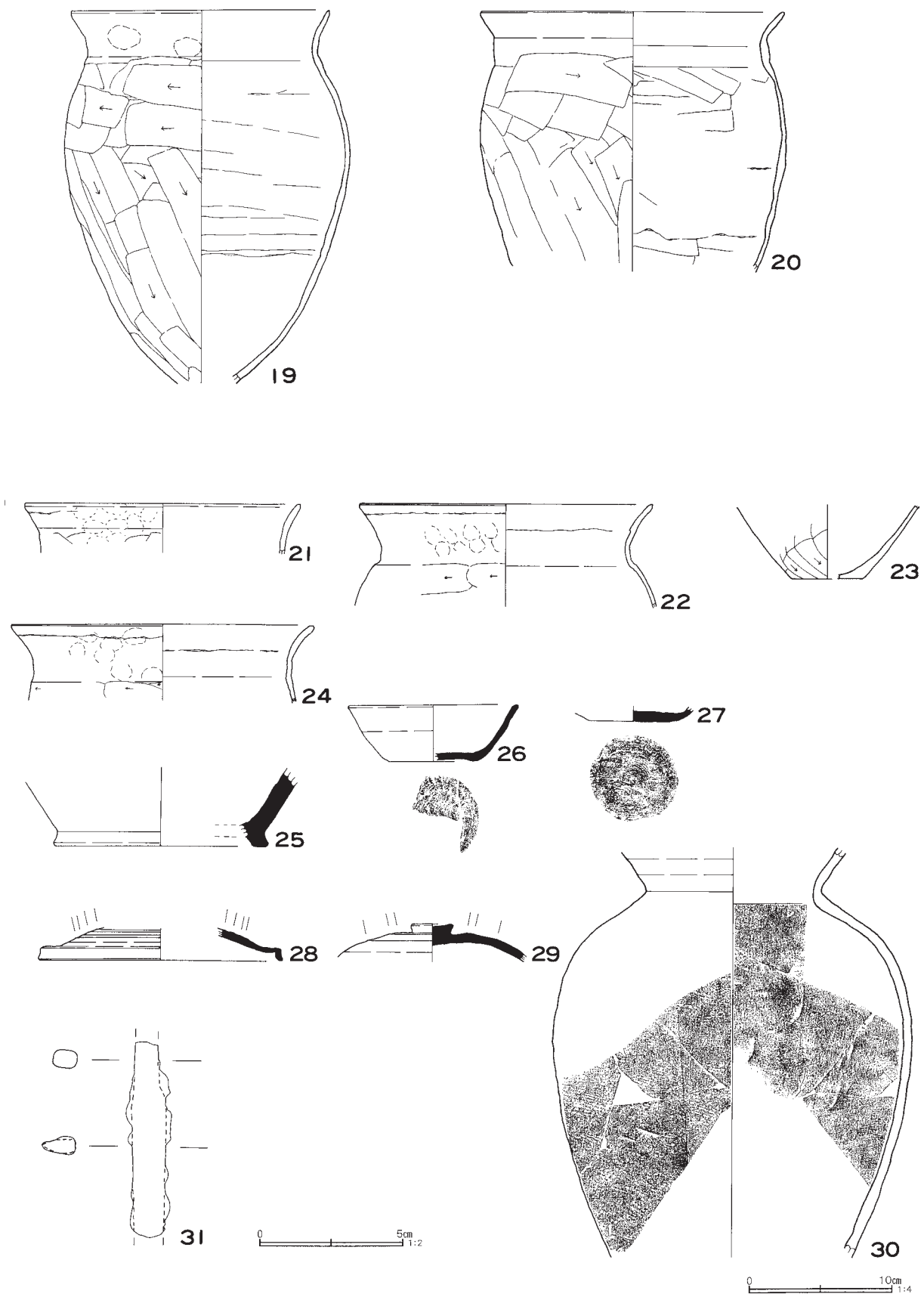
第5表 第5号住居跡出土遺物観察表(第18・19図)

番号	器種	量( cm)	手法・形態の特徴等	胎土	色調	焼成	残存率	備考
1	土師器杯	口径(12.2) 残存高2.8		A、G、I、K、N	明赤褐5YR-5/6	普通	20%	
2	土師器杯	口径(12.6) 器高3.1	外面指頭圧痕有 底部ヘラケズリ痕	A、C、D、E、 H、I、J、M、N	橙5YR-6/6	普通	50%	
3	土師器杯	口径(12.3) 器高3.1		A、B、D、E、 H、I、J、M、N	橙5YR-6/6	普通	40%	
4	土師器杯	口径(12.8) 残存高2.8	内面放射線状に暗文有	A、B、E、K、 M、O	橙5YR-6/6	良好	20%	
5	土師器杯	口径(13.0) 残存高3.6		A、B、H、I、 K、M	にぶい橙5YR-6/4	普通	30%	
6	土師器杯	口径(12.0) 残存高3.2		A、B、D、I、 K、M	橙5YR-6/6	普通	20%	
7	土師器杯	口径(11.6) 残存高2.8	外面粘土紐積上痕有	A、B、D、H、 K、M、O	明赤褐5YR-5/6	普通	20%	
8	土師器杯	口径(12.6) 残存高3.6	口縁、内面にスス有	A、B、D、F、 G、H、K、M	明赤褐5YR-5/6	普通	20%	灯明皿か?
9	土師器杯	口径(10.8) 残存高2.6		A、B、D、I、 K、M	橙2.5YR-6/6	普通	15%	
10	土師器杯	口径(12.2) 残存高2.8		A、B、H、J、 K、M	にぶい赤褐5YR-5/4	普通	20%	
11	土師器杯	口径(12.6) 残存高2.9		A、B、C、K	橙5YR-6/8	普通	20%	
12	土師器杯	口径(12.0) 残存高2.6		A、D、K	明赤褐5YR-5/6	普通	10%	
13	土師器杯	口径(13.8) 器高4.5	内外面ヨコナデ 外面ヘラケズリ、内面暗文有	A、B、I、J、K、 M	橙5YR-6/6	普通	50%	
14	土師器杯	口径(10.9) 残存高3.1		E、N	橙5YR-6/8	普通	20%	
15	土師器台付甕	口径10.0 残存高3.1	口縁部「コ」の字状 外面口縁部ナデ、胴部ヘラケズリ	A、B、E、I、K	外面：明赤褐5YR-3/2 内面：橙2.5YR-6/8	普通	口縁の45%	
16	土師器台付甕	口径(一) 残存高5.1	外面ヘラケズリ、ヨコナデ	A、B、E、I、K	明赤褐2.5YR-5/6	良好	台部のみ	
17	土師器甕	口径20.4 器高27.1 底径4.4	内外面口縁部ヨコナデ 外面胴部ヘラケズリ 内面胴部ヨコナデ	A、B、H、I、J、 K、M	にぶい橙7.5YR-6/4	普通	90%	
18	土師器甕	口径20.4 器高28.3 底径4.8	内外面口縁部ヨコナデ 外面胴部ヘラケズリ 内面胴部ナデ 外面口縁指頭 圧痕有	A、B、H、I、J、 K、M、N	にぶい橙7.5YR-6/4	普通	90%	
19	土師器甕	口径(18.0) 器高25.9	内外面ヨコナデ 外面胴部ヘラケズリ痕 内面胴部一部ミガキ痕有	A、B、H、I、J、 K、M、N	明赤褐5YR-5/6	普通	30%	
20	土師器甕	口径(20.3) 残存高18.2	内外面口縁部ヨコナデ 外面胴部ヘラケズリ 内面胴部ヨコナデ	A、B、D、I、K	橙5YR-6/6	普通	40%	
21	土師器壺	口径(19.3)	外面粘土紐積上痕有 外面指頭圧痕有	A、B、C、D、 E、I、M、N、O	橙5YR-6/6	普通	口縁部の 20%	
22	土師器甕	口径(20.6) 残存高7.2	口縁部粘土紐積上痕有 外面指頭圧痕有 口縁部「コ」の字状	A、E、G、I、 K、N	橙2.5YR-6/8	普通	口縁部の 40%	
23	土師器甕	口径(12.6) 残存高3.6 残存底径5.0	外面ゲラケズリ	A、B、C、D、 G、H、N	橙7.5YR-5/6	普通	底部の50%	
24	土師器甕	口径(21.3) 残存高5.4	口縁部やや「コ」の字状 粘土紐積上痕有 外面指頭圧痕有	A、B、E、I、 K	橙5YR-6/6	普通	口縁部の 25%	
25	須恵器壺	口径一 残存高5.6 底径15.0	内外面ヨコナデ痕	A、B、E、L、 M、N	外面：灰-4/ 内面：青灰5PB-6/1	普通	底部の10%	末野産
26	須恵器杯	口径(12.0) 残存高3.9 底径(6.2)	底部回転系切痕有 周辺ヘラケズリ 外面ヨコナデ痕	A、L	明褐灰7.5YR-7/2	普通	45%	末野産
27	須恵器杯	器高(1.1) 底径(6.2)	底部回転系切痕有 周辺ヘラケズリ 内外面ナデ痕	A、F、L	灰白10YR-7/1	良好	底部ほぼ 100%	末野産

28	須恵器 蓋	口径17.2 残存高2.2	外面頂ヨコナデ痕	A、L	にぶい黄橙10YR-7/2	良好	30%	末野産
29	須恵器 壺	残存(12.6)	外面頂ヘラケズリ痕 周辺ヨコナデ痕	A、K、L	灰白10YR-7/1	良好	30%	末野産
30	須恵器 壺	残存高28.7	内面胴部あて具痕 ロク口形成 自然釉少々有 外面平行叩き有	G、H、M	灰白5YR-7/1	普通	70%	末野産
31	刀子?	最大長6.9 最大幅1.5 重量13.7					一部欠損	断面一方 が鋭角



第18図 第5号住居跡出土遺物(1)



第19図 第5号住居跡出土遺物(2) ※31のみ1/2スケールである

## 2 溝跡

溝跡は、総じて5条検出した。A区からは第1号溝跡が、調査区の南東で検出された。B区からは第2号溝跡が、調査区西側にその一部のみ検出できた。第3号溝跡は調査区北から南に向かって検出された。第4号溝跡は第3号溝跡に平行して、その西に検出できた。第5号溝跡が調査区中央から東にかけて検出された。さらにいずれも他の遺構との間に重複関係は確認できなかった。以下溝跡ごとに詳細を記載する。

### 第1号溝跡（第21図）

B-2グリッドから検出した。第2号住居跡と重複関係にあり、第2号住居跡を掘り込む形で検出された。大半は調査区域外であった。

規模は、全長7.88m、最大幅1.54～2.36m、深さは0.45～0.50mであった。本溝跡は、東西方向に延びており、東壁面にピット状のくぼみがあり、橋脚の跡としても想定できる。この溝跡は、土層断面から、2段階の落ち込みであることが分かった。出土遺物は検出されなかった。

### 第2号溝跡（第21図）

C-4グリッドから検出した。大半は調査区域外であるが、溝の終点が確認できた。

規模は、検出長2.30m、幅0.22～0.25m、深さは0.18～0.20mであった。東西に伸びていることが想定できる。また、土層断面から見ると溝の中ごろから底部に到っては、幅が狭く、2cm～5cm程度の小礫が確認できた。

出土遺物は土師器甕片が数点検出されたが図示可能な遺物ではなかった。なお、時期は9世紀代と考えられる。

### 第3号溝跡（第21図）

A、B-3・4グリッドから検出した。規模は、全長2.30m、幅0.62～0.90m、深さは0.34～0.36mであった。南北に真っ直ぐ走り、第1号溝跡と接続していた。また、本溝跡は第1号溝跡に向かってなだらかな傾斜がある。

出土遺物は一部図示可能な土師器杯片、甕片及び須恵器甕片が数点出土したが、それ以外は図示可能な遺物ではなかった。時期は9世紀末～10世紀初めごろと推定される。

### 第4号溝跡（第21図）

B-1・2、C-1グリッドから検出した。

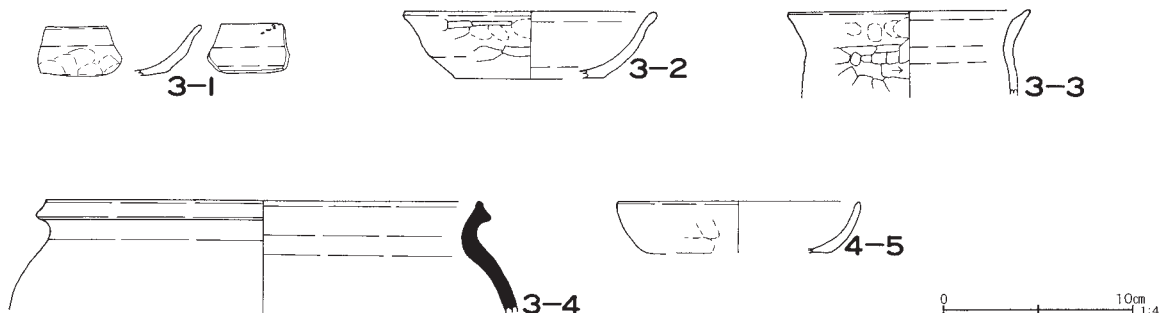
規模は、検出長5.20m、幅0.20～0.65m、深さは0.12～0.29mであった。北半分が調査区域外にあり全体が不明であるが、ほぼ東西方向に伸びていた。溝跡の覆土は、第1号溝跡などとは異なり、暗灰褐色土や灰黄褐色土が含まれており、地山に近づくにつれ砂混じりであった。

一部図示可能な土師器杯片1点出土したが、それ以外は図示可能な遺物ではなかった。

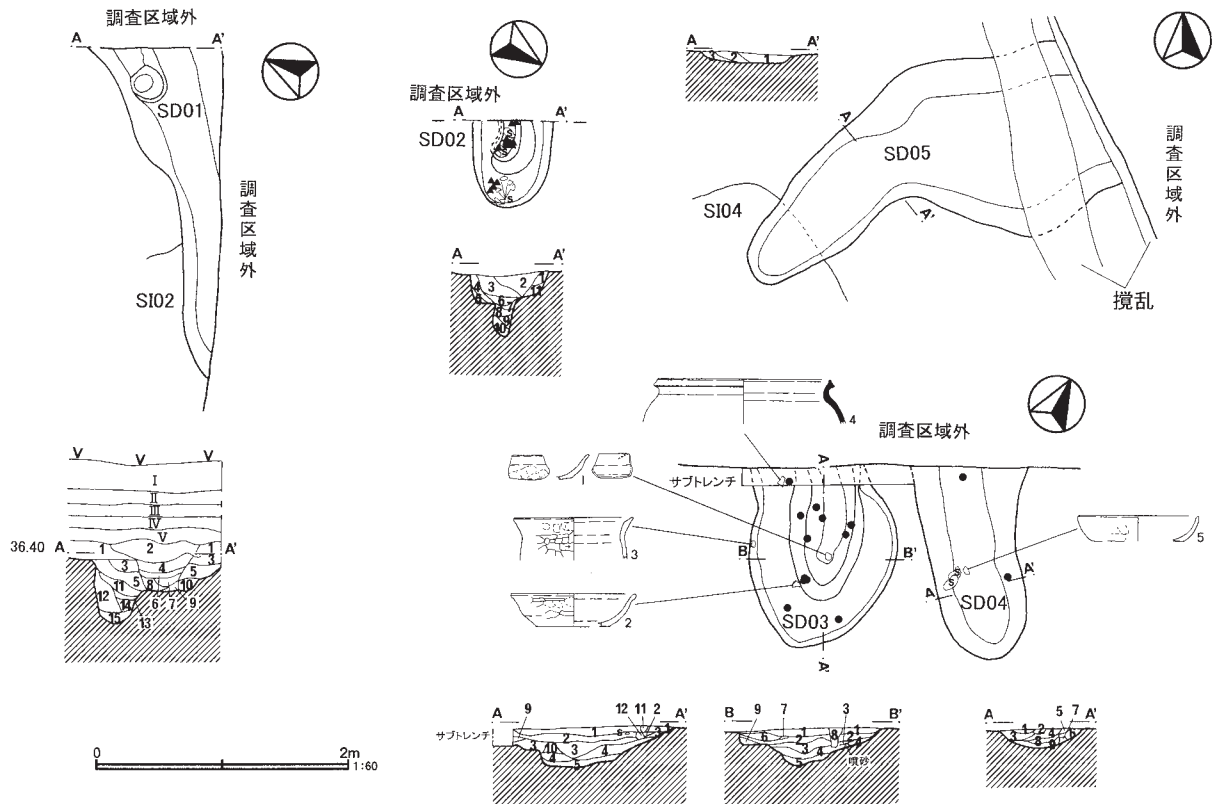
### 第5号溝跡（第21図）

A-4グリッドから検出した。第4号住居跡と重複関係にあり、第4号住居跡を切っていた。

規模は、検出長5.20m、幅0.20～0.65m、深さは0.12～0.29mであった。一部のみの検出であるため全体が不明であるが、ほぼ東西方向に伸びていた。出土遺物は検出されなかった。



第20図 第3号・第4号溝跡出土遺物



第1号溝跡(A-A')(A区)

1. 黒褐色土 10YR-3/1(褐色土 10YR-4/1 少量含)
2. 褐色土 10YR-4/1(黄灰色土 2.5Y-4/1, FeO<sub>2</sub>多量に含)
3. 黒褐色土 2.5Y-3/1(黄灰色土 2.5Y-4/1, FeO<sub>2</sub>微量に含)
4. 暗灰黄色土 2.5Y-4/2(少々シルト質, 黄灰色土 2.5Y-4/1 含)
5. 暗灰黄色土 2.5Y-4/2(黄灰色土 2.5Y-4/1, FeO<sub>2</sub>多量)
6. 黄灰色土 2.5Y-4/1(FeO<sub>2</sub>少量)
7. 黒褐色土 2.5Y-3/2(少々砂質土, 微量に黄灰色土 2.5Y-4/1, FeO<sub>2</sub>有)
8. 黒褐色土 2.5Y-3/2(少々砂質土, 微量に黄灰色土 2.5Y-4/1, FeO<sub>2</sub>, 炭化物有)
9. 黒褐色土 2.5Y-3/2(黄灰色土 2.5Y-4/1 ブロック有)
10. 暗灰黄色土 2.5Y-4/2(かなり砂質土)
11. オリーブ黒色土 7.5Y-3/1(粘質土, 炭化物有)
12. オリーブ黒色土 7.5Y-3/2(粘質土, 少々FeO<sub>2</sub>有)
13. オリーブ黒色土 5Y-3/2(FeO<sub>2</sub>大量に含)
14. 暗オリーブ色土 5Y-4/3
15. 灰オリーブ色土 5Y-4/2(少々砂質土)

第2号溝跡(A-A')(B区)

1. 黒褐色土 2.5Y-3/2
2. 黒褐色土 2.5Y-3/2(FeO<sub>2</sub>少量)
3. 暗灰黄色土 2.5Y(黄灰色土 2.5Y-4/1, FeO<sub>2</sub>少量含)
4. 暗灰黄色土 2.5Y(少々シルト質化, 黄灰色土 2.5Y-4/1 微量に含)
5. 暗灰黄色土 2.5Y(黒褐色土 2.5Y-3/1 ブロック有)
6. 灰オリーブ色土 5Y-4/2(微量に暗灰黄色土 2.5Y 含)
7. オリーブ黒色土 5Y-3/2
8. オリーブ黒色土 5Y-3/1(かなり砂質土)
9. 黒褐色土 2.5Y-3/2(砂質土, FeO<sub>2</sub>ごく微量に含)
10. 黒褐色土 2.5Y-3/2(砂質土)
11. 黒褐色土 2.5Y-3/2(一部シルト質化)

第3号溝跡(A-A')(B-B')(B区)

1. オリーブ黒色土 5Y-3/1(暗灰黄色土 2.5Y-4/2 ブロック大量に有)
2. 黄灰色土 2.5Y-4/1(FeO<sub>2</sub>多量に含)
3. 暗灰黄色土 2.5Y-4/2(黄灰色土 2.5Y-4/1 含, FeO<sub>2</sub>多く含, 土器片有)
4. 灰黄褐色土 10YR-4/2(黒褐色土 10YR-3/1 含, 土器片有, 少々砂質土)
5. 黒褐色土 10YR-3/2(砂質土)
6. 暗灰黄色土 2.5Y-4/2(FeO<sub>2</sub>少量含)
7. 褐色土 10YR-4/1
8. オリーブ黒色土 5Y-2/2(にぶい黄褐色土 10YR-4/3 含)
9. 黄灰色土 2.5Y-4/1(黒褐色土 10YR-3/1 粒子多量に混ざる)
10. オリーブ褐色土 2.5Y-4/4(一部に黄灰色土 2.5Y-4/1 有)
11. 黒褐色土 10YR-2/2(微量にFeO<sub>2</sub>含, 根による攪乱か?)
12. 黒褐色土 10YR-2/2(黄灰色土 2.5Y-4/1 粒子少量含, 根による攪乱か?)

第4号溝跡(A-A')(B区)

1. 暗灰黄色土 2.5Y-4/2(ごく微量にFeO<sub>2</sub>含)
2. オリーブ褐色土 2.5Y-4/4(少々暗灰黄色土 2.5Y-5/2 有, FeO<sub>2</sub>少量有)
3. 黒褐色土 2.5Y-3/2(少々黄灰色土 2.5Y-4/1 粒子含)
4. オリーブ褐色土 2.5Y-4/3(黄灰色土 2.5Y-4/1 及び FeO<sub>2</sub>少量含)
5. 黒褐色土 2.5Y-3/2(ごく微量に黄灰色土 2.5Y-4/1 粒子含)
6. 暗オリーブ褐色土 2.5Y-3/3(黄灰色土 2.5Y-4/1 ブロック, 土器片含)
7. 暗オリーブ褐色土 2.5Y-3/3(黄灰色土 2.5Y-4/1 粒子少量, 土器片含)
8. 黒褐色土 2.5Y-3/2(ごく微量に黄灰色土 2.5Y-4/1 粒子含)
9. 暗灰黄色土 2.5Y-4/2(少々砂質土)

第5号溝跡(A-A')(B区)

1. 灰オリーブ色土 5Y-4/2(黄灰色土 2.5Y-4/1, FeO<sub>2</sub>含)
2. 暗灰黄色土 2.5Y-4/2
3. 暗灰黄色土 2.5Y-4/2(黄灰色土 2.5Y-4/1 微量に含)

第21図 第1号～5号溝跡

第6表 第3号・4号溝跡出土遺物観察表(第21図)

番号	遺構	器種	法量 (cm)	手法・形態の特徴等	胎土	色調	焼成	残存率	備考
1	SD3	土師器杯	—	口縁内面にスス付着	A、B、D、E、G、I、K	橙5YR-6/6	普通	10%	
2	SD3	土師器杯	口径(13.4)器高3.5	底部ヘラケズリ痕	A、D、E、F、M	橙7.5YR-7/6	普通	30%	
3	SD3	土師器甕	口径12.8残存高4.5		A、B、E、I、K、M、O	橙5YR-6/6	普通	口縁の20%	
4	SD3	須恵器甕	口径23.0残存高6.1	内外面ヨコナデ痕	A、D	灰N-5/	普通	口縁の10%	
5	SD4	土師器杯	口径(12.9)残存高(2.7)		A、B、I、K	橙5YR-6/8	普通	口縁の20%	



### 3 土坑

土坑は、総じて5基検出した。土坑は規模の大きなものもあれば、調査区域外に接しており、一部のみしか確認できないものもあった。平面プランについては、方形または楕円形を呈するものが多く、深さは、一部を除けば、遺構確認面から概ね0.40～0.60mに収まり、0.50m前後が主体をなす。

出土遺物は、全体的に少なく、3基のみからの出土のみであった。時期については、その多くが概ね平安時代（9世紀代）に該当する。以下各土坑ごとに詳細を記載する。

#### 第1号土坑（第22図）

D-3グリッドから検出した。

大半は調査区域外であるが平面プランは長方形を呈すると推定され、規模は検出長軸0.55m、検出短軸0.35m、深さ0.41mであった。底部付近の土層にいたっては、締まりも弱くなり、砂質土となってくる。一部調査区域外まで広がっているため全容は不明である。出土遺物は検出されなかった。

#### 第2号土坑（第22図、第7表）

B-3グリッドから検出した。第7号土坑と重複関係にあり、第7号土坑に切られていた。

平面プランは楕円形で、規模は検出長軸0.40m、検出短軸0.35m、深さ0.10mであった。この土坑底部の中央部分からは酸化鉄などの鉄分が確認されていることから、水に関係する要素のあるものだろうか。

出土遺物は一部図示可能な土師器杯が一点出土したが、それ以外は図示可能な遺物ではなかった。時期は9世紀代と推定される。

#### 第3号土坑（第22図）

C-2グリッドから検出した。平面プランは楕円形で、規模は検出長軸0.95m、短軸0.75m、深さ0.16mであった。立ち上がりはなだらかで、底部はピット状にさらに落ち込む。土層の堆積状況から南から徐々に堆積していったことがわかる。図示可能な出土遺物は検出されなかった。

#### 第4号土坑（第22図）

B-4、5グリッドから検出した。第4号住居跡と重複関係にあり、第4号住居跡を切っていた。

平面プランは大半が調査区域外であるが、いびつな長方形と推定され、規模は長軸2.74m、短軸0.79m、深さ0.14mであった。落ち込みは鋭角であり、覆土の全体に礫を含んでいたが、底部付近ではかなり多量に確認できた。また、本土坑の中間部にはピット状にくぼみを確認することができた。

出土遺物は検出されなかった。

#### 第5号土坑（第22図）

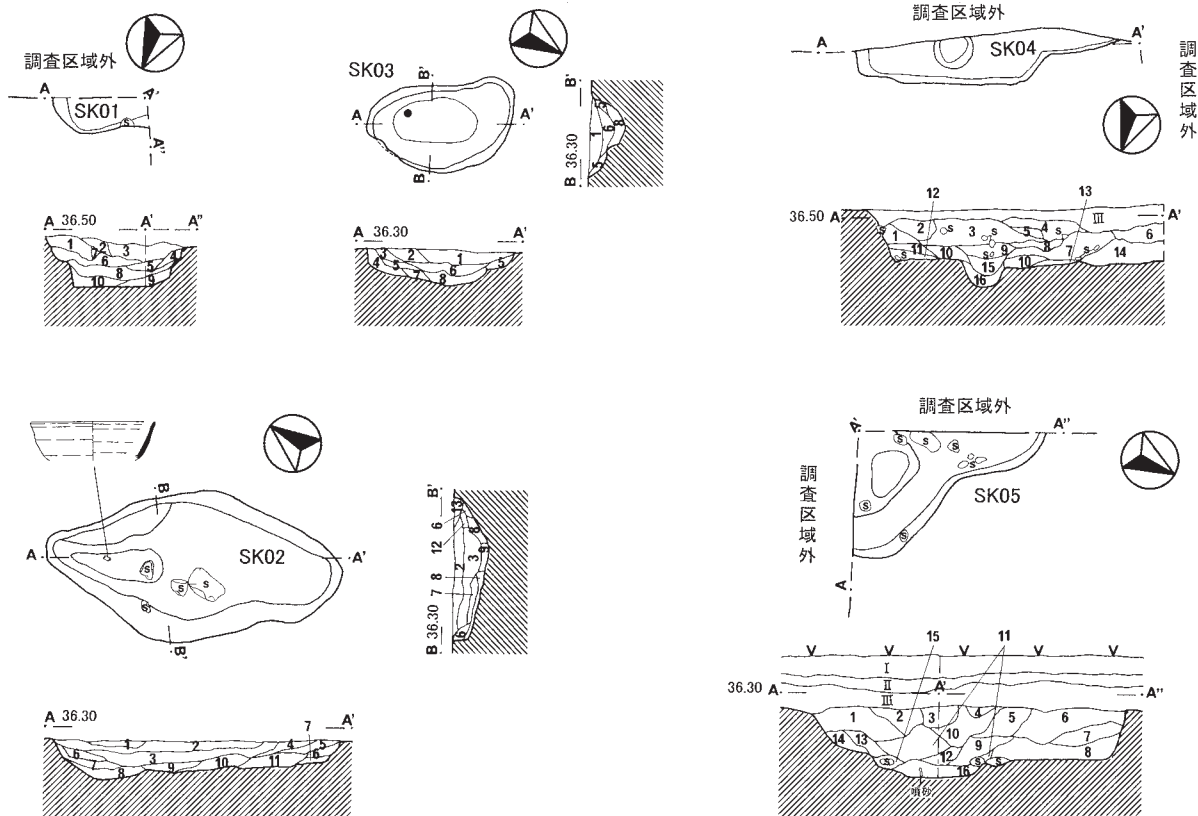
A-5、B-5グリッドから検出した。第4号住居跡と重複関係にあり、第4号住居跡を一部切っていた。

平面プランはほぼいびつな長方形と推定され、規模は長軸1.42m、検出短軸1.08m、深さ0.14mであった。落ち込みについては北からのそれが鋭角であった。底部からは10cm大の礫が多く出土し、覆土中からも何点か確認できた。また、全体的に酸化鉄などの鉄分も覆土中で確認されている。なお、最底部の土層からは焼土痕は確認されなかったが、帯状の炭化物を確認することができた。

出土遺物は検出されなかった。

#### 第6号土坑（第23図、第7表）

F-6グリッドから検出した。性格不明遺構（SX01）と重複関係にあり、正確不明遺構（SX01）に切られていた。



第1号土坑(A-A'-A'') (A区)

1. 暗灰黄色土 2.5Y-4/2 (微量に小礫含)
2. 黄灰色土 2.5Y-4/1 (炭化物有、オリブ褐色土 2.5Y-4/3 粒子少量有)
3. オリブ黒色土 5Y-3/2 (炭化物少量有、黄灰色土 2.5Y-4/1 ブロック有、FeO<sub>2</sub>少量含)
4. オリブ黒色土 5Y-3/1 (微量に FeO<sub>2</sub>含)
5. オリブ黒色土 5Y-3/1 (砂質土)
6. 灰オリブ色土 5Y-4/2 (黄灰色土 2.5Y-4/1 ブロック、及び FeO<sub>2</sub>多量、しまり弱)
7. 暗灰黄色土 2.5Y-4/2 (一部に黄灰色土 2.5Y-4/1 を含、砂質土)
8. オリブ黒色土 7.5Y-3/2 (FeO<sub>2</sub>、黄灰色土 2.5Y-4/1 ブロック微量に含、しまりかなり弱)
9. オリブ黒色土 7.5Y-3/2 (砂質土)
10. オリブ黒色土 7.5Y-3/2 (砂質土、FeO<sub>2</sub>、黄灰色土 2.5Y-4/1 少量含)

第2号土坑(A-A')(B-B') (A区)

1. 暗灰黄色土 2.5Y-4/2 (しまり強、炭化物少量)
2. 黄褐色土 2.5Y-5/3 (FeO<sub>2</sub>かなり微量有、黄灰色土 2.5Y-4/1 ブロック多数有)
3. オリブ褐色土 2.5Y-4/3 (FeO<sub>2</sub>少量含、黄灰色土 2.5Y-4/1 ブロック多数有)
4. にぶい黄褐色土 10YR-4/3 (少々砂質土、ごく微量に黄灰色土 2.5Y-4/1 粒子含)
5. 灰黄褐色土 10YR-4/2 (FeO<sub>2</sub>少量、黄灰色土 2.5Y-4/1 ブロック少量有)
6. オリブ褐色土 2.5Y-4/4 (少々砂質土、黄灰色土 2.5Y-4/1 一部有)
7. 暗灰黄色土 2.5Y-4/2 (黄灰色土 2.5Y-4/1 ブロック少量有、炭化物含)
8. 黄褐色土 2.5Y-5/3 (一部黄灰色土 2.5Y-4/1 有)
9. 暗灰黄色土 2.5Y-4/2 (FeO<sub>2</sub>多量、黄灰色土 2.5Y-4/1 含)
10. 暗灰黄色土 2.5Y-4/2 (黄灰色土 2.5Y-4/1 少量含)
11. 暗灰黄色土 2.5Y-4/2 (黄灰色土 2.5Y-4/1 ブロック及び粒子多量に含、FeO<sub>2</sub>少量含)
12. 暗灰黄色土 2.5Y-4/2 (一部黄褐色土 2.5Y-5/3 及び黄灰色土 2.5Y-4/1 粒子含)
13. 黒褐色土 2.5Y-3/1 (ごく微量に黄灰色土 2.5Y-4/1 粒子含)

第3号土坑(A-A')(B-B') (A区)

1. 暗灰黄色土 2.5Y-4/2 (炭化物有、ごく微量に FeO<sub>2</sub>含)
2. 暗灰黄色土 2.5Y-4/2 (黄灰色土 2.5Y-4/1 ブロック少量有)
3. 暗灰黄色土 2.5Y-4/2
4. 暗灰黄色土 2.5Y-4/2 (一部黒褐色土 2.5Y-3/2 含)
5. 黒褐色土 2.5Y-3/2 (微量に暗灰黄色土 2.5Y-4/2 の粒子及び黄灰色土 2.5Y-4/1 ブロック有)
6. 灰オリブ色土 5Y-4/2 (黄灰色土 2.5Y-4/1 ブロック有、少々シルト質)
7. オリブ黒色土 5Y-3/2
8. オリブ黒色土 5Y-3/2 (一部シルト質)

第4号土坑(A-A') (B区)

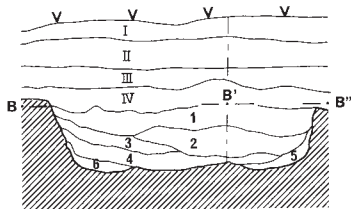
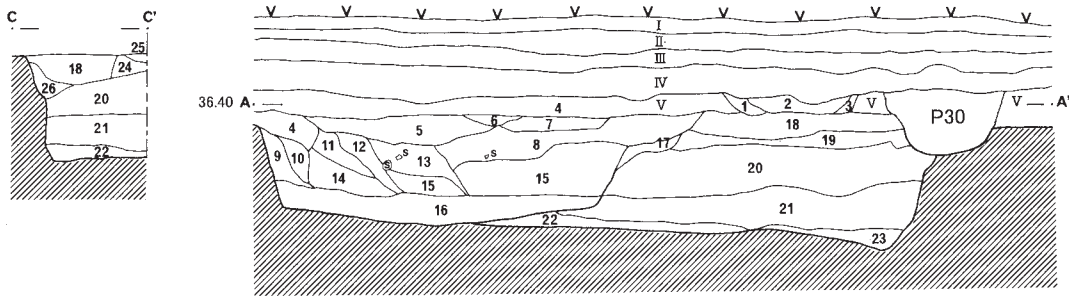
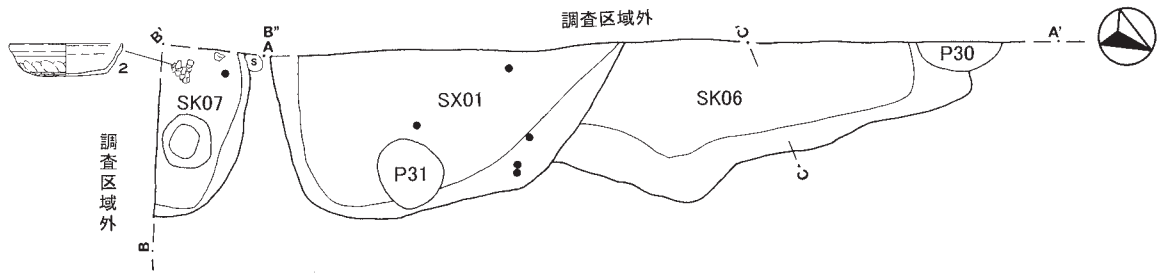
1. 黒褐色土 2.5Y-3/2 (微量に砂質土化、一部暗灰黄色土 2.5Y-4/2 含)
2. 暗灰黄色土 2.5Y-4/2 (黄灰色土 2.5Y-4/1 ブロック少量及び FeO<sub>2</sub>微量に有)
3. 黒褐色土 2.5Y-3/1 (土器片、小粒の礫多数、若干黄灰色土 2.5Y-4/1 有、少々しまり弱)
4. 黒褐色土 10YR-3/1 (褐色土 10YR-4/1 及び FeO<sub>2</sub>少量含)
5. 黒褐色土 10YR-3/1 (FeO<sub>2</sub>多量有)
6. 暗灰黄色土 2.5Y-4/2 (全体に灰オリブ色土 5Y-4/2 が混ざる、黄灰色土 2.5Y-4/1 ブロック有)
7. 暗灰黄色土 2.5Y-4/2 (FeO<sub>2</sub>多量、黄灰色土 2.5Y-4/1、土器片有、礫含)
8. 黒褐色土 2.5Y-3/1 (炭化物含、黄灰色土 2.5Y-4/1 少量含)
9. 暗オリブ褐色土 2.5Y-3/3 (微量に黄灰色土 2.5Y-4/1 含)
10. 灰オリブ色土 5Y-4/2 (一部に暗オリブ褐色土 2.5Y-3/3 有)
11. 黒褐色土 2.5Y-3/1 (少々砂質土)
12. 灰オリブ褐色土 2.5Y-3/3 (一部シルト質化)
13. オリブ黒色土 5Y-3/1 (礫多数含)
14. 暗灰黄色土 2.5Y-4/2 (灰オリブ色土 5Y-4/2 が混ざる)
15. 黒褐色土 10YR-3/1 (礫少量有、少々 FeO<sub>2</sub>含)
16. 黒褐色土 10YR-3/1 (土器片有、少々シルト質)

第5号土坑(A-A'-A'') (B区)

1. オリブ黒色土 5Y-3/1 (黄褐色土 2.5Y-5/3、黒褐色土 2.5Y-2/1 ブロック有、黄灰色土 2.5Y-4/1、FeO<sub>2</sub>少量含)
2. 黒色土 2.5GY-2/1 (黄灰色土 2.5Y-4/1 微量に有、ゆるい)
3. 黒色土 2.5GY-2/1 (黄灰色土 2.5Y-4/1 微量に有、黄褐色土 2.5Y-5/3 粒子含、FeO<sub>2</sub>微量)
4. 暗オリブ褐色土 2.5Y-3/3 (一部に灰黄褐色土 10YR-4/2 を含)
5. オリブ黒色土 5Y-3/1 (灰黄褐色土 10YR-4/2 ブロック少量、黄灰色土 2.5Y-4/1 及び FeO<sub>2</sub>少量)
6. オリブ黒色土 5Y-3/1 (全体にうすく暗灰黄色土 2.5Y-4/2 有、土器片、FeO<sub>2</sub>微量、黄灰色土 2.5Y-4/1 少量有)
7. 黒褐色土 2.5Y-3/2 (黄灰色土 2.5Y-4/1、FeO<sub>2</sub>少量、少々砂質土)
8. 暗灰黄色土 2.5Y-4/2 (黄灰色土 2.5Y-4/1、FeO<sub>2</sub>若干有、砂質土、土器片有)
9. 灰オリブ色土 5Y-4/2 (黄灰色土 2.5Y-4/1 少量、FeO<sub>2</sub>多量)
10. 暗オリブ褐色土 2.5Y-3/3 (一部に暗灰黄色土 2.5Y-4/2 有、炭化物、FeO<sub>2</sub>少量、黄灰色土 2.5Y-4/1 微量に有、しまり少々強)
11. 暗灰黄色土 2.5Y-4/2 (FeO<sub>2</sub>かなり多量に含、土器片有、黄灰色土 2.5Y-4/1 少量含、しまり強)
12. 灰オリブ色土 5Y-4/2 (黄灰色土 2.5Y-4/1 ブロック有、FeO<sub>2</sub>少量含、少々砂質)
13. 黒褐色土 2.5Y-3/2 (黄灰色土 2.5Y-4/1 多量、炭化物有、少々砂質)
14. 黒褐色土 2.5Y-3/2 (FeO<sub>2</sub>少量、黄灰色土 2.5Y-4/1 少量)
15. オリブ黒色土 5Y-3/2
16. 暗灰黄色土 2.5Y-4/2 (黄灰色土 2.5Y-4/1 少量、及び FeO<sub>2</sub>帯状に有)



第22図 第1号～第5号土坑



第7号土坑(B-B'-B'') (C区)

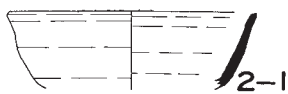
1. 黒褐色土 2.5Y-3/1 (黄灰色土 2.5Y-4/1、-5/3 ブロック有、少々灰オリブ色土 5Y-4/2 粒子有、炭化物有)
2. 灰オリブ色土 5Y-4/2 (炭化物、土器片有)
3. 灰オリブ色土 5Y-4/2 (2より若干明るい、黄灰色土 2.5Y-4/1 ブロック含む)
4. 暗灰黄色土 2.5Y-4/2 (粘質土、炭化物及び砂質土混合)
5. 暗灰黄色土 2.5Y-4/2 (炭化物、土器片有、砂質土、ごく微量に灰褐色土 7.5YR-4/2 ブロック有)
6. 黒褐色土 10YR-3/1 (しまり弱、小礫少量含)

C区西側土層断面(第7号土坑、性格不明遺構 SX1、第6号土坑) (A-A')(C-C')(C区)

1. 暗灰黄色土 2.5Y-4/2 (少々砂質土)
2. 黒褐色土 2.5Y-3/2 (微量に黄褐色土 2.5Y-5/3 粒子含)
3. 暗灰黄色土 2.5Y-4/2 (少々礫有)
4. オリブ黒色土 5Y-3/1 (砂質土、黄灰色土 2.5Y-4/1 ブロック有、土器片有)
5. オリブ褐色土 2.5Y-4/3 (黄灰色土 2.5Y-4/1 ブロック有、FeO<sub>2</sub>少量有、土器片)
6. 暗灰黄色土 2.5Y-4/2 (オリブ褐色土 2.5Y-4/3 少量有)
7. 暗灰黄色土 2.5Y-4/2 (暗灰黄色土 2.5Y-5/2 含)
8. 暗灰黄色土 2.5Y-5/2 (黄灰色土 2.5Y-4/1 ブロック、FeO<sub>2</sub>少量、土器片有、黄褐色土 2.5Y-5/3 含)
9. オリブ黒色土 5Y-3/1 (14より暗い、しまり弱、土器片有)
10. 灰オリブ色土 5Y-4/2 (炭化物有、しまり弱)
11. 灰オリブ色土 5Y-5/3 (一部に暗オリブ色土 5Y-4/3 有、少々砂質土)
12. 黄灰色土 2.5Y-5/3 (少々砂質土、一部シルト質有)
13. オリブ褐色土 2.5Y-4/3 (しまっている、小礫有、土器片、炭化物有)
14. オリブ黒色土 5Y-3/2 (しまり弱)
15. オリブ褐色土 2.5Y-4/3 (28より淡い、しまり弱)
16. オリブ黒色土 5Y-3/2 (少々砂質土、浅黄色土 2.5Y-7/4 粘質土一部有)
17. 黒褐色土 2.5Y-3/1 (砂質土)
18. 暗灰黄色土 2.5Y-5/2 (黄灰色土 2.5Y-4/1 粒子、ブロック少量)
19. オリブ黒色土 7.5Y-3/1 (かなり少量黄灰色土 2.5Y-4/1 粒子含)
20. 暗オリブ褐色土 2.5Y-3/3 (少々粘質土、黄灰色土 2.5Y-4/1 ブロック少量、土器片含)
21. 暗オリブ色土 5Y-4/4 (砂質土、黄灰色土 2.5Y-4/1 ブロック少量有)
22. 灰オリブ色土 5Y-5/3 (砂質土)
23. 黄褐色土 2.5Y-5/3 (暗オリブ色土 5Y-4/4 少量有、砂質土)
24. 暗灰黄色土 2.5Y-4/2 (少々礫有)
25. 黒褐色土 2.5Y-3/2
26. 黒褐色土 2.5Y-3/2 (FeO<sub>2</sub>少量含)

第23図 第6・7号土坑・性格不明遺構

0 2m 1:60



0 10cm 1:4

第24図 第2・6・7号土坑出土遺物

第7表 第2号・6号・7号土坑出土遺物観察表 (第24図)

番号	遺構	器種	法量 (cm)	手法・形態の特徴等	胎土	色調	焼成	残存率	備考
1	SK2	須恵器杯	口径 (13.2) 残存高4.1	内外面ナデ痕	A、B、G、I、M、N	黄灰2.5Y-6/1	普通	15%	
2	SK7	土師器杯	口径11.9 器高3.4		I、K、M	にぶい橙7.5YR-6/4	普通	80%	
3	SK7	須恵器杯	口径 (12.8) 残存高3.4	内外面ヘラケズリ痕有 回転糸切痕有 周辺ヘラケズリ	A、B、I、J、N	灰2.5Y-7/1	良好	30%	
4	SK6	土師器杯	口径12.3 器高3.4	内外面口縁部ヨコナデ痕 内面著しい摩耗 内面油煙、スス付着	I、J、K、M	橙5YR-6/6	普通	80%	

平面プラン長方形で、規模は長軸0.62m、短軸0.36m、深さ0.12mであった。

土層はほぼ水平に堆積していることから自然堆積と判断できる。落ち込みは鋭角で、底部に到ってはほぼ平坦であった。覆土は下部の2層が砂質土であった。

出土遺物は土師器杯の完形に近い燈明皿が検出された。それ以外は図示可能な遺物ではなかった。

時期は8世紀後半～9世紀初頭と推定される。

#### 第7号土坑（第23図、第7表）

E-7グリッドから検出した。平面プランは楕円形と推測され、規模は検出長軸0.67m、短軸0.40m、深さ0.10mであった。落ち込みは鋭角で、落ち込んだ先の底部はいくらか窪んでおり、中央部分は平坦な底部となっている。土層堆積もほぼ自然堆積と判断して問題ないと思われる。なお本土坑の床面にさらにピット状の落ち込みがあった。

出土遺物は土師器杯、須恵器杯が検出された。それ以外は図示可能な遺物ではなかった。

時期は8世紀後半～9世紀初頭と推定される。

## 4 ピット

ピットは、総じて34基検出した。A区では数にして18基、B区では11基検出された。C区では全部で5基確認された。大多数のピットからは出土遺物はほぼ検出されなかった。

以下ピットごとに詳細を記載する。

#### 第1号ピット（第25図）

D-2グリッドから検出した。第1号住居跡と重複関係にあり、一部第1号住居跡に切られていた。

平面プランは円形で推定することが可能で、規模は長軸0.70m、短軸0.68m、深さ0.29mであった。

土層中から噴砂を確認した。底部はいびつな落ち込みを呈する。出土遺物は検出されなかった。

#### 第2号ピット（第25図）

D-2グリッドから検出した。

平面プランは円形で、規模は長軸0.84m、短軸0.75m、深さ0.40mであった。

落ち込みは鋭角であった。特に出土遺物は検出されなかった。

#### 第3号ピット（第25図）

D-2グリッドから検出した。平面プランは円形で、規模は長軸0.38m、短軸0.32m、深さ0.22mであった。

出土遺物は検出されなかった。

#### 第4号ピット（第25図）

D-2グリッドから検出した。平面プランは楕円形で、規模は長軸0.40m、短軸0.30m、深さ0.17mであった。底部はいびつであった。出土遺物は検出されなかった。

#### 第5号ピット（第25図）

D-2グリッドから検出した。

平面プランは円形で、規模は長軸0.35m、短軸0.34m、深さ0.14mであった。

落ち込みは2つのピット状に検出された。出土遺物は検出されなかった。

#### 第6号ピット（第25図）

C-2グリッドから検出した。平面プランは楕円形で、規模は長軸0.70m、短軸0.45m、深さ0.31mで

あった。覆土の堆積状況は自然堆積によるものであった。底部はやや陥没するような呈である。出土遺物は検出されなかった。

#### 第7号ピット（第25図）

C-2グリッドから検出した。第8号ピットと重複関係にあり、一部を第8号ピットに切られていた。平面プランは円形で、規模は長軸0.36m、短軸0.29m、深さ0.22mであった。出土遺物は検出されなかった。

#### 第8号ピット（第25図）

C-2グリッドから検出した。第7号ピットと重複関係にあり、第7号ピットを切っていた。平面プランは楕円形と推定され、規模は長軸0.81m、短軸0.33m、深さ0.53mであった。出土遺物は検出されなかった。

#### 第9号ピット（第25図）

C-2グリッドから検出した。平面プランは円形で、規模は長軸0.40m、短軸0.34m、深さ0.22mであった。出土遺物は検出されなかった。

#### 第10号ピット（第25図）

D-2グリッドから検出した。第3号土坑に近接する。平面プランは少々歪な円形で、規模は長軸0.44m、短軸0.38m、深さ0.28mであった。落ち込みが、東側からは鋭角で、西側はいくぶんなだらかであった。出土遺物は検出されなかった。

#### 第11号ピット（第25図）

D-2グリッドから検出した。第3号土坑に近接する。平面プランは楕円形で、規模は長軸0.42m、短軸0.34m、深さ0.28mであった。底部が若干不整形であった。出土遺物は検出されなかった。

#### 第12号ピット（第26図）

D-2グリッドから検出した。平面プランは隅丸方形で、規模は長軸0.74m、短軸0.47m、深さ0.20mであった。遺物が数点出土し、形が判断できるものとしては、土師器杯片の一点のみであった。

#### 第13号ピット（第26図）

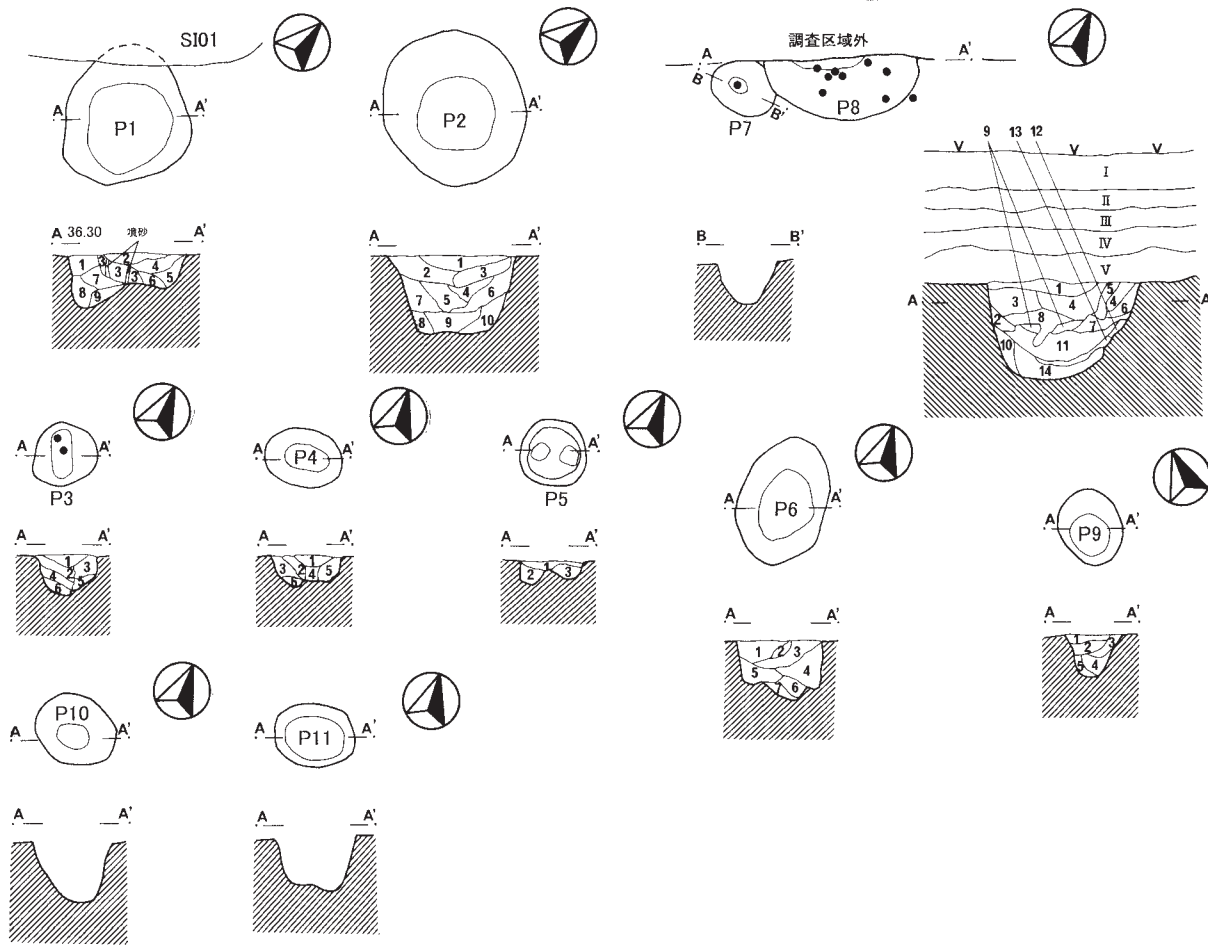
D-2グリッドから検出した。サブトレンチを北壁に沿って入れたため、一部欠損している。平面プランは円形で、規模は長軸0.34m、短軸0.28m、深さ0.22mであった。出土遺物は検出されなかった。

#### 第14号ピット（第26図）

D-2グリッドから検出した。平面プランは円形で、規模は長軸0.42m、短軸0.39m、深さ0.12mであった。落ち込みはやや南西に寄っている。出土遺物は須恵器の杯片が確認できたのみであった。時期は大体9世紀前半と推定される。

#### 第15号ピット（第26図）

D-2グリッドから検出した。第16号ピットに近接している。平面プランは円形で、規模は長軸0.72m、短軸0.60m、深さ0.18mであった。緩やかな落ち込みで、覆土も自然堆積を呈していた。出土遺物は検出されなかった。



第1号ピット(A-A') (A区)

1. オリーブ褐色土 2.5Y-4/4 (一部に黄灰色土 2.5Y-4/1 ブロック含)
2. 黄褐色土 2.5Y-5/3 (微量に FeO<sub>2</sub> 及び黄灰色土 2.5Y-4/1 含)
3. 暗灰黄色土 2.5Y-4/2 (黄灰色土 2.5Y-4/1 ブロック及び粒子多量に含)
4. オリーブ褐色土 2.5Y-4/3 (暗灰黄色土 2.5Y-5/2 粒子少量含)
5. 暗灰黄色土 2.5Y-4/2
6. 黒褐色土 2.5Y-3/2 (少々暗灰黄色土 2.5Y-4/2 を含)
7. オリーブ褐色土 2.5Y-4/3 (一部黄褐色土 2.5Y-5/3 有、及び黄灰色土 2.5Y-4/1 少量含)
8. 黒褐色土 2.5Y-3/2 (FeO<sub>2</sub> 少量及び黄灰色土 2.5Y-4/1 ブロック有、少々シルト質)
9. 黒褐色土 2.5Y-3/2 (FeO<sub>2</sub> 微量、黄灰色土 2.5Y-4/1)

第2号ピット(A-A') (A区)

1. 灰黄褐色土 10YR-4/2 (かなり微量に黄灰色土 2.5Y-4/1 粒子含)
2. オリーブ褐色土 2.5Y-4/4 (黄灰色土 2.5Y-4/1 ブロック多く含、FeO<sub>2</sub> 微量、一部シルト質化)
3. 暗灰黄色土 2.5Y-4/2 (黄灰色土 2.5Y-4/1 ブロックわずかに有)
4. 暗灰黄色土 2.5Y-4/2
5. 黒褐色土 2.5Y-3/2 (一部に暗灰黄色土 2.5Y-4/2 を含)
6. 暗オリーブ褐色土 2.5Y-3/3 (ごく微量に黄灰色土 2.5Y-4/1 ブロック有)
7. 黒褐色土 2.5Y-3/2 (シルト質、小礫含、黄灰色土 2.5Y-4/1 微量に含)
8. 黒褐色土 2.5Y-3/2 (シルト質)
9. 暗オリーブ褐色土 2.5Y-3/3 (一部に黒褐色土 2.5Y-3/2、若干シルト質)
10. 暗灰黄色土 2.5Y-4/2 (一部黒褐色土 2.5Y-3/2、若干黄灰色土 2.5Y-4/1 有、少量シルト質化)

第3号ピット(A-A') (A区)

1. 灰オリーブ色土 5Y-4/2 (微量に FeO<sub>2</sub> 含)
2. 灰オリーブ色土 5Y-4/2 (FeO<sub>2</sub> 少量、一部シルト質化)
3. 暗灰黄色土 2.5Y-5/2 (黄灰色土 2.5Y-4/1 ブロック有、FeO<sub>2</sub> 少量)
4. 暗灰黄色土 2.5Y-4/2 (若干オリーブ褐色土 2.5Y-4/3 含、FeO<sub>2</sub> 微量、ごく微量に黄灰色土 2.5Y-4/1 有)
5. 暗灰黄色土 2.5Y-4/2 (砂質土)
6. 黒褐色土 2.5Y-3/2 (一部シルト質、全体は砂質土)

第4号ピット(A-A') (A区)

1. 灰オリーブ色土 5Y-4/2 (かなり微量に黄灰色土 2.5Y-4/1 含)
2. 暗灰黄色土 2.5Y-4/2 (少々 FeO<sub>2</sub> 有)
3. 暗灰黄色土 2.5Y-4/2 (黄灰色土 2.5Y-4/1 を含)
4. 暗灰黄色土 2.5Y-4/2 (黄灰色土 2.5Y-4/1 ごく微量に有)
5. 灰オリーブ色土 5Y-4/2 (FeO<sub>2</sub>、黄灰色土 2.5Y-4/1 微量に有)
6. 暗灰黄色土 2.5Y-4/2 (少々砂質土、黄灰色土 2.5Y-4/1 多く含)

第5号ピット(A-A') (A区)

1. 暗灰黄色土 2.5Y-4/2 (炭化物有、黄灰色土 2.5Y-4/1 含)
2. 暗オリーブ褐色土 2.5Y-3/3 (黄灰色土 2.5Y-4/1 少量含)
3. 灰オリーブ色土 5Y-4/2 (FeO<sub>2</sub> 少量及び黄灰色土 2.5Y-4/1 含、少々シルト質)

第6号ピット(A-A') (A区)

1. オリーブ褐色土 2.5Y-4/4 (黄灰色土 2.5Y-4/1、FeO<sub>2</sub> 多量)
2. 黄灰色土 2.5Y-4/1 (FeO<sub>2</sub> 少量)
3. 暗灰黄色土 2.5Y-4/2 (黄灰色土 2.5Y-4/1 ブロック、粒子有、FeO<sub>2</sub> 少量含)
4. 暗灰黄色土 2.5Y-4/2 (少々砂質土)
5. 暗灰黄色土 2.5Y-4/2 (FeO<sub>2</sub> 多量に含、黄灰色土 2.5Y-4/1 微量)
6. 灰オリーブ色土 5Y-4/2 (一部シルト質化)
7. オリーブ黒色土 5Y-3/2 (黄灰色土 2.5Y-4/1 微量に含)

第8号ピット(A-A') (A区)

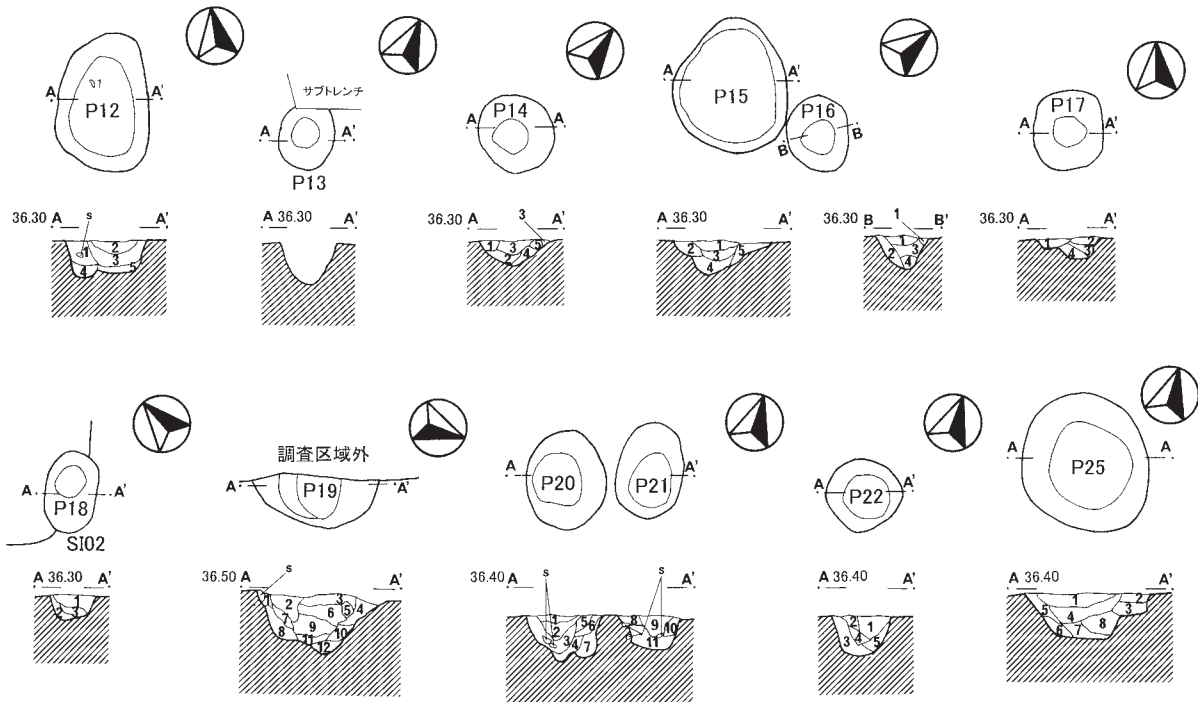
1. 灰黄褐色土 10YR-4/2 (一部に黒褐色土 10YR-3/1 有、明黄褐色土 2.5Y-7/6 粒子多量に含)
2. 黒褐色土 10YR-3/1 (明黄褐色土 2.5Y-7/6 粒子微量に含、褐灰色土 10YR-4/1 少量含)
3. 黒褐色土 2.5Y-3/2 (にぶい黄褐色土 10YR-4/3 一部有)
4. 黒褐色土 10YR-3/1 (にぶい黄褐色土 10YR-4/3 少量含)
5. にぶい黄褐色土 10YR-4/3 (黒褐色土 10YR-3/1 少量含)
6. 黒褐色土 2.5Y (一部にぶい黄褐色土 10YR-4/3 混ざる)
7. 暗灰黄色土 2.5Y-4/2 (黄灰色土 2.5Y-4/1 ブロック有)
8. 黒褐色土 10YR-3/1 (暗灰黄色土 2.5Y-5/2 一部含)
9. 暗灰黄色土 2.5Y-5/2 (かなり微量に黒褐色土 10YR-3/1 有)
10. 灰黄褐色土 10YR-4/2 (少々砂質土)
11. 暗灰黄色土 2.5Y-5/2 (黄灰色土 2.5Y-5/1 ブロック有、微量に FeO<sub>2</sub> 含、土器片有)
12. オリーブ黒色土 5Y-3/2
13. 暗灰黄色土 2.5Y-4/2 (少々砂質土)
14. 灰黄褐色土 10YR-4/2 (砂質土、黄灰色土 2.5Y-4/1 含)

第9号ピット(A-A') (A区)

1. 黄灰色土 2.5Y-4/1 (黒褐色土 2.5Y-3/1 多く混ざる、FeO<sub>2</sub> 多量)
2. 黄灰色土 2.5Y-4/1 (FeO<sub>2</sub> 多量)
3. 暗灰黄色土 2.5Y-5/2 (黄灰色土 2.5Y-4/1 一部含、FeO<sub>2</sub> 少量)
4. 暗灰黄色土 2.5Y-4/2 (黄灰色土 2.5Y-4/1 微量、FeO<sub>2</sub> 多量)
5. 黄灰色土 2.5Y-4/1 (暗灰黄色土 2.5Y-4/2 一部含、FeO<sub>2</sub> 多量に含)

0 1m 1:40

第25図 第1号~第11号ピット



第12号ピット(A-A') (A区)

- 1.黄灰色土 2.5Y-4/1
- 2.オリーブ褐色土 2.5Y-4/4(少量黄灰色土 2.5Y-4/1 を含)
- 3.オリーブ褐色土 2.5Y-4/4(FeO<sub>2</sub>少量含、ごく微量に黄灰色土 2.5Y-4/1 ブロック有、少々砂質土)
- 4.暗灰黄色土 2.5Y-4/2
- 5.暗灰黄色土 2.5Y-4/2(砂質土、一部 FeO<sub>2</sub>含)

第14号ピット(A-A') (A区)

- 1.暗灰黄色土 2.5Y-4/2(ごく微量に黄灰 2.5Y-4/1 有)
- 2.暗灰黄色土 2.5Y-4/2(FeO<sub>2</sub>少量含)
- 3.暗灰黄色土 2.5Y-4/2(一部砂質土有)
- 4.暗灰黄色土 2.5Y-4/2(FeO<sub>2</sub>少量、黄灰色土 2.5Y-4/1 ブロック有)
- 5.黒褐色土 10YR-3/1(根による攪乱か?)

第15号ピット(A-A') (A区)

- 1.灰オリーブ色土 5Y-4/2(黄灰色土 2.5Y-4/1 一部有)
- 2.灰オリーブ色土 5Y-4/2(黄灰色土 2.5Y-4/1 多量に含)
- 3.暗灰黄色土 2.5Y-4/2(微量に FeO<sub>2</sub>含)
- 4.暗灰黄色土 2.5Y-4/2(黄灰色土 2.5Y-4/1 微量、FeO<sub>2</sub>少量含)
- 5.灰オリーブ色土 5Y-4/2(FeO<sub>2</sub>少量含)

第16号ピット(A-A') (A区)

- 1.暗灰黄色土 2.5Y-4/2(ごく微量に黄灰色土 2.5Y-4/1 有)
- 2.暗灰黄色土 2.5Y-4/2(FeO<sub>2</sub>少量、黄灰色土 2.5Y-4/1 ブロック有)
- 3.暗灰黄色土 2.5Y-4/2(FeO<sub>2</sub>多量、黄灰色土 2.5Y-4/1 含)
- 4.暗灰黄色土 2.5Y-4/2(一部黒褐色土 2.5Y-3/2 粒子含、FeO<sub>2</sub>少量、黄灰色土 2.5Y-4/1 含)

第17号ピット(A-A') (A区)

- 1.暗灰黄色土 2.5Y-4/2(ごく微量に黄灰色土 2.5Y-4/1 有)
- 2.暗灰黄色土 2.5Y-4/2(一部砂質土有)
- 3.暗灰黄色土 2.5Y-4/2(FeO<sub>2</sub>少量、黄灰色土 2.5Y-4/1 ブロック有)
- 4.暗灰黄色土 2.5Y-4/2(FeO<sub>2</sub>多量、黄灰色土 2.5Y-4/1 含)

第18号ピット(A-A') (A区)

- 1.暗灰黄色土 2.5Y-4/2(ごく微量に黄灰色土 2.5Y-4/1 有)
- 2.黄灰色土 2.5Y-4/1(FeO<sub>2</sub>多量)
- 3.暗灰黄色土 2.5Y-4/2(黄灰色土 2.5Y-4/1 多量)

第19号ピット(A-A') (B区)

- 1.暗灰黄色土 2.5Y-4/2(微量にオリーブ褐色土 2.5Y-4/4 を含)
- 2.オリーブ褐色土 2.5Y-4/4(黄灰色土 2.5Y-4/1 少量含)
- 3.暗灰黄色土 2.5Y-4/2(黄灰色土 2.5Y-4/1 少量含)
- 4.暗灰黄色土 2.5Y-4/2(少々シルト質)
- 5.オリーブ黒色土 5Y-3/2(根による攪乱か?)
- 6.暗灰黄色土 2.5Y-4/2(黄灰色土 2.5Y-4/1、FeO<sub>2</sub>少量)
- 7.暗灰黄色土 2.5Y-4/2(小礫少量有)
- 8.黒褐色土 2.5Y-3/2(砂質土、礫いくら有)
- 9.暗灰黄色土 2.5Y-4/2(黄灰色土 2.5Y-4/1 ブロック有、FeO<sub>2</sub>微量、少々シルト質)
- 10.暗灰黄色土 2.5Y-4/2(少々シルト質)
- 11.黒褐色土 2.5Y-4/2(一部暗灰黄色土 2.5Y-4/2 を含、若干砂質土)
- 12.黒褐色土 2.5Y-4/2(砂質土、小礫少量含)

第20号ピット・21号ピット(A-A') (B区)

- 1.暗灰黄色土 2.5Y-4/2(微量にオリーブ褐色土 2.5Y-4/4 ブロック有)
- 2.オリーブ褐色土 2.5Y-4/4(黄灰色土 2.5Y-4/1 少量含)
- 3.オリーブ黒色土 5Y-3/2(灰オリーブ 5Y-4/2 ブロック有)
- 4.オリーブ黒色土 5Y-3/1(黄灰色土 2.5Y-4/1 一部有)
- 5.暗灰黄色土 2.5Y-5/2(少々砂質土)
- 6.暗灰黄色土 2.5Y-4/2
- 7.黒褐色土 2.5Y-3/2(砂質土)
- 8.灰黄褐色土 10YR-4/2(小礫多数含)
- 9.にぶい黄褐色土 10YR-4/3(黄灰色土 2.5Y-4/1 ブロック有、微量に FeO<sub>2</sub>含)
- 10.暗灰黄色土 2.5Y-4/2(小礫多数含)
- 11.にぶい黄褐色土 10YR-4/3(黄灰色土 2.5Y-4/1、FeO<sub>2</sub>多量)

第22号ピット(A-A') (B区)

- 1.暗灰黄色土 2.5Y-4/2
- 2.暗灰黄色土 2.5Y-5/2(黄灰色土 2.5Y-4/1 のブロック少量有)
- 3.灰オリーブ色土 5Y-4/2(少々砂質土、黄灰色土 2.5Y-4/1 ブロック少量)
- 4.黒褐色土 2.5Y-3/2(黄灰色土 2.5Y-4/1 粒子一部有)
- 5.暗灰黄色土 2.5Y-5/2(少々砂質土、微量に黒褐色土 2.5Y-3/1 粒子有)

第25号ピット(A-A') (B区)

- 1.黒褐色土 2.5Y-3/2(土器片有、黄灰色土 2.5Y-4/1 少量含)
- 2.灰黄褐色土 10YR-4/2(黄灰色土 2.5Y-4/1 ブロック有)
- 3.灰黄褐色土 10YR-4/2(黄灰色土 2.5Y-4/1 少量、土器片有、微量に暗オリーブ褐色土 2.5Y-3/3 含)
- 4.暗灰黄色土 2.5Y-4/2(灰色土 5Y-5/1 ブロック微量に有、かなり微量に FeO<sub>2</sub>含)
- 5.暗灰黄色土 2.5Y-4/2
- 6.黒褐色土 2.5Y-3/2(遺物含、黄灰色土 2.5Y-4/1 少量、FeO<sub>2</sub>微量含)
- 7.暗オリーブ褐色土 2.5Y-3/3(黄灰色土 2.5Y-4/1 微量、FeO<sub>2</sub>ごくわずか含)
- 8.暗灰黄色土 2.5Y-4/2(黄灰色土 2.5Y-4/1 及び FeO<sub>2</sub>少量含)



第26図 第12号～第22号・第25号ピット

#### 第16号ピット（第26図）

D-2グリッドから検出した。第15号ピットに近接している。平面プランは円形で、規模は長軸0.40m、短軸0.30m、深さ0.17mであった。出土遺物は検出されなかった。

#### 第17号ピット（第26図）

C-2グリッドから検出した。平面プランは隅丸方形で、規模は長軸0.43m、短軸0.35m、深さ0.1mであった。西からの緩やかな落ち込みで、覆土も自然堆積を呈していた。出土遺物は検出されなかった。

#### 第18号ピット（第26図）

C-2グリッドから検出した。第2号住居跡と重複関係にあり、第2号住居後を切っていた。平面プランは楕円形で、規模は長軸0.45m、短軸0.26m、深さ0.12mであった。断面から覆土は自然堆積と判断できる。出土遺物は検出されなかった。

#### 第19号ピット（第26図）

B-4、5グリッドにまたがって検出した。大半が調査区域外にある。平面プランは円形と推定され、規模は長軸0.82m、検出短軸0.26m、深さ0.31mであった。底部はいくらか窪んでおり、最下層の土層では砂質土となり、小礫が検出された。出土遺物は検出されなかった。

#### 第20号ピット（第26図）

B-4グリッドから検出した。第21号ピットと近接している。平面プランは円形で、規模は長軸0.52m、短軸0.42m、深さ0.24mであった。底部はかなり凸凹していた。数点の礫を検出したが、出土遺物は検出されなかった。

#### 第21号ピット（第26図）

B-4グリッドから検出した。第20号ピットを近接している。平面プランは楕円形で、規模は長軸0.50m、短軸0.34m、深さ0.18mであった。埋土中に数点の礫を検出したが、それ以外の出土遺物は検出されなかった。

#### 第22号ピット（第26図）

B-4グリッドから検出した。平面プランは円形で、規模は長軸0.42m、短軸0.39m、深さ0.20mであった。鋭角な落ち込みで、覆土も自然堆積を呈していた。出土遺物は検出されなかった。

#### 第23号ピット（第27図）

B-4グリッドから検出した。平面プランは円形で、規模は長軸0.42m、短軸0.38m、深さ0.34mであった。出土遺物は検出されなかった。

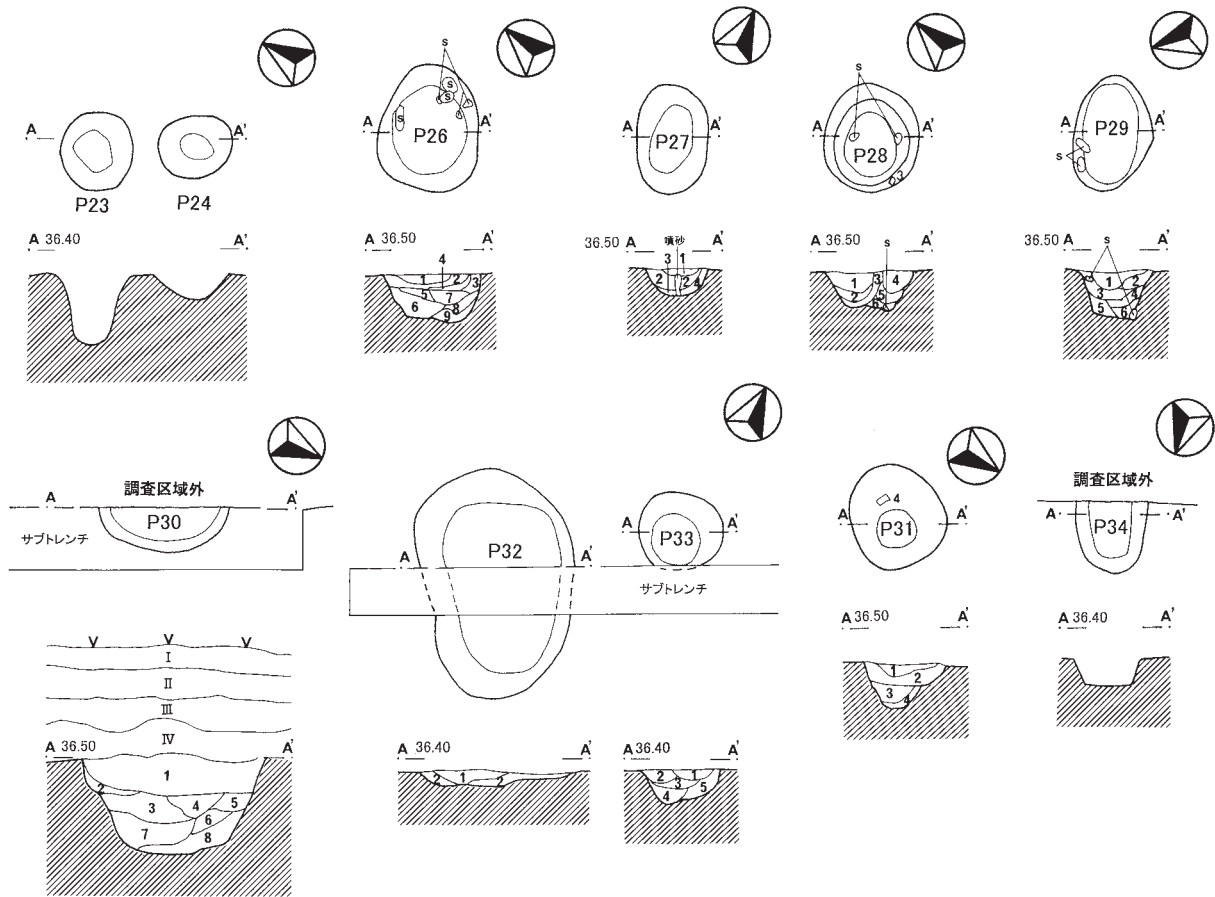
#### 第24号ピット（第27図）

B-4グリッドから検出した。平面プランは楕円形で、規模は長軸0.39m、短軸0.34m、深さ0.12mであった。出土遺物は検出されなかった。

#### 第25号ピット（第26図）

B-4グリッドから検出した。平面プランはほぼ円形で、規模は長軸0.73m、短軸0.64m、深さ0.24mであった。落ち込みに一貫性がなく、一部でなだらかで、一部で鋭角な落ち込みである。断面から覆土は東からの自然堆積と判断できる。出土遺物は検出されなかった。





第26号ピット(A-A') (B区)

1. 暗灰黄色土 2.5Y-4/2(褐灰色土 10YR-4/1 微量に含)
2. 暗灰黄色土 2.5Y-4/2(FeO<sub>2</sub>微量、灰黄褐色土 10YR-4/2、炭化物有)
3. 暗灰黄色土 2.5Y-4/2(黄灰色土 2.5Y-4/1 含、FeO<sub>2</sub>微量、少々砂質土)
4. 黄灰色土 2.5Y-4/1(砂質土、炭化物含)
5. 黄灰色土 2.5Y-4/1(灰色土 5Y-4/1、明黄褐色土 2.5Y-7/6 ブロック有)
6. 灰黄褐色土 10YR-4/2(灰色土 5Y-4/1 有)
7. 灰黄褐色土 10YR-4/2(黄灰色土 2.5Y-4/1 多量に含、少々砂質土)
8. 灰黄褐色土 10YR-4/2(少々砂質土、土器片有)
9. 黒褐色土 10YR-3/1(少々砂質土)

第27号ピット(A-A') (B区)

1. 暗灰黄色土 2.5Y-4/2(黄灰色土 2.5Y-4/1 ブロック多量、FeO<sub>2</sub>少量含)
2. 黒褐色土 2.5Y-3/2(一部黄灰色土 2.5Y-4/1 含)
3. 黒褐色土 2.5Y-3/2(FeO<sub>2</sub>少量、少々砂質土)
4. オリーブ黒色土 5Y-3/2(黄灰色土 2.5Y-4/1 微量)

第28号ピット(A-A') (B区)

1. 暗灰黄色土 2.5Y-4/2(黄灰色土 2.5Y-4/1 多量、FeO<sub>2</sub>微量)
2. 暗灰黄色土 2.5Y-4/2(FeO<sub>2</sub>多量)
3. 暗灰黄色土 2.5Y-4/2
4. 灰黄褐色土 10YR-4/2(黒褐色土 10YR-3/1 微量)
5. 暗褐色土 10YR-3/3(かなり微量に黄灰色土 2.5Y-4/1 の小ブロック有)
6. 暗灰黄色土 2.5Y-4/2(暗褐色土 10YR-3/3 が混ざる、少々砂質土)

第29号ピット(A-A') (B区)

1. オリーブ褐色土 2.5Y-4/4(暗灰黄色土 2.5Y-5/2 が少量混ざる)
2. 暗灰黄色土 2.5Y-4/2(黄灰色土 2.5Y-4/1 微量に含)
3. 暗灰黄色土 2.5Y-4/2(黄灰色土 2.5Y-4/1、FeO<sub>2</sub>含)
4. 黒褐色土 2.5Y-3/2(黄灰色土 2.5Y-4/1、FeO<sub>2</sub>を微量に含)
5. 黒褐色土 2.5Y-3/2(黄灰色土 2.5Y-4/1、FeO<sub>2</sub>を微量に含、少々シルト質)
6. 暗灰黄色土 2.5Y-4/2(一部砂質土)

(第30号ピット)(A-A') (C区)

1. 暗灰黄色土 2.5Y-4/2(微量に黄褐色土 2.5Y-5/3 粒子有、明黄褐色土 2.5Y-6/6 ブロック有)
2. 黒褐色土 2.5Y-3/2
3. 灰オリーブ色土 5Y-4/2(粘質、FeO<sub>2</sub>少量、かなり微量に黒褐色土 2.5Y-3/2 含、土器片有)
4. オリーブ黒色土 5Y-3/2(一部に黄褐色土 2.5Y-5/3 ブロック有)
5. 灰オリーブ色土 5Y-4/2(一部に黄褐色土 2.5Y-5/3 ブロック有)
6. 灰オリーブ色土 5Y-4/2(10より若干暗い、わずかに砂質土)
7. オリーブ黒色土 5Y-3/1(しまり弱)
8. オリーブ黒色土 7.5Y-3/2(砂質土)

第31号ピット(A-A') (C区)

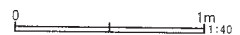
1. 黒色土 2.5GY-2/1
2. オリーブ黒色土 7.5Y-3/2(黄灰色土 2.5Y-4/1 ブロック有)
3. 灰オリーブ色土 5Y-4/2
4. 灰オリーブ色土 5Y-4/2(砂質土)

第32号ピット(A-A') (C区)

1. オリーブ黒色土 5Y-3/1(FeO<sub>2</sub>少量、黄灰色土 2.5Y-4/1 含)
2. 灰オリーブ色土 5Y-4/2(FeO<sub>2</sub>少量、黄灰色土 2.5Y-4/1 含)

第33号ピット(A-A') (C区)

1. 暗灰黄色土 2.5Y-4/2(黄灰色土 2.5Y-4/1、FeO<sub>2</sub>少量含)
2. オリーブ黒色土 5Y-3/2(黄灰色土 2.5Y-4/1 少量)
3. 暗灰黄色土 2.5Y-4/2(一部暗オリーブ色土 5Y-4/3 有)
4. オリーブ褐色土 2.5Y-4/3(土器片含)
5. オリーブ褐色土 2.5Y-4/3(暗オリーブ色土 5Y-4/3 有)



第27図 第23号・24号、第26~34号ピット

#### 第26号ピット（第27図）

B-4グリッドから検出した。平面プランは円形で、規模は長軸0.67m、短軸0.52m、深さ0.24mであった。数点の礫を検出したが、出土遺物は検出されなかった。

#### 第27号ピット（第27図）

A-4グリッドから検出した。第2号住居跡と重複しており、第2号住居跡の上に掘り込んでいた。平面プランは楕円形で、規模は長軸0.58m、短軸0.37m、深さ0.13mであった。底部から10cmにわたっての噴砂を確認した。出土遺物は検出されなかった。

#### 第28号ピット（第27図）

A-4グリッドから検出した。第2号住居跡と重複しており、第2号住居跡の一部を切っていた。平面プランは円形で、規模は長軸0.60m、短軸0.50m、深さ0.18mであった。鋭角な落ち込みで、2回にわたっての掘り込みが確認できた。覆土も自然堆積を呈していた。土師器の甕片を遺物として一点検出できた。9世紀初頭と推定される。

#### 第29号ピット（第27図）

A-4グリッドから検出した。第2号住居跡と重複しており、第2号住居跡の一部を切っていた。平面プランは楕円形で、規模は長軸0.60m、短軸0.42m、深さ0.24mであった。落ち込みは鋭角で、底部は平らになっている。覆土は自然堆積と考えられる。出土遺物は検出されなかった。

#### 第30号ピット（第27図）

F-6グリッドから検出した。第6号土坑と重複関係にあり、第6号土坑を切っていた。平面プランは円形と推定され、規模は長軸0.68m、推定短軸0.26m、深さ0.52mであった。断面から覆土は自然堆積と判断できる。出土遺物は検出されなかった。

#### 第31号ピット（第27図）

E-6グリッドから検出した。性格不明遺構（SX01）と重複関係にあり、SX01を切っていた。平面プランは円形で、規模は長軸0.58m、短軸0.49m、深さ0.26mであった。落ち込みは一方で鋭角に落ち、他方は緩やかな落ち込みを呈していた。出土遺物は須恵器甕片のみで、時期判断が出来なかった。

#### 第32号ピット（第27図）

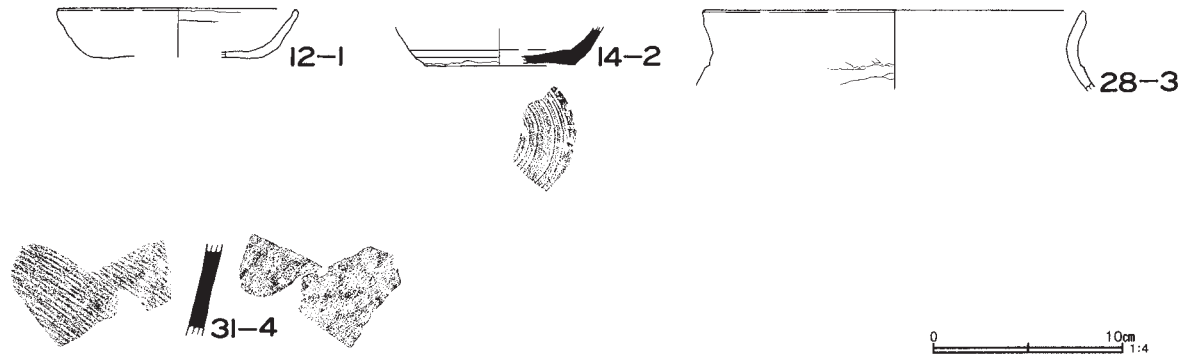
E-6グリッドから検出した。第5号住居跡と重複しており、第5号住居跡の上に掘り込んでいた。平面プランはいびつな楕円形で、規模は長軸1.22m、短軸0.81m、深さ0.08mであった。出土遺物は検出されなかった。

#### 第33号ピット（第27図）

E-6グリッドから検出した。第5号住居跡と重複しており、第5号住居跡の上に掘り込んでいた。平面プランは円形で、規模は長軸0.45m、短軸0.40m、深さ0.18mであった。覆土は自然堆積を呈していた。特に出土遺物は検出されなかった。

#### 第34号ピット（第27図）

E-7グリッドから検出した。平面プランは楕円形と推定され、規模は長軸0.48m、短軸0.38m、深さ0.12mであった。落ち込みは鋭角で、底部は平らになっている。出土遺物は検出されなかった。



第28図 第12号・14号・31号ピット出土遺物

第8表 第12号・14号・31号ピット出土遺物観察表 (第28図)

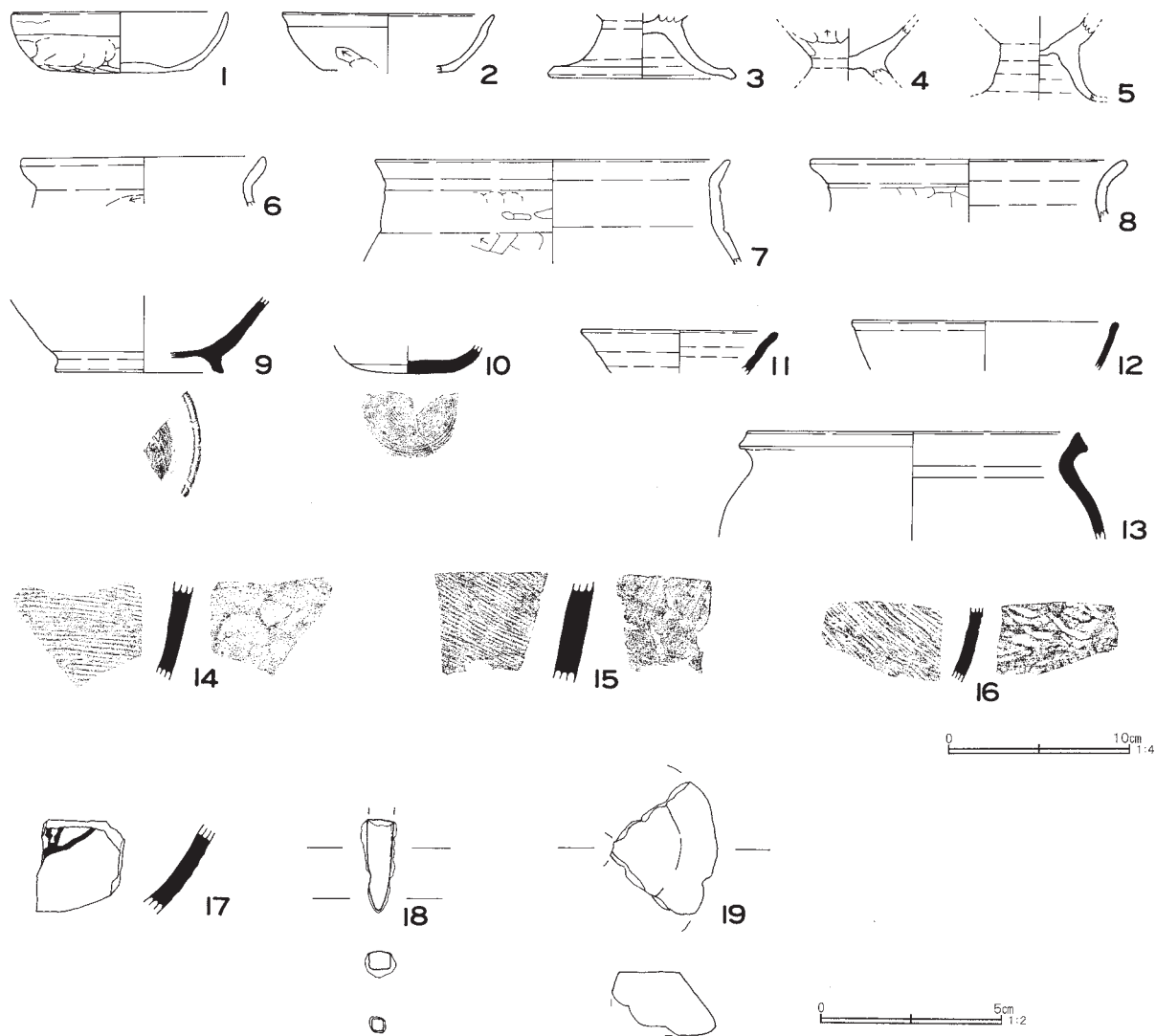
番号	遺構	器種	法量 (cm)	手法・形態の特徴等	胎土	色調	焼成	残存率	備考
1	P12	土師器杯	口径 (12.8) 残存高2.6		A、B、G、I、 K、N	橙5YR-6/6	普通	15%	
2	P14	須恵器杯	口径 (-) 残存高2.0 残存底部8.2	回転糸切痕有 周囲ヘラケズリ 内外面ナデ痕有	A、L	灰白5Y-7/1	良好	20%	末野産
3	P28	土師器甕	口径 (20.2) 残存高(4.2)	外面粘土紐積上痕有	A、E、G、 N	赤褐5YR-4/6	普通	口縁の20%	
4	P31	須恵器甕	-	外面平行叩き目痕有	A、B、L	白灰2.5Y-7/1	良好	胴部片	

## 5 遺構外出土遺物 (第29図 第9表)

遺構外出土遺物については第29図、第9表のとおりである。

第9表 遺構外出土遺物観察表 (第29図)

番号	器種	法量 (cm)	手法・形態の特徴等	胎土	色調	焼成	残存率	備考
1	土師器杯	口径 (11.7) 残存高8.3	底部ヘラケズリ 内外面ナデ痕	A、B、D、I、 J、K、M	橙5YR-6/6	普通	50%	
2	土師器杯	口径 (11.8) 残存高3.2		A、B、G、I、 K、N	明赤褐5YR-5/6	普通	20%	
3	土師器台付甕	残存高3.5 残存底径10.4		A、B、E、I、 K、M	明赤褐2.5YR-5/8	良好	高台部のみ60%	
4	土師器台付甕	残存高3.0		A、E、I、M	にぶい赤茶5YR-5/3	良好	底部、高台部の一部	
5	土師器台付甕	残存高4.7		A、B、E、H、 I、M	明赤褐2.5Y-5/6	良好	底部、高台部の一部	
6	土師器甕	口径13.8	口縁部やや「コ」の字状	A、B、C、I	明赤褐5YR-5/6	普通	口縁部の15%	
7	土師器甕	口径 (19.8) 残存高5.8	口縁部「コ」の字状 外面、指頭圧痕有	A、E、I、K、 M、O	橙2.5YR-6/6	普通	口縁の20%	
8	土師器甕	口径 (17.6) 残存高3.5	口縁部「コ」の字状	A、C、E、I、 M	橙5YR-6/8	普通	口縁部の10%	
9	須恵器台付椀	残存高4.3 残存底径8.8	外面、底部ヘラケズリ 内面ナデ痕有	A、B、L	灰白5Y-7/1	良好	高台部の20%	末野産
10	須恵器杯	口径 (-) 残存高1.6	内面、外面底部火襷有 底部回転糸切、調整なし	A、B、D、 M	灰5Y-5/1	良好	底部の60%	末野産
11	須恵器杯	口径 (11.0) 残存高2.6	内面火襷有 外面ナデ痕	A、B、D	灰10Y-6/1	良好	口縁部の10%	末野産
12	須恵器杯	口径 (14.9) 残存高2.7	自然釉薬 内面ヨコナデ痕有	A、B、L	灰N-4/	良好	破片	末野産
13	須恵器壺	口径 (18.4) 残存高5.9	内外面ヨコナデ痕有	A、L	灰N-6/	良好	口縁部の15%	
14	須恵器甕	-	外面平行叩き目有	A、B、L	褐灰10YR-6/1	良好	胴部片	末野産
15	須恵器甕	-	外面平行叩き目有	A、I、L	灰5Y-4/1	良好	胴部片	末野産
16	須恵器甕	-		A、I、L	灰5Y-5/1	良好	胴部片	末野産?
17	須恵器杯	-	内面火襷有 外面ナデ痕	A、B、F	黄灰2.5Y-6/1	良好	破片	末野産?
18	紡錘車	最大径 (-) 最大厚 (18.5) 重量 13g		回転によるハケ目痕有		普通	25%	
19	鉄釘?		最大幅 (1.0) 最大厚 (0.8) 残存長3.1 重量2.5g			普通		酸化が著しい



第29図 遺構外出土遺物

## V 調査のまとめ

今回の調査は、遺物の検出箇所が比較的住居跡から顕著に見られた。その検出された遺物の多くが9世紀代の土師器、須恵器であり、過去に行った本遺跡の主体的な時期が9世紀代であったため、今回の調査箇所との関係性は必然と考えられる。

また、今回の調査区で住居跡から羽口及び鉄滓が検出されたため、鉄製品の精製を行っていたことが想定される。しかし、それ以外に関連できる遺物や、製品としての遺物が検出されていないため、それらの遺物からは、背景を想定するからは難しい。また今回の調査で、土器類が遺構ごとに保存状態が良い形で確認することができ、中でも住居跡のカマド部分では当時の生活の痕跡がわかる状態で甕がほぼ完形の形に検出できたことは今後の良い資料になった。

今回の調査は、限定的な箇所の調査となったため、集落の全体像を想定するには資料が不足していることから、今後の発掘調査での情報の蓄積に期待したい。

※参考文献は紙数の都合上、割愛させていただいた。

# 写真図版



A区全景（東から）

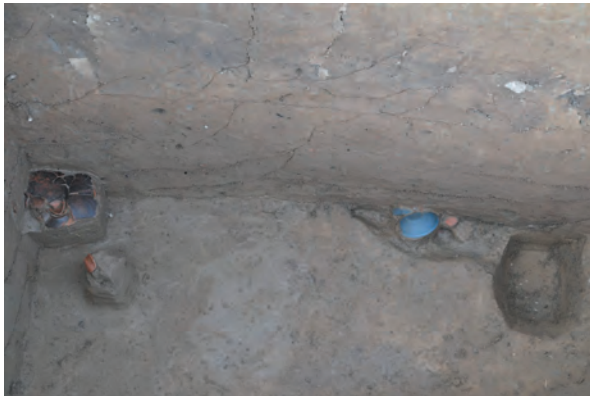


B区全景（南から）

# 図版 2



C区全景 (南東から)



第1号住居跡 遺物出土 (A区) 南から



第1号住居跡 遺物 (A区)



第1号住居跡 遺物 (A区)



第1号住居跡 全景 (A区) (西から)



第2号住居跡 全景 (A区) (北から)



第3号住居跡 (B区) (遺物・床礫堆積)



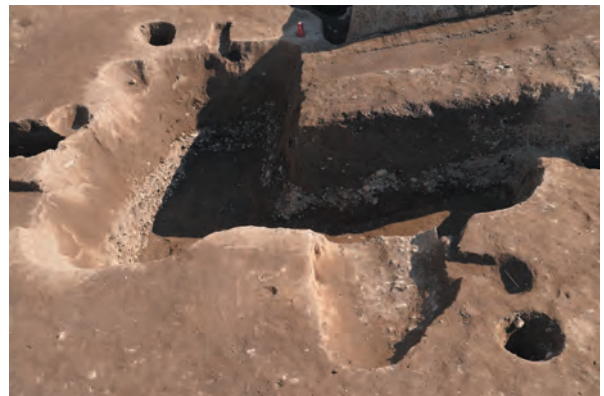
第3号住居跡 全景 (B区) (北から)



第4号住居跡 カマド遺物 (B区)



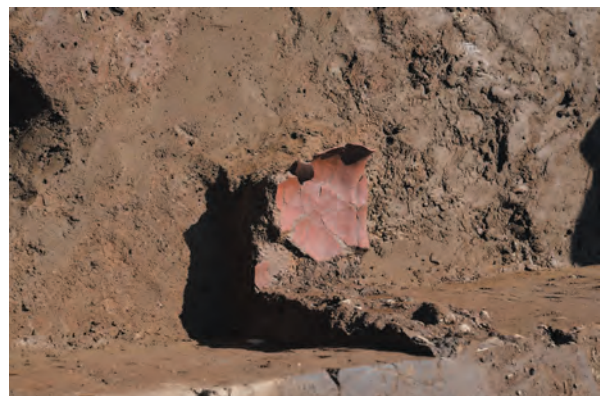
第4号住居跡カマド 断面 (B区)



第4号住居跡 全景 (B区) (北から)



第5号住居跡 カマド土層 (C区)



第5号住居跡 カマド遺物 (C区)



# 図版 4



第5号住居跡 鉄製品 (C区)



第5号住居跡 全景 (C区) 西から



第5号土坑 (B区) (東から)



第6号土坑及びSX01 (C区) (西から)



第7号土坑 (C区) (南から)



左から第4、3号溝跡 (B区)



第3号土坑、第9～18号ピット (A区)



第19～24号ピット (B区)



第1号～4号ピット (A区)



第9図-4



第9図-7



第9図-8



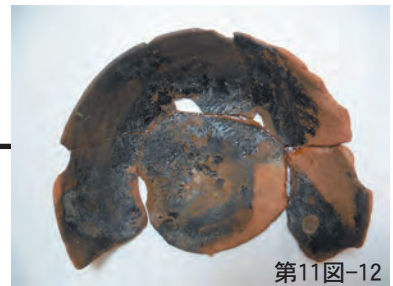
SI01-鉄滓



第11図-1



第11図-12



第11図-13



第11図-11



第11図-17



第11図-18



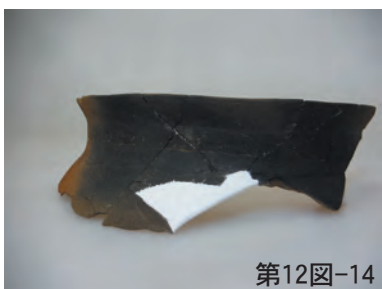
第11図-20



第11図-29



第12図-19



第12図-14

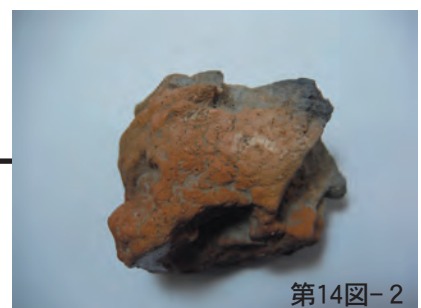
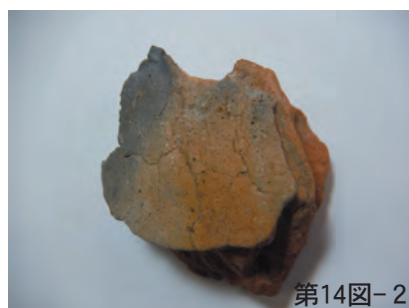
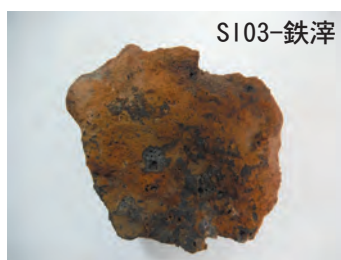
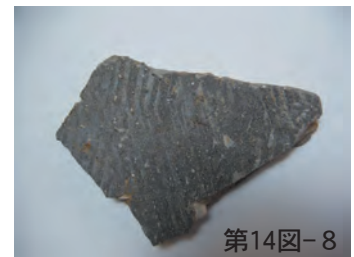
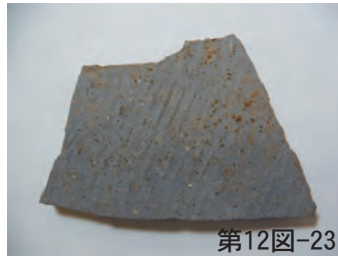
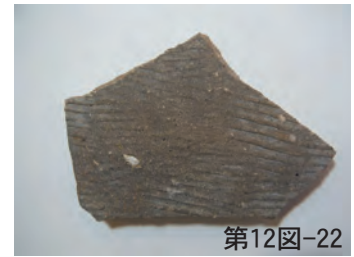
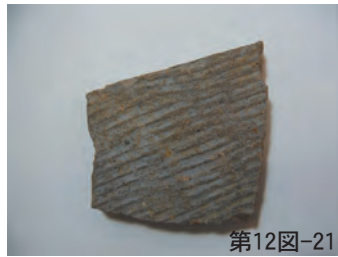


第12図-25



第12図-26

# 図版 6





第16图-04



第16图-10



第16图-11



第16图-02



第16图-12



第18图-13



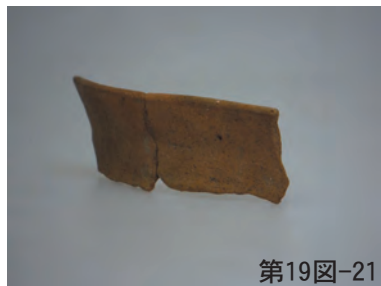
第18图-15



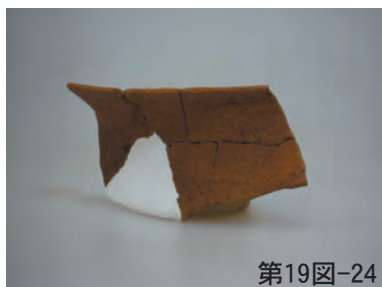
第16图-14



第18图-16



第19图-21



第19图-24



第19图-23



第19图-26



第19图-27



第19图-22

图版 8



第18图-17



第18图-18



第18图-19



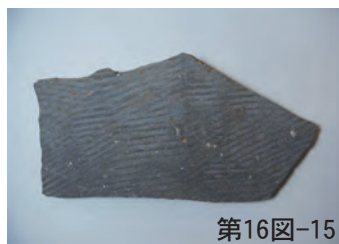
第18图-20



第19图-30



第19图-28. 29



第16图-15



第19图-25



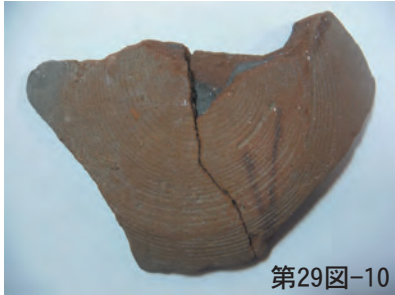
第19図-31



第20図-04



第28図-4



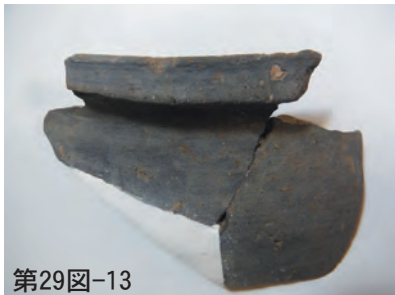
第29図-10



第29図-12



第29図-14



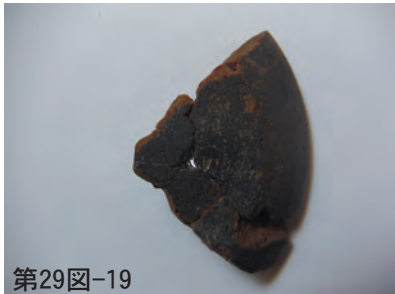
第29図-13



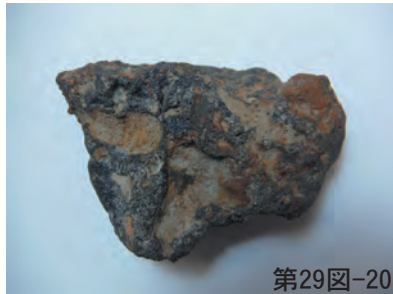
第29図-18



第29図-15



第29図-19



第29図-20



作業員作業風景

# 報告書抄録

ふりがな	いしわらこふんぐんⅤ ふじのこしいせきⅣ							
書名	石原古墳群Ⅴ 不二腰遺跡Ⅳ							
副書名								
シリーズ名	熊谷市教育委員会埋蔵文化財調査報告書							
シリーズ番号	第19集							
編集者名	吉野 健 腰塚 博隆							
編集機関	埼玉県熊谷市教育委員会							
所在地	〒360-8601 熊谷市宮町2-47-1 TEL 048-524-1111							
発行年月日	西暦2015（平成27）年3月27日							
ふりがな	ふりがな	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
所収年月日	所在地	市町村	遺跡番号	(° ' ")	(° ' ")			
ふじのこしいせき 不二ノ腰遺跡	くまがやしひろせあざうしろだ 熊谷市広瀬字後田 84ばんいちぶ 84番の一部	11202	059-025 059-102	36° 09' 08"	139° 21' 15"	20140127 ～ 20140314	164.63	分譲住宅 建設工事
所収遺跡名	種類	主な時代	主な遺構	主な遺物		特記事項		
不二ノ腰遺跡	集落跡	奈良・平安 時代	住居跡・溝跡・ 土坑	土師器・須恵器、 羽口、鉄滓				

本報告書は、編集を担当課で行い、印刷は外注により300部  
作成し、1部当たりの単価は864円です。

埼玉県熊谷市埋蔵文化財調査報告書 第19集

石原古墳群Ⅴ  
不二ノ腰遺跡Ⅳ

平成27年3月27日発行

発行/埼玉県熊谷市教育委員会

印刷/大屋印刷株式会社